
山 北 町
第5次総合計画見直しに関する
町民アンケート調査報告書

平成30年8月
山 北 町



目次



I	調査概要	1
II	調査結果	3
1	あなたご自身のことについて	3
	(1) 性別	3
	(2) 年齢	3
	(3) 居住地区	3
	(4) 職業	4
	(5) 居住年数	5
	(6) 家族構成	5
2	住みよさ、町の魅力について	6
	(7) 山北町は住みよいか	6
	(8) 山北町に住み続けたいと思うか	7
	(9) どの地区へ移りたいか	8
	(10) 山北町に住むようになった理由	9
3	行政運営と生活環境について	10
	(11) 町の23の取り組み評価	10
	(12) 環境にやさしいまちづくりとして必要な取り組み	11
4	人口対策について	13
	(13) 今後の町の人口対策	13
	(14) 町の人口を増やすまたは減らさないために大事なこと	14
	(15) 定住施策としてすべきだと思う住宅に関連した施策	16
5	土地利用について	18
	(16) 開発と保全についての考え	18
	(17) 土地の利用について特に重要な取り組み	20
	(18) 活力あふれる地域にするために必要な取り組み	22
6	産業について	24
	(19) 今後の農林業についての考え	24
	(20) 今後の工業についての考え	26
	(21) 山北町にとって望ましい商店街についての考え	27
	(22) 望ましい観光資源の活用や整備	28
7	生活交通について	30
	(23) 日常生活において交通手段に困っていること	30
	(24) 主に利用している交通手段・主な利用駅	32
	(25) 新たに整備・拡充を望む交通手段	33

8	高齢化について	35
	(26) 町が力を入れた方がよい高齢化対策	35
	(27) 60歳を過ぎても働きたいか	37
9	教育について	39
	(28) 町の教育に関心があるか	39
	(29) 関心がある課題	40
	(30) 課題を解決するために必要な対策	42
10	男女共同参画について	44
	(31) 見たり聞いたりしたことがある言葉	44
	(32) 親しい間柄にあたる男女間の暴力について、経験したり見聞きしたことがあるか	46
	(33) 男女ともに仕事と生活を両立できるために最も重要だと思う公的な取り組み	47
	(34) 男女共同参画社会を実現するために町が力を入れていくべきこと	49
11	地域コミュニティ活動について	51
	(35) 自治会・地域コミュニティ活動で感じていること、気になること	51
12	情報通信について	53
	(36) インターネット利用に使う機器	53
	(37) 今年になってから山北町のホームページ見たか	54
	(38) 山北町のホームページは見やすいか	55
	(39) 山北町のホームページで充実してほしい情報	56
	(40) SNSを活用した町からの情報提供や収集に関心はあるか	57
	(41) 情報化が進む際、行政に対して考慮してほしいと思うこと	58
13	町からの情報について	59
	(42) 町に関する情報の主な入手手段	59
	(43) 町政について日ごろから知りたいと思っていること	61
14	防災について	63
	(44) 自治会で定めている一時避難場所を知っているか	63
	(45) 防災に関する情報をどこから得ているか	64
	(46) 日ごろから災害に対し行っている備え	66
	(47) 自力で避難できない人はいるか	68
	(48) 優先順位の高い今後町がすすめるべき防災対策	69
15	まちづくり活動について	71
	(49) 積極的に参加したいと考えるまちづくり活動	71
	(50) 参加したいと思わない理由	73
16	今後のまちづくりについて	74
	(51) まちづくりを進めていく中で、特に力を入れてほしいと思うこと	74
	(52) 山北町の魅力と活力を高めるために必要だと思う施策	88

I 調査概要

1 調査目的

アンケート調査より町民の皆さんからご意見を頂き、平成 31 年度（2019 年）から始まる「山北町第 5 次総合計画」後期基本計画に反映するための基礎資料とするために実施しました。

2 調査項目

1 あなたご自身のことについて	2 住みよさ、町の魅力について
3 行政運営と生活環境について	4 人口対策について
5 土地利用について	6 産業について
7 生活交通について	8 高齢化について
9 教育について	10 男女共同参画について
11 地域コミュニティ活動について	12 情報通信について
13 町からの情報について	14 防災について
15 まちづくり活動について	16 今後のまちづくりについて

3 調査方法

調査対象：満 18 歳以上の町民（3,000 名）

抽出方法：無作為抽出

調査方法：郵便配布・郵便回収

調査期間：平成 30 年 6 月 19 日（火）～平成 30 年 7 月 3 日（火）

4 回収状況

発送数	回収数	有効回収数※	有効回収率
3,000	1,309	1,307	43.6%

※有効回収数とは、調査票に記入がない白票や、著しく回答が少ない調査票を除いた数。

5 この報告書の見方

※回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。

※百分率は小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しました。このため、百分率の合計が 100%にならないことがあります。

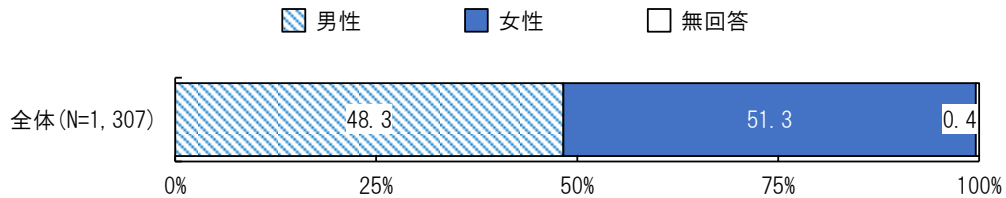
※1 つの質問に 2 つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が 100%を超える場合があります。

II 調査結果

1 あなたご自身のことについて

(1) 性別

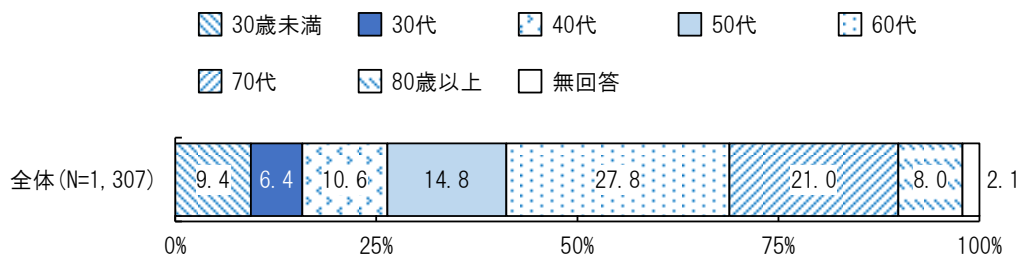
F 1 あなたの性別を教えてください。(○は1つだけ)



◆全体で見ると、「女性」が51.3%、「男性」が48.3%となっています。

(2) 年齢

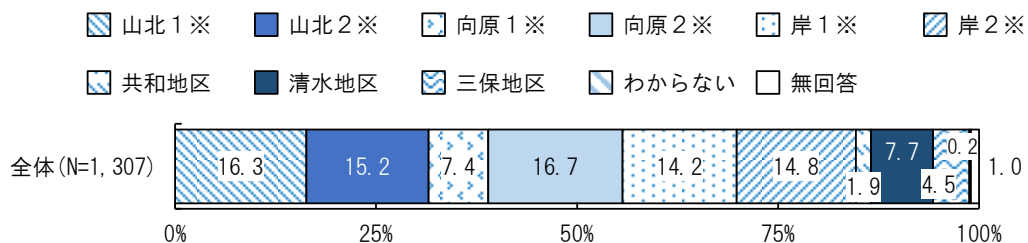
F 2 あなたの年齢を教えてください。(数字を記入)



◆全体で見ると、「60代」27.8%が最も多く、以下「70代」21.0%、「50代」14.8%、「40代」10.6%、「30歳未満」9.4%となっています。

(3) 居住地区

F 3 お住まいの地区を教えてください。(○は1つだけ)

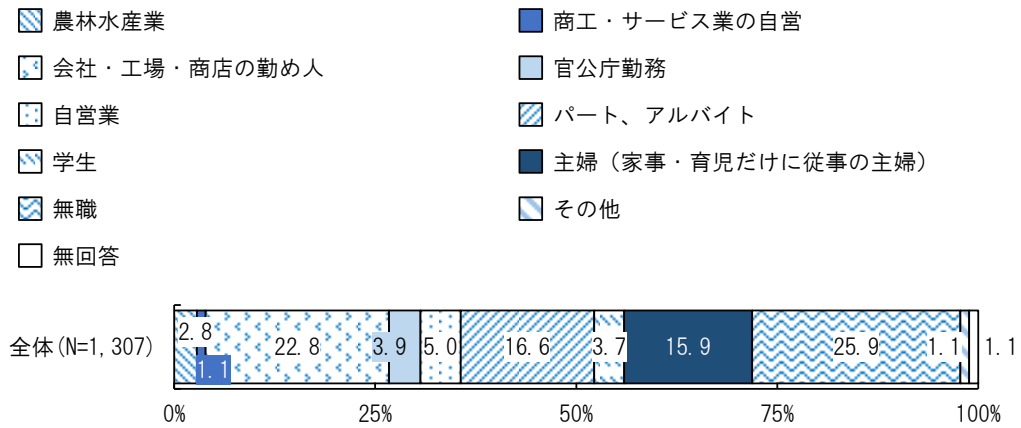


◆全体で見ると、「向原2」16.7%が最も多く、以下「山北1」16.3%、「山北2」15.2%、「岸2」14.8%、「岸1」14.2%となっています。

地区名省略 ※山北1 (平山、台、萩原、萩原下、馬場、田中、鶴野、鶴野南、上清水、中下清水、堂山)
※山北2 (田屋敷、万随、根下、城山、宮地、仁道、怒杭文化)
※向原1 (尺里西、尺里中、尺里東、高松、山下)
※向原2 (上本村、下本村、本村東、村雨、前耕地、水上)
※岸1 (越地、南原、湯坂)
※岸2 (宿、斑目、原耕地)

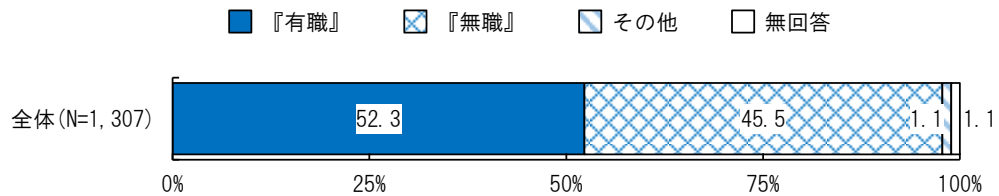
(4) 職業

F 4 あなたの職業を教えてください。(○は1つだけ)



◆全体でみると、「無職」25.9%が最も多く、以下「会社・工場・商店の勤め人」22.8%、「パート、アルバイト」16.6%、「主婦（家事・育児だけに従事の主婦）」15.9%、「自営業」5.0%となっています。

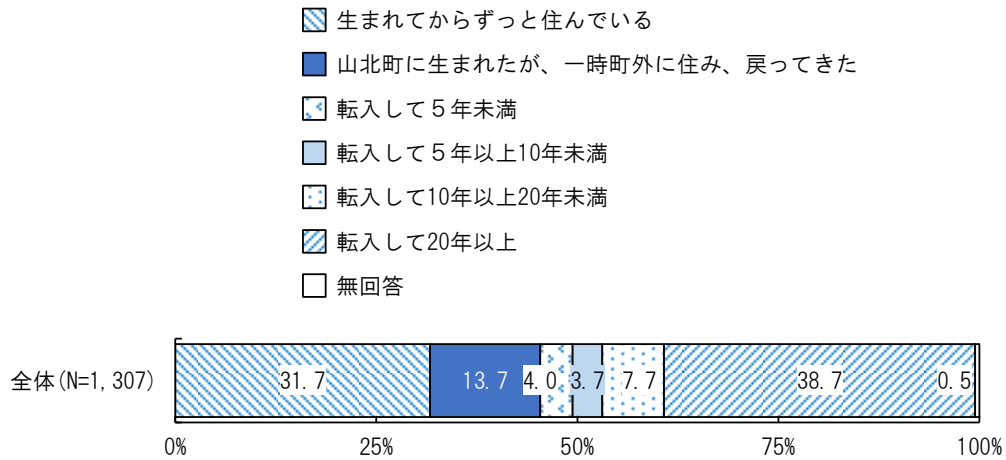
< 有職・無職とりまとめ >



◆全体でみると、『有職』が52.3%、『無職』が45.5%となっています。

(5) 居住年数

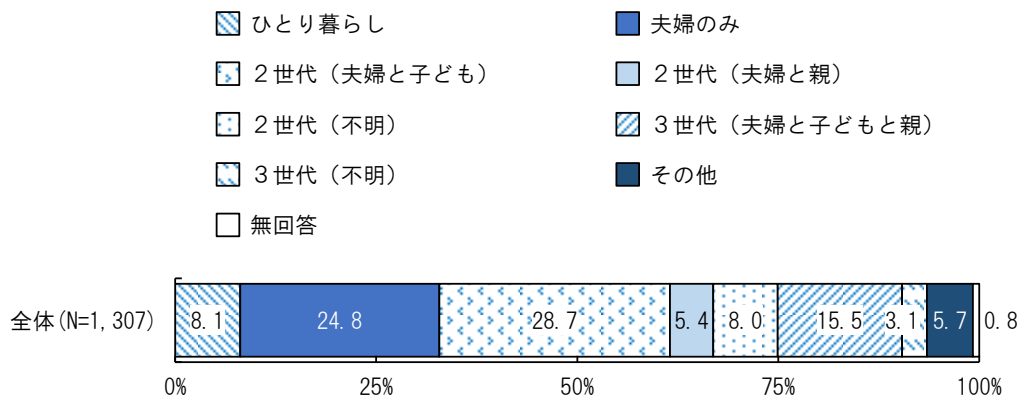
F 5 山北町の居住年数を教えてください。(○は1つだけ)



- ◆全体で見ると、「転入して20年以上」38.7%が最も多く、以下「生まれてからずっと住んでいる」31.7%、「山北町に生まれたが、一時町外に住み、戻ってきた」13.7%、「転入して10年以上20年未満」7.7%、「転入して5年未満」4.0%となっています。

(6) 家族構成

F 6 現在の家族構成を教えてください。(○は1つだけ)

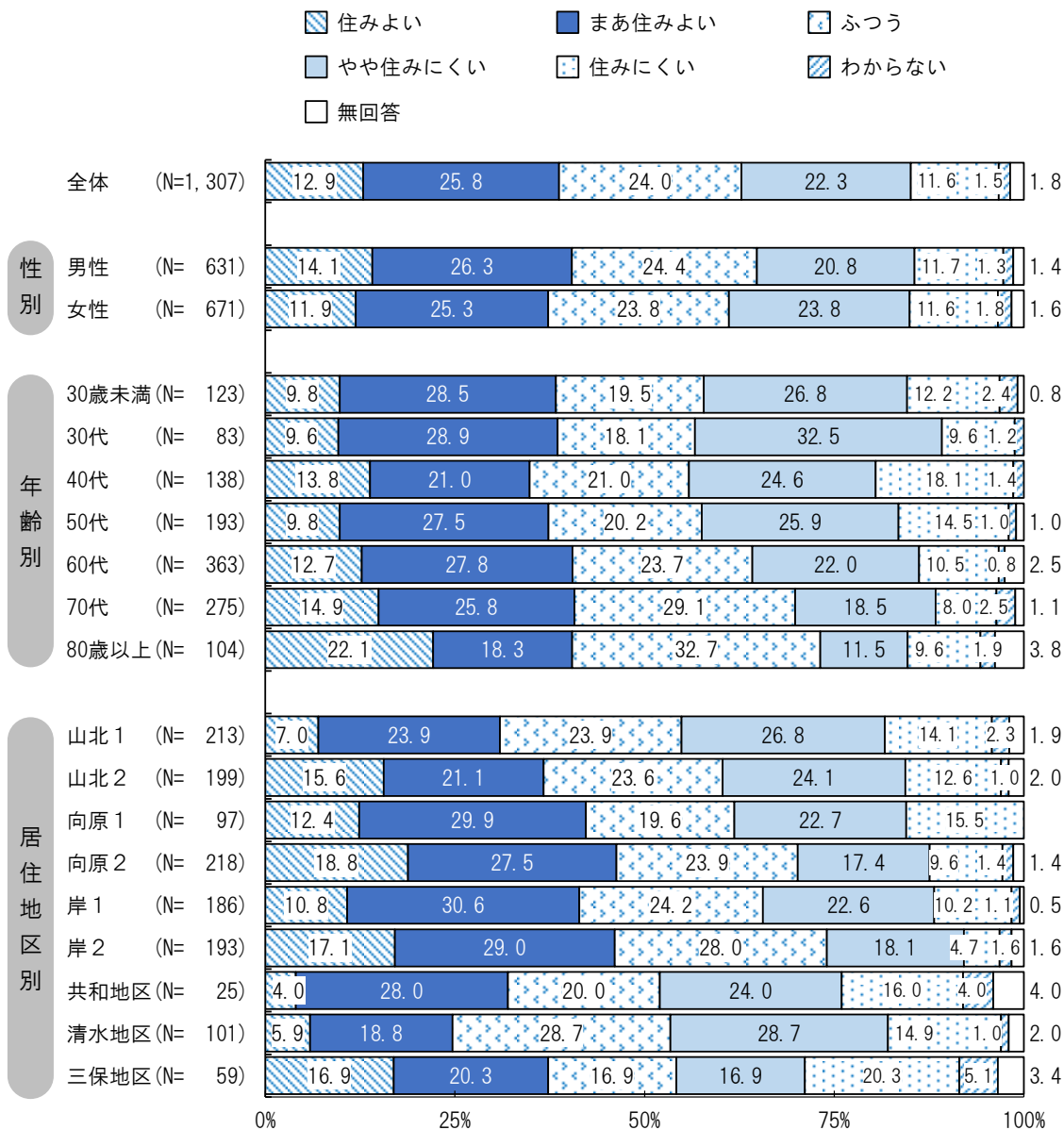


- ◆全体で見ると、「2世代 (夫婦と子ども)」28.7%が最も多く、以下「夫婦のみ」24.8%、「3世代 (夫婦と子どもと親)」15.5%、「ひとり暮らし」8.1%となっています。

2 住みよさ、町の魅力について

(7) 山北町は住みよいか

問1 山北町は住みよいところだと思いますか。(○は1つだけ)



◆全体で見ると、「まあ住みよい」25.8%が最も多く、以下「ふつう」24.0%、「やや住みにくい」22.3%、「住みよい」12.9%、「住みにくい」11.6%となっています。

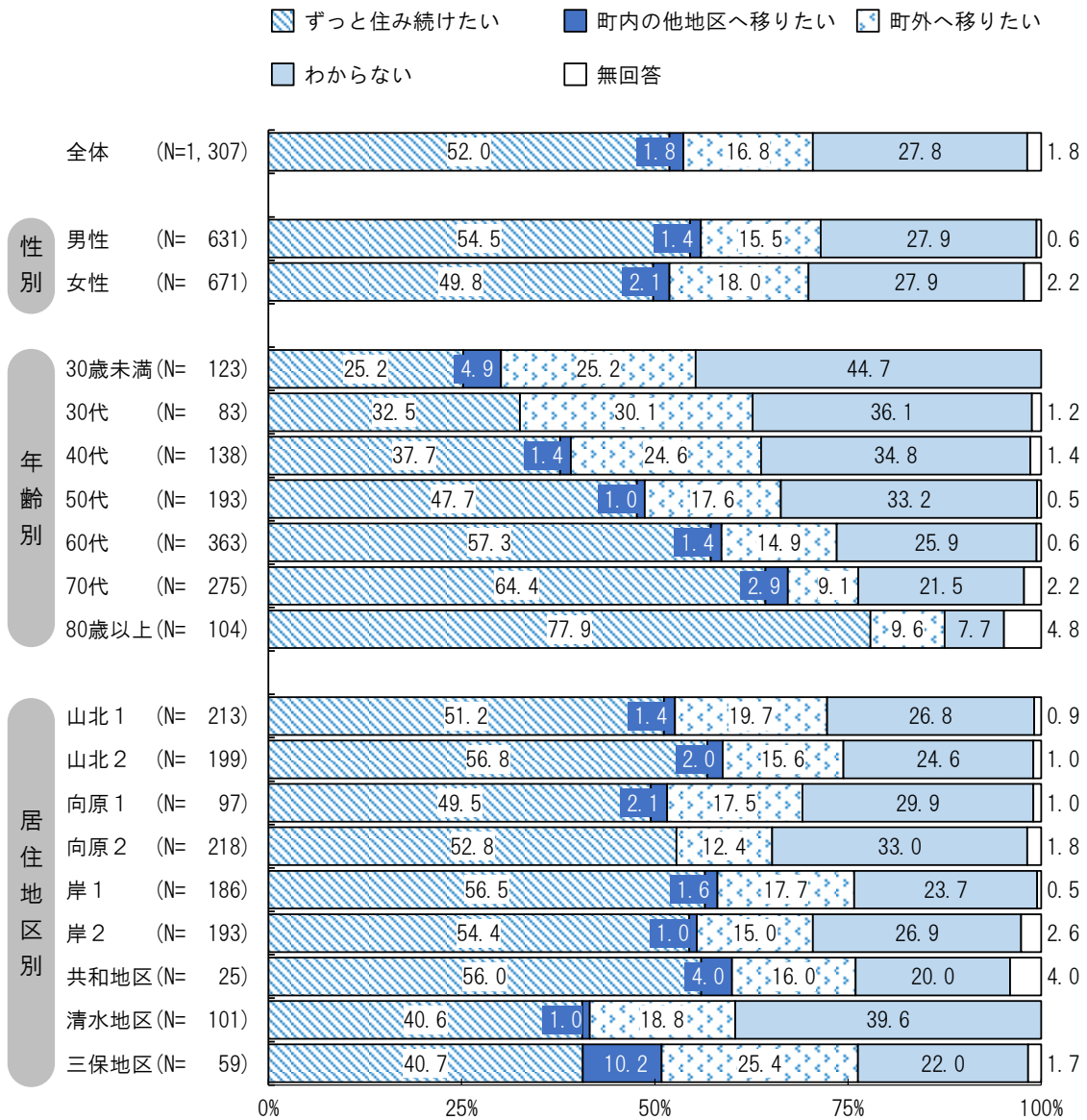
「住みよい」と「まあ住みよい」を合わせた『住みよい』は38.7%、「やや住みにくい」と「住みにくい」を合わせた『住みにくい』は33.9%となっています。

◆年齢別で見ると、30代は「やや住みにくい」32.5%が、他の年齢と比べてやや多くなっています。『住みにくい』は60代が32.5%、70代が26.5%、80歳以上が21.1%となっており、年齢が上がるほど少ない傾向がみられます。

◆居住地区別で見ると、向原1・向原2・岸1・岸2は『住みよい』が多く、山北1・共和地区・清水地区は『住みにくい』が多くなっています。

(8) 山北町に住み続けたいと思うか

問2 山北町に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

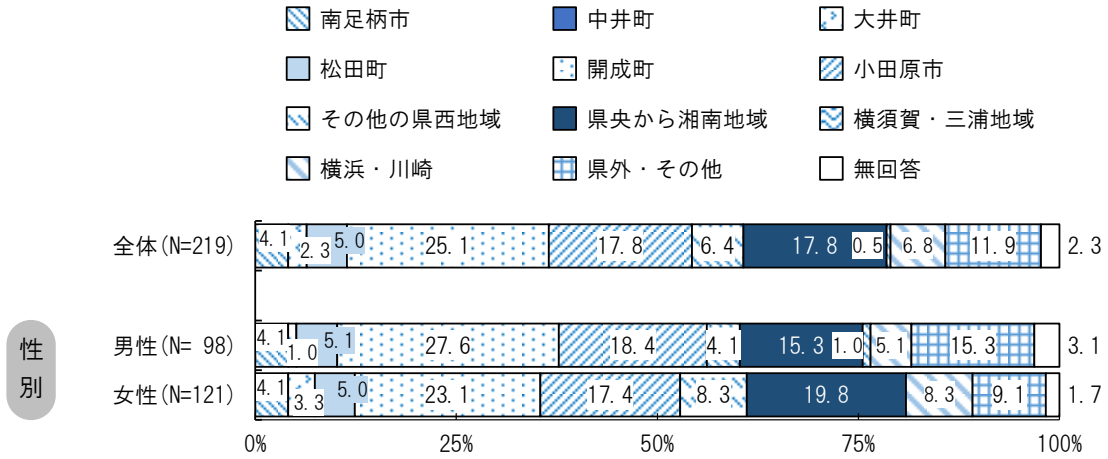


- ◆全体で見ると、「ずっと住み続けたい」52.0%が最も多く、以下「町外へ移りたい」16.8%、「町内の他地区へ移りたい」1.8%となっています。また、「わからない」は27.8%となっています。
- ◆年齢別で見ると、「ずっと住み続けたい」は60代が57.3%、70代が64.4%、80歳以上が77.9%と、年齢が上がるほど多い傾向がみられます。
- ◆居住地区別で見ると、清水地区と三保地区は「ずっと住み続けたい」が、他の地区よりもやや少なくなっています。

(9) どの地区へ移りたいか

問2-1 町外へ移るとしたらどの地区へ移りたいですか。(〇は1つだけ)

問2で、「町外へ移りたい」と答えた方のみ。

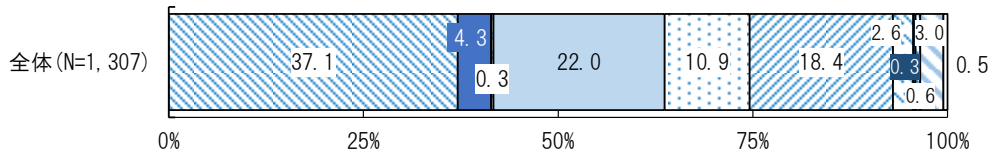


◆全体で見ると、「開成町」25.1%が最も多く、以下「小田原市」と「県央から湘南地域」が17.8%、「県外・その他」11.9%、「横浜・川崎」6.8%となっています。

(10) 山北町に住むようになった理由

問3 山北町に住むようになった理由を教えてください。(○は主なもの1つだけ)

- 生まれたときから住んでいるから
- 転勤などの仕事上の関係から
- 通勤・通学や買い物に便利だから
- 結婚のため
- 親や家族と一緒に住むため
- 持ち家を求めたため
- 自然環境がよいから
- 町の雰囲気が好きのため
- 子育て支援が充実しているから
- その他
- 無回答



(単位%)

	調査数(人)	生まれたときから住んでいるから	転勤などの仕事上の関係から	通勤・通学や買い物に便利だから	結婚のため	親や家族と一緒に住むため	持ち家を求めたため	自然環境がよいから	町の雰囲気が好きのため	子育て支援が充実しているから	その他	無回答
全体	1,307	37.1	4.3	0.3	22.0	10.9	18.4	2.6	0.3	0.6	3.0	0.5
性別												
男性	631	51.5	4.8	0.5	8.1	11.9	17.7	2.9	0.5	0.2	1.7	0.3
女性	671	23.7	3.9	0.1	35.3	10.0	19.1	2.4	0.1	1.0	4.2	0.1
年齢別												
30歳未満	123	67.5	2.4	-	3.3	17.1	2.4	0.8	0.8	2.4	3.3	-
30代	83	34.9	3.6	-	25.3	19.3	6.0	2.4	1.2	2.4	4.8	-
40代	138	31.2	2.9	-	25.4	15.2	18.8	1.4	-	2.2	2.9	-
50代	193	43.0	1.0	-	23.3	10.9	13.5	3.6	0.5	-	4.1	-
60代	363	33.1	5.0	0.8	21.8	10.5	25.3	1.9	0.3	-	1.1	0.3
70代	275	30.5	6.5	0.4	23.6	6.2	25.5	3.6	-	-	3.3	0.4
80歳以上	104	30.8	7.7	-	33.7	4.8	14.4	4.8	-	-	3.8	-
居住地区別												
山北1	213	37.6	3.3	-	27.2	15.0	11.3	2.3	0.9	0.5	1.9	-
山北2	199	40.7	5.0	-	19.6	11.1	16.1	1.0	-	1.0	5.5	-
向原1	97	28.9	4.1	-	22.7	14.4	22.7	3.1	-	1.0	2.1	1.0
向原2	218	33.0	5.0	0.9	18.8	6.9	27.5	2.3	0.9	0.5	3.7	0.5
岸1	186	32.3	3.2	0.5	20.4	9.7	27.4	4.3	-	0.5	1.6	-
岸2	193	29.0	5.2	0.5	21.8	10.9	23.8	4.1	-	0.5	4.1	-
共和地区	25	60.0	4.0	-	16.0	8.0	4.0	8.0	-	-	-	-
清水地区	101	61.4	-	-	24.8	10.9	1.0	-	-	1.0	1.0	-
三保地区	59	45.8	8.5	-	27.1	10.2	5.1	-	-	-	1.7	1.7

凡例： 1位 2位 3位

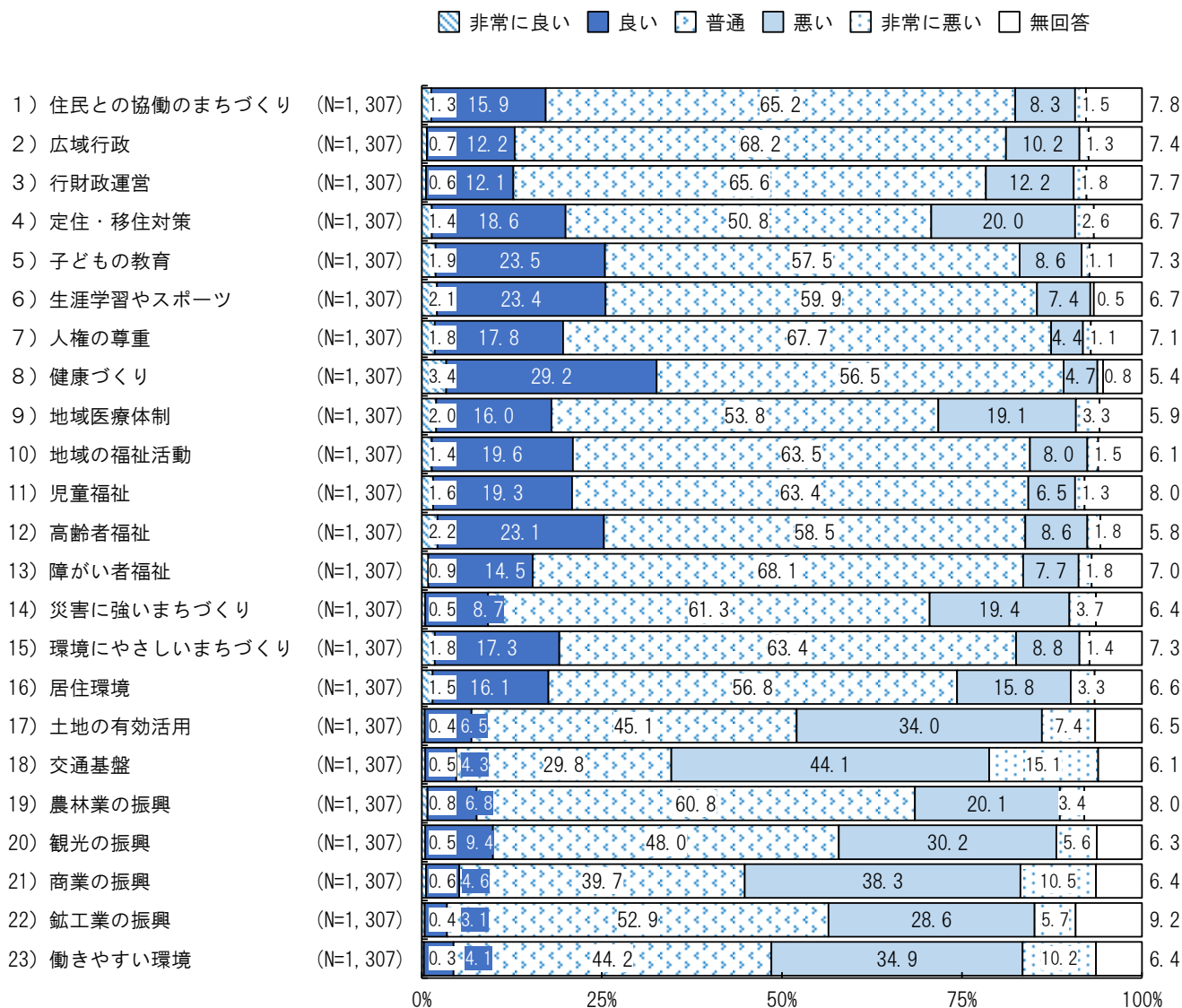
- ◆全体で見ると、「生まれたときから住んでいるから」37.1%が最も多く、以下「結婚のため」22.0%、「持ち家を求めたため」18.4%、「親や家族と一緒に住むため」10.9%、「転勤などの仕事上の関係から」4.3%となっています。
- ◆性別で見ると、男性の1位は「生まれたときから住んでいるから」51.5%で、女性の1位は「結婚のため」35.3%となっています。
- ◆年齢別で見ると、70代以下の1位は「生まれたときから住んでいるから」で、80歳以上の1位は「結婚のため」となっています。30代から50代の2位は「結婚のため」で、60代から70代の2位は「持ち家を求めたため」となっています。
- ◆居住地区別で見ると、いずれの地区も1位は「生まれたときから住んでいるから」で、共和地区と清水地区は6割を超えています。

3 行政運営と生活環境について

(11) 町の23の取り組み評価

問4 町では、下記の23の取り組みを推進してきました。

それぞれについて、あなたの評価を教えてください。(〇は1～23のそれぞれに1つずつ)



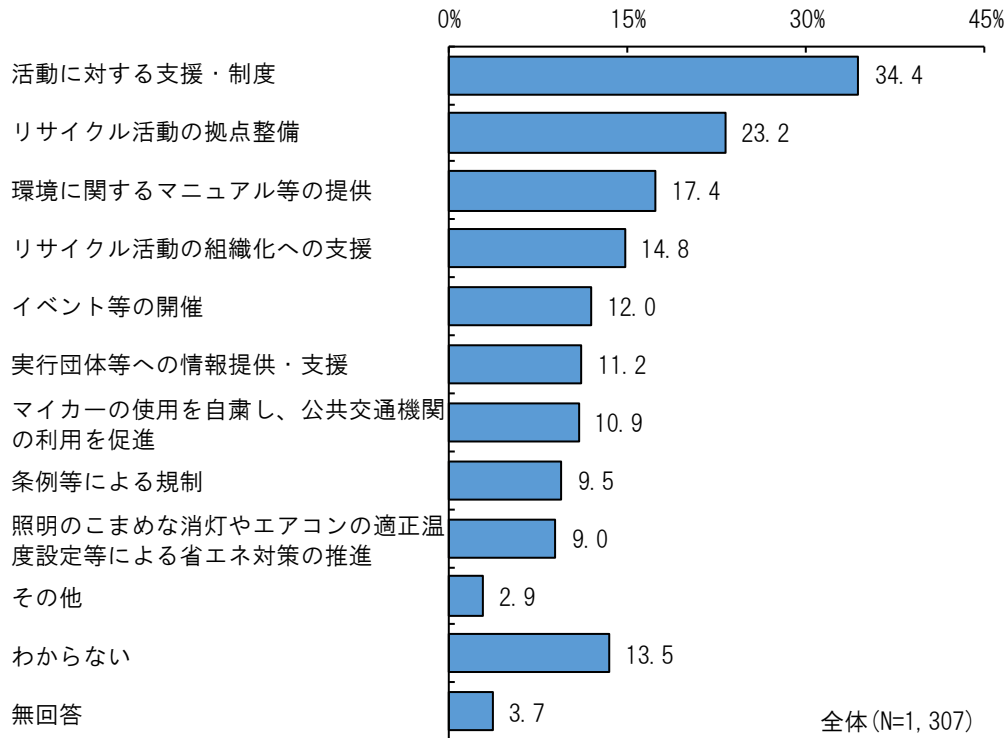
◆町の23の取り組み評価で、「非常に良い」と「良い」を合わせた『良い』が多い取り組みは、“8) 健康づくり”が最も多く32.6%、以下“6) 生涯学習やスポーツ”25.5%、“5) 子どもの教育”25.4%、“12) 高齢者福祉”25.3%となっています。

一方、「悪い」と「非常に悪い」を合わせた『悪い』が多い取り組みは、“18) 交通基盤”59.2%が最も多く、以下“21) 商業の振興”48.8%、“23) 働きやすい環境”45.1%、“17) 土地の有効活用”41.4%となっています。

(12) 環境にやさしいまちづくりとして必要な取り組み

問5 環境にやさしいまちづくりの取り組みとして必要だと思うことは何ですか。

(○は主なもの2つまで)



(単位%)

	調査数 (人)	活動に対する支援・制度	リサイクル活動の拠点整備	環境に関するマニュアル等の提供	リサイクル活動の組織化への支援	イベント等の開催	実行団体等への情報提供・支援	マイカーの使用を自粛し、公共交通機関の利用を促進	条例等による規制	照明のこまめな消灯やエアコンの適正温度設定等による省エネ対策の推進	その他	わからない	無回答
全体	1,307	34.4	23.2	17.4	14.8	12.0	11.2	10.9	9.5	9.0	2.9	13.5	3.7
性別													
男性	631	39.1	25.5	18.4	15.1	13.5	10.1	10.5	9.8	6.7	3.5	10.9	2.9
女性	671	30.0	21.0	16.5	14.5	10.7	12.1	11.2	8.9	11.2	2.4	15.9	4.6
年齢別													
30歳未満	123	37.4	23.6	8.9	14.6	20.3	10.6	2.4	9.8	16.3	1.6	13.0	1.6
30代	83	44.6	26.5	13.3	12.0	22.9	8.4	7.2	8.4	12.0	1.2	13.3	-
40代	138	31.2	31.9	10.9	14.5	14.5	10.1	9.4	8.7	13.0	2.2	13.0	2.2
50代	193	32.6	30.1	18.1	15.0	9.8	11.4	11.4	14.5	7.8	6.2	9.8	2.1
60代	363	36.9	23.4	23.1	16.5	9.4	12.9	8.3	10.2	5.8	2.5	14.9	1.4
70代	275	32.4	14.9	20.7	14.2	10.5	13.1	17.5	6.9	7.3	2.9	12.7	7.3
80歳以上	104	29.8	17.3	10.6	10.6	7.7	4.8	16.3	4.8	9.6	2.9	18.3	14.4
居住地区別													
山北1	213	36.6	20.2	16.4	13.6	11.7	8.0	11.3	9.9	8.9	3.3	15.0	3.3
山北2	199	27.1	25.1	14.1	16.1	15.6	14.1	9.0	8.5	9.5	3.0	13.1	5.0
向原1	97	35.1	16.5	24.7	17.5	8.2	10.3	15.5	8.2	9.3	1.0	15.5	2.1
向原2	218	34.4	21.6	17.9	15.1	13.3	11.0	9.2	9.2	9.2	4.6	12.4	6.9
岸1	186	34.9	26.3	21.0	13.4	12.4	9.7	13.4	7.0	8.1	3.8	10.2	4.3
岸2	193	30.6	26.4	16.1	18.1	11.4	11.4	9.8	7.8	10.9	1.0	15.5	2.6
共和地区	25	44.0	20.0	16.0	12.0	4.0	24.0	4.0	16.0	12.0	12.0	8.0	-
清水地区	101	40.6	28.7	17.8	10.9	9.9	10.9	12.9	11.9	6.9	1.0	13.9	1.0
三保地区	59	44.1	13.6	11.9	10.2	13.6	13.6	8.5	18.6	3.4	1.7	16.9	1.7

凡例: 1位 2位 3位

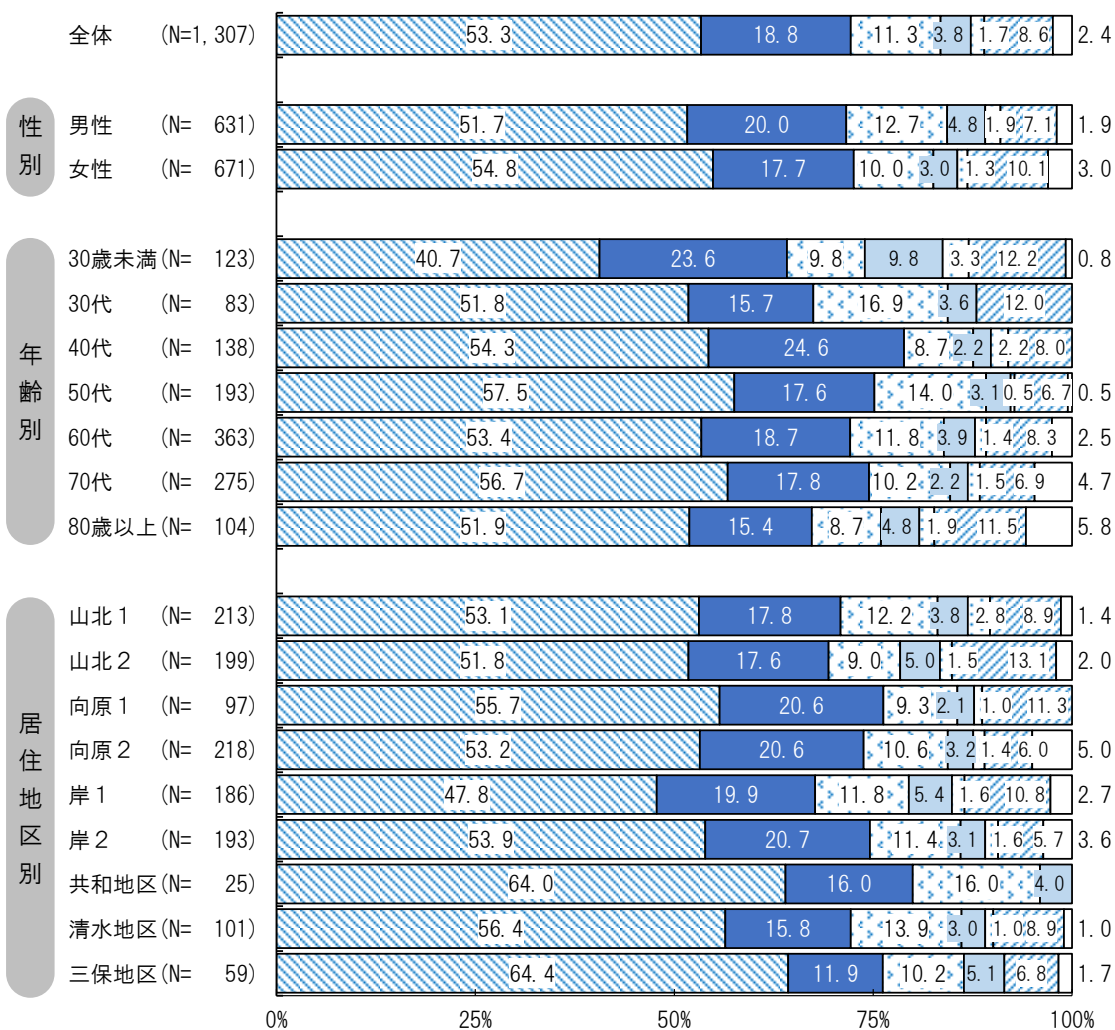
- ◆全体で見ると、「活動に対する支援・制度」34.4%が最も多く、以下「リサイクル活動の拠点整備」23.2%、「環境に関するマニュアル等の提供」17.4%、「リサイクル活動の組織化への支援」14.8%となっています。
- ◆性別で見ると、男女ともに1位は「活動に対する支援・制度」で、男性の39.1%が女性の30.0%よりもやや多くなっています。
- ◆年齢別で見ると、40代を除いたすべての年齢で1位は「活動に対する支援・制度」となっています。40代の1位は「リサイクル活動の拠点整備」31.9%、2位は「活動に対する支援・制度」31.2%となっています。70代の2位は「環境に関するマニュアル等の提供」20.7%、3位は「マイカーの使用を自粛し、公共交通機関の利用を促進」17.5%となっています。
- ◆居住地区別で見ると、いずれの地区も1位は「活動に対する支援・制度」で、山北2の27.1%や、岸2の30.6%は、他の地区よりもやや少なくなっています。

4 人口対策について

(13) 今後の町の人口対策

問6 今後町の人口対策をどのようにしたら良いと思いますか。(○は1つだけ)

- できるだけ人口が増えるように対策を強化するべきだ
- 現状の人口を維持するべきだ
- 町の施策の実施などで減少幅を抑制していくべきだ
- 減少するとしても、成り行きにまかせておけばよい
- その他
- わからない
- 無回答

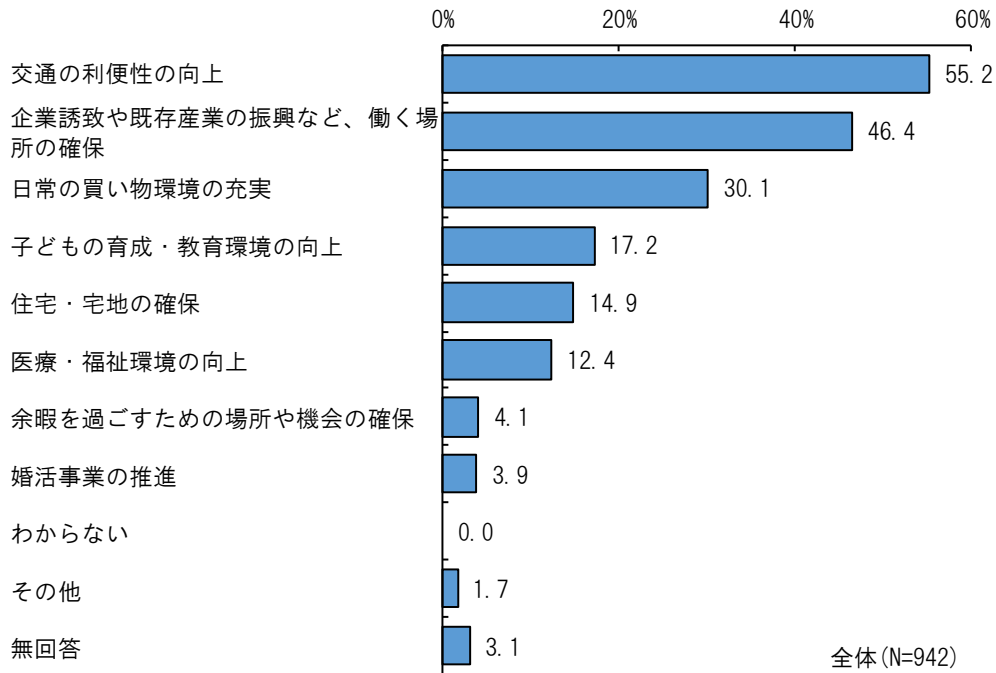


- ◆全体で見ると、「できるだけ人口が増えるように対策を強化するべきだ」53.3%が最も多く、以下「現状の人口を維持するべきだ」18.8%、「町の施策の実施などで減少幅を抑制していくべきだ」11.3%、「減少するとしても、成り行きにまかせておけばよい」3.8%となっています。
- ◆年齢別で見ると、30歳未満は「できるだけ人口が増えるように対策を強化するべきだ」40.7%が、他の年齢よりも少なくなっています。
- ◆居住地区別で見ると、岸1は「できるだけ人口が増えるように対策を強化するべきだ」47.8%が、他の地区よりもやや少なくなっています。

(14) 町の人口を増やすまたは減らさないために大事なこと

問6-1 町の人口を増やすまたは減らさないために大事なことは何ですか。(〇は主なもの2つまで)

※問6で、「できるだけ人口が増えるように対策を強化するべきだ」又は「現状の人口を維持するべきだ」と答えた方のみ。



(単位%)

	調査数 (人)	交通の利便性の向上	企業誘致や既存産業の振興など、働く場所の確保	日常の買い物環境の充実	子どもの育成・教育環境の向上	住宅・宅地の確保	医療・福祉環境の向上	余暇を過ごすための場所や機会の確保	婚活事業の推進	わからない	その他	無回答
全体	942	55.2	46.4	30.1	17.2	14.9	12.4	4.1	3.9	-	1.7	3.1
性別												
男性	452	54.9	50.2	23.2	18.8	17.7	13.7	4.4	2.9	-	2.7	2.2
女性	487	55.6	42.9	36.8	15.6	12.3	11.3	3.7	4.9	-	0.8	3.7
年齢別												
30歳未満	79	73.4	27.8	41.8	17.7	10.1	7.6	8.9	1.3	-	1.3	2.5
30代	56	39.3	35.7	33.9	33.9	17.9	14.3	8.9	3.6	-	1.8	5.4
40代	109	52.3	34.9	34.9	22.0	19.3	13.8	5.5	2.8	-	3.7	1.8
50代	145	57.9	49.7	29.7	17.9	14.5	9.0	2.1	3.4	-	2.8	2.8
60代	262	55.3	51.1	26.7	16.8	13.4	14.9	3.4	3.4	-	1.1	3.4
70代	205	52.7	56.6	25.4	13.2	13.7	11.2	3.9	5.9	-	1.5	2.9
80歳以上	70	50.0	45.7	35.7	7.1	18.6	17.1	-	7.1	-	-	1.4
居住地区別												
山北1	151	60.9	42.4	35.1	18.5	9.3	15.2	3.3	2.6	-	1.3	1.3
山北2	138	52.9	38.4	48.6	10.1	13.8	7.2	2.9	2.9	-	0.7	6.5
向原1	74	41.9	51.4	28.4	16.2	24.3	9.5	5.4	6.8	-	1.4	2.7
向原2	161	58.4	50.3	20.5	13.7	18.0	16.8	2.5	6.8	-	1.9	2.5
岸1	126	65.9	39.7	32.5	17.5	12.7	14.3	4.0	1.6	-	1.6	3.2
岸2	144	52.8	47.9	24.3	19.4	17.4	11.1	7.6	4.2	-	1.4	2.8
共和地区	20	45.0	50.0	25.0	10.0	30.0	-	10.0	-	-	10.0	-
清水地区	73	47.9	58.9	20.5	27.4	11.0	8.2	4.1	4.1	-	2.7	4.1
三保地区	45	48.9	55.6	24.4	24.4	11.1	22.2	-	4.4	-	2.2	-

凡例: 1位 2位 3位

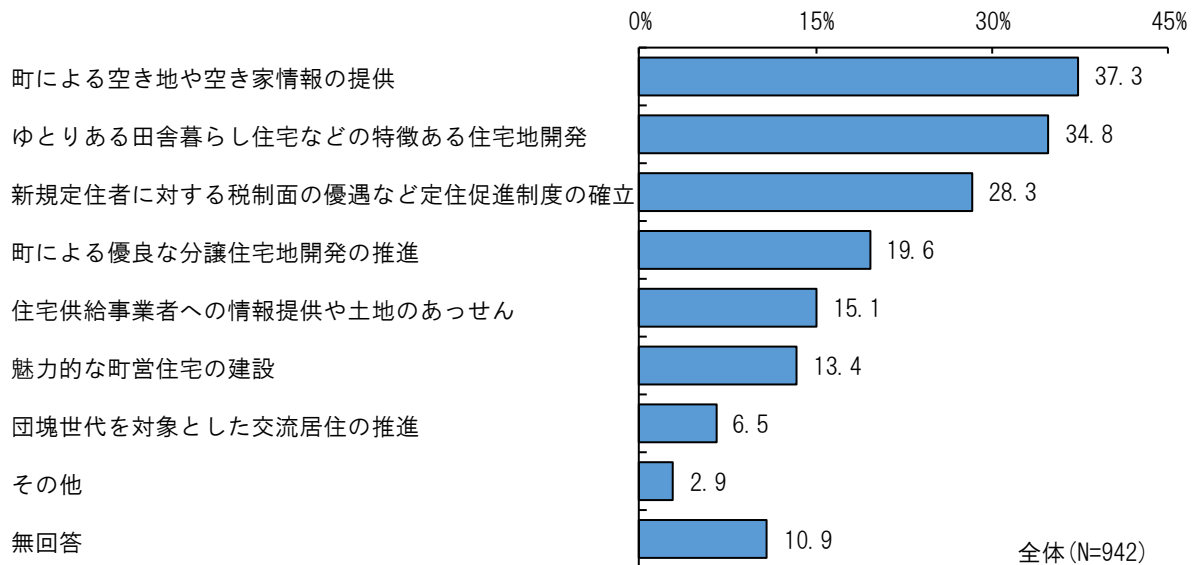
- ◆全体で見ると、「交通の利便性の向上」55.2%が最も多く、以下「企業誘致や既存産業の振興など、働く場所の確保」46.4%、「日常の買い物環境の充実」30.1%、「子どもの育成・教育環境の向上」17.2%、「住宅・宅地の確保」14.9%となっています。
- ◆性別で見ると、男女ともに3位は「日常の買い物環境の充実」で、女性の36.8%が男性23.2%よりも多くなっています。
- ◆年齢別で見ると、70代を除いたすべての年齢で1位は「交通の利便性の向上」となっており、30歳未満は7割を超えています。70代の1位は「企業誘致や既存産業の振興など、働く場所の確保」56.6%となっています。
「日常の買い物環境の充実」は30歳未満が、「子どもの育成・教育環境の向上」は30代が、「企業誘致や既存産業の振興など、働く場所の確保」は50代から70代が多くなっています。
- ◆居住地区別で見ると、山北1・山北2・向原2・岸1・岸2の1位は「交通の利便性の向上」となっています。向原1・共和地区・清水地区・三保地区の1位は「企業誘致や既存産業の振興など、働く場所の確保」となっています。
山北2の2位は「日常の買い物環境の充実」48.6%で、他の地区よりも多くなっています。

(15) 定住施策としてすべきだと思う住宅に関連した施策

問6-2 定住施策としてどのような住宅に関連した施策をすべきだと思いますか。

(○は主なもの2つまで)

※問6で、「できるだけ人口が増えるように対策を強化すべきだ」又は「現状の人口を維持すべきだ」と答えた方のみ。



(単位%)

	調査数 (人)	町による空き地や空き家情報の提供	ゆとりある田舎暮らし住宅などの特徴ある住宅地開発	新規定住者に対する税制面の優遇など定住促進制度の確立	町による優良な分譲住宅地開発の推進	住宅供給事業者への情報提供や土地のあっせん	魅力的な町営住宅の建設	団塊世代を対象とした交流居住の推進	その他	無回答
全体	942	37.3	34.8	28.3	19.6	15.1	13.4	6.5	2.9	10.9
性別										
男性	452	38.5	32.7	33.8	21.7	13.3	13.1	5.5	3.8	8.2
女性	487	36.3	36.6	23.4	17.9	16.8	13.8	7.0	2.1	13.6
年齢別										
30歳未満	79	31.6	35.4	34.2	15.2	13.9	30.4	3.8	-	6.3
30代	56	39.3	32.1	48.2	21.4	14.3	12.5	1.8	10.7	1.8
40代	109	32.1	36.7	28.4	25.7	14.7	14.7	4.6	2.8	6.4
50代	145	37.2	36.6	29.0	22.8	13.8	11.0	4.1	2.1	12.4
60代	262	41.6	33.2	26.3	18.7	15.6	11.1	9.5	3.1	10.3
70代	205	39.5	35.6	24.9	20.0	16.6	9.8	7.3	1.5	14.1
80歳以上	70	34.3	35.7	22.9	10.0	17.1	15.7	5.7	2.9	18.6
居住地区別										
山北1	151	40.4	37.7	27.8	15.9	17.2	11.9	4.0	2.6	9.3
山北2	138	38.4	31.9	30.4	15.9	13.0	11.6	8.0	2.2	13.0
向原1	74	40.5	35.1	27.0	20.3	10.8	16.2	5.4	1.4	10.8
向原2	161	35.4	30.4	28.6	19.3	18.0	14.9	8.7	2.5	13.0
岸1	126	35.7	35.7	32.5	17.5	13.5	10.3	6.3	4.0	11.1
岸2	144	36.8	30.6	26.4	24.3	16.0	13.9	6.9	4.2	10.4
共和地区	20	40.0	40.0	15.0	10.0	20.0	15.0	-	10.0	15.0
清水地区	73	37.0	42.5	28.8	24.7	9.6	13.7	4.1	-	11.0
三保地区	45	33.3	48.9	26.7	26.7	20.0	20.0	4.4	2.2	4.4

凡例: 1位 2位 3位

- ◆全体で見ると、「町による空き地や空き家情報の提供」37.3%が最も多く、以下「ゆとりある田舎暮らし住宅などの特徴ある住宅地開発」34.8%、「新規定住者に対する税制面の優遇など定住促進制度の確立」28.3%、「町による優良な分譲住宅地開発の推進」19.6%、「住宅供給事業者への情報提供や土地のあっせん」15.1%となっています。
- ◆性別で見ると、男性の1位は「町による空き地や空き家情報の提供」38.5%で、女性の1位は「ゆとりある田舎暮らし住宅などの特徴ある住宅地開発」36.6%となっています。
男性の2位は「新規定住者に対する税制面の優遇など定住促進制度の確立」33.8%で、女性の23.4%よりも多くなっています。
- ◆年齢別で見ると、30歳未満・40代・80歳以上の1位は「ゆとりある田舎暮らし住宅などの特徴ある住宅地開発」、30代の1位は「新規定住者に対する税制面の優遇など定住促進制度の確立」、50代から70代の1位は「町による空き地や空き家情報の提供」となっています。
- ◆居住地区別で見ると、山北1・山北2・向原1・向原2・岸2の1位は「町による空き地や空き家情報の提供」で、清水地区と三保地区の1位は「ゆとりある田舎暮らし住宅などの特徴ある住宅地開発」となっています。岸1と共和地区は「町による空き地や空き家情報の提供」と「ゆとりある田舎暮らし住宅などの特徴ある住宅地開発」が同率で1位となっています。

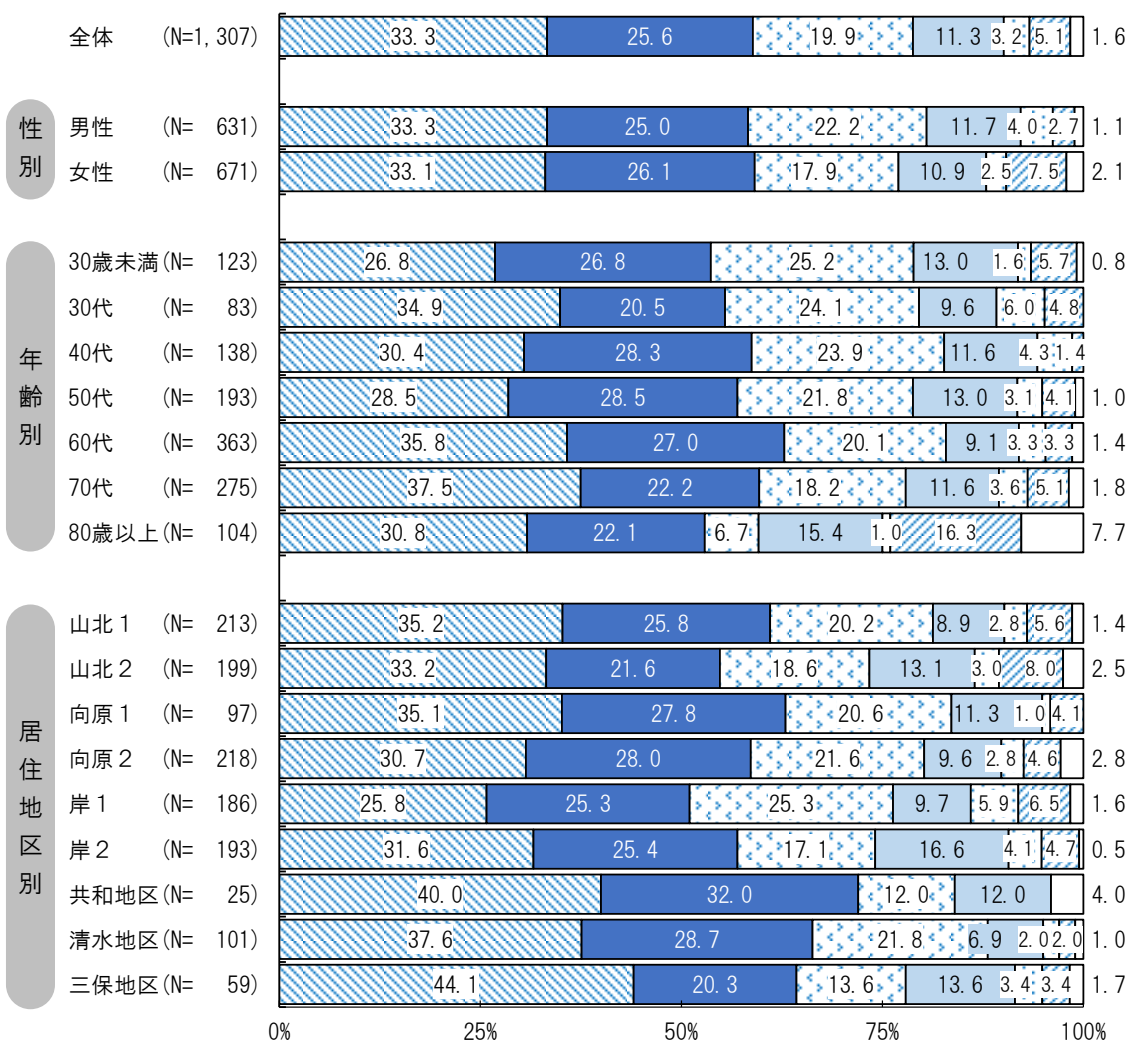
5 土地利用について

(16) 開発と保全についての考え

問7 地域開発を進めていく場合、緑や自然の保全が課題となります。

あなたは開発と保全についてどのようにお考えですか。(○は1つだけ)

- 生活の便利さ、経済の豊かさ、地域全体の活気を高めるために、積極的に開発を進めるべきだ※1
- どちらかといえば地域開発に重点をおく※2
- どちらかといえば自然を守ることに重点をおく※3
- 開発より自然の保護・保全を優先させるべきだ※4
- その他
- わからない
- 無回答



選択肢省略 ※1 自然を守り残すことも大切だが、生活の便利さ、経済の豊かさ、地域全体の活気を高めるためには、積極的に開発を進めるべきだ

※2 自然を守り残すことが大切だが、どちらかといえば地域開発に重点をおく

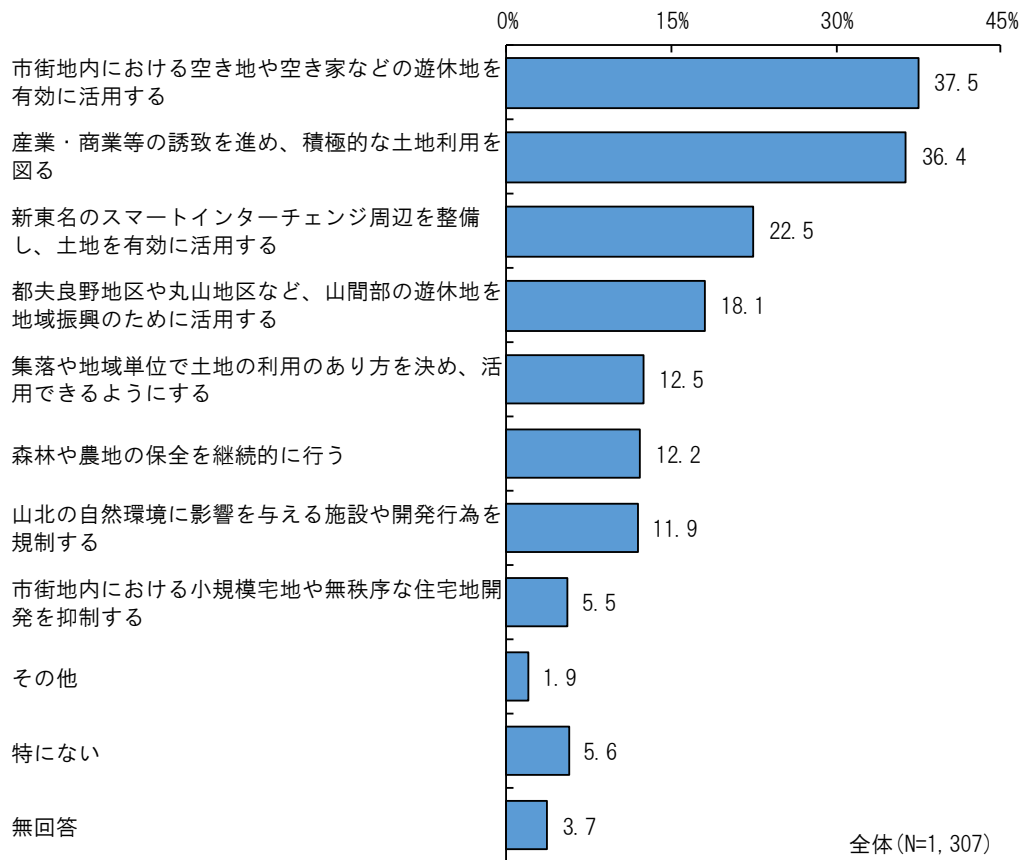
※3 地域開発も必要だが、どちらかといえば自然を守ることに重点をおく

※4 美しい自然はかけがえのないものだから、開発より自然の保護・保全を優先させるべきだ

- ◆全体で見ると、「生活の便利さ、経済の豊かさ、地域全体の活気を高めるために、積極的に開発を進めるべきだ」33.3%が最も多く、以下「どちらかといえば地域開発に重点をおく」25.6%、「どちらかといえば自然を守ることに重点をおく」19.9%、「開発より自然の保護・保全を優先させるべきだ」11.3%となっています。
- ◆年齢別で見ると、30歳未満と50代を除いたすべての年齢で「生活の便利さ、経済の豊かさ、地域全体の活気を高めるために、積極的に開発を進めるべきだ」が3割を超えています。
80歳以上は「どちらかといえば自然を守ることに重点をおく」6.7%が、他の年齢よりも少なくなっています。
- ◆居住地区別で見ると、岸1は「生活の便利さ、経済の豊かさ、地域全体の活気を高めるために、積極的に開発を進めるべきだ」25.8%が、他の地区よりもやや少なくなっています。

(17) 土地の利用について特に重要な取り組み

問8 土地の利用について特に重要な取り組みは何ですか。(○は主なもの2つまで)



(単位%)

	調査数 (人)	市街地内における空き地や空き家などの遊休地を有効に活用する	産業・商業等の誘致を進め、積極的な土地利用を図る	新東名のスマートインターチェンジ周辺を整備し、土地を有効に活用する	都夫良野地区や丸山地区など、山間部の遊休地を地域振興のために活用する	集落や地域単位で土地の利用のあり方を決め、活用できるようにする	森林や農地の保全を継続的に行う	山北の自然環境に影響を与える施設や開発行為を規制する	市街地内における小規模宅地や無秩序な住宅地開発を抑制する	その他	特にない	無回答
		37.5	36.4	22.5	18.1	12.5	12.2	11.9	5.5	1.9	5.6	3.7
全体	1,307	37.5	36.4	22.5	18.1	12.5	12.2	11.9	5.5	1.9	5.6	3.7
性別												
男性	631	38.4	39.6	23.1	21.1	13.9	11.6	11.3	6.3	2.7	3.8	2.4
女性	671	36.5	33.5	21.8	15.4	11.0	13.0	12.7	4.8	1.2	7.3	4.9
年齢別												
30歳未満	123	35.0	27.6	26.0	18.7	9.8	17.9	8.1	4.9	0.8	9.8	1.6
30代	83	44.6	28.9	32.5	16.9	9.6	19.3	9.6	9.6	1.2	4.8	-
40代	138	33.3	33.3	31.9	16.7	8.7	11.6	14.5	6.5	4.3	2.9	1.4
50代	193	38.3	42.0	31.6	16.6	10.4	14.5	9.3	4.7	2.1	3.1	1.6
60代	363	39.7	39.9	19.8	19.3	14.3	10.2	14.9	5.5	0.8	5.0	3.0
70代	275	40.4	36.7	14.5	20.0	16.4	10.9	11.3	4.4	1.5	5.8	6.2
80歳以上	104	25.0	33.7	14.4	14.4	8.7	7.7	12.5	6.7	2.9	11.5	11.5
居住地区別												
山北1	213	40.8	33.3	18.8	16.0	7.5	15.0	12.7	6.6	1.9	7.0	3.8
山北2	199	38.7	29.1	22.1	18.1	14.1	14.6	9.0	4.5	0.5	9.0	4.5
向原1	97	38.1	42.3	18.6	26.8	14.4	10.3	6.2	4.1	-	5.2	2.1
向原2	218	41.3	39.9	17.4	13.3	10.1	11.5	14.7	9.2	3.7	5.0	5.0
岸1	186	34.4	37.6	19.9	22.0	12.4	10.8	14.5	4.8	2.7	3.2	5.4
岸2	193	40.9	40.4	20.2	19.7	10.4	8.8	14.5	4.7	1.0	5.7	2.1
共和地区	25	36.0	28.0	4.0	40.0	24.0	28.0	8.0	8.0	-	4.0	-
清水地区	101	28.7	42.6	51.5	14.9	10.9	7.9	8.9	3.0	2.0	2.0	1.0
三保地区	59	22.0	23.7	35.6	11.9	33.9	16.9	10.2	3.4	3.4	6.8	5.1

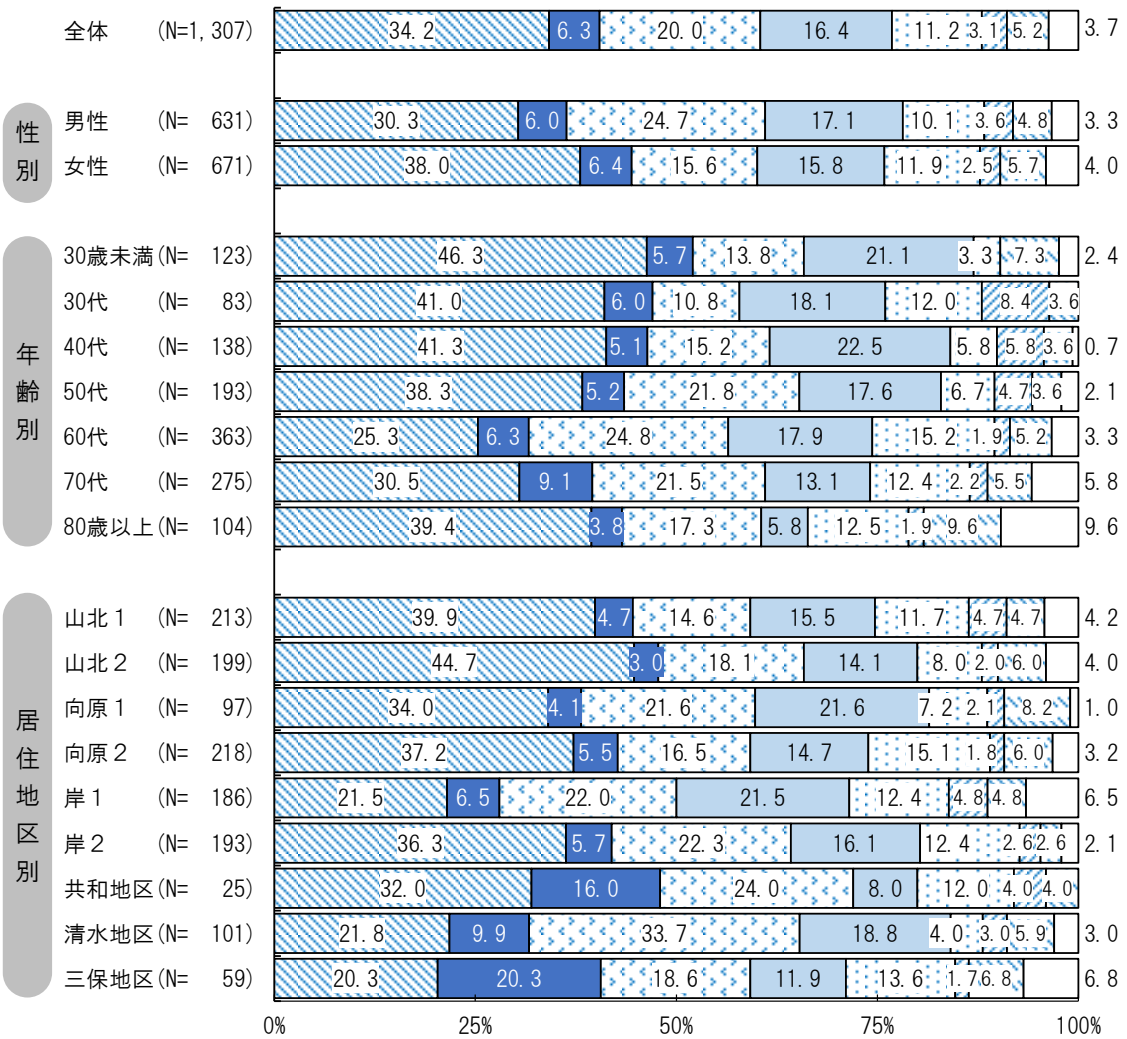
凡例: 1位 2位 3位

- ◆全体でみると、「市街地内における空き地や空き家などの遊休地を有効に活用する」37.5%が最も多く、以下「産業・商業等の誘致を進め、積極的な土地利用を図る」36.4%、「新東名のスマートインターチェンジ周辺を整備し、土地を有効に活用する」22.5%、「都夫良野地区や丸山地区など、山間部の遊休地を地域振興のために活用する」18.1%、「集落や地域単位で土地の利用のあり方を決め、活用できるようにする」12.5%となっています。
- ◆性別でみると、男性の1位は「産業・商業等の誘致を進め、積極的な土地利用を図る」39.6%で、女性の1位は「市街地内における空き地や空き家などの遊休地を有効に活用する」36.5%となっています。
- ◆年齢別でみると、30歳未満・30代・70代の1位は「市街地内における空き地や空き家などの遊休地を有効に活用する」、50代・60代・80歳以上の1位は「産業・商業等の誘致を進め、積極的な土地利用を図る」、40代は「市街地内における空き地や空き家などの遊休地を有効に活用する」と「産業・商業等の誘致を進め、積極的な土地利用を図る」が同率で1位となっています。「新東名のスマートインターチェンジ周辺を整備し、土地を有効に活用する」は、30代から50代で多く、いずれも3割を超えています。
- ◆居住地区別でみると、山北1・山北2・向原2・岸2の1位は「市街地内における空き地や空き家などの遊休地を有効に活用する」、向原1・岸1は「産業・商業等の誘致を進め、積極的な土地利用を図る」、共和地区の1位は「都夫良野地区や丸山地区など、山間部の遊休地を地域振興のために活用する」、清水地区と三保地区の1位は「新東名のスマートインターチェンジ周辺を整備し、土地を有効に活用する」となっています。

(18) 活力あふれる地域にするために必要な取り組み

問9 活力あふれる地域にするために必要な取り組みは何ですか。(○は1つだけ)

- 駅前周辺の住宅地・商業地の開発を進め、定住者を確保し利便性の高いまちにする
- 集落近辺で交流施設や住宅設備を行い農村集落の活力を再生する
- 企業誘致を進め、産業の活性化を図る
- 宿泊施設やスポーツ・レクリエーション系施設を整備し、観光振興を図る
- 住宅地を整備し、定住人口を確保する
- その他
- 特にない
- 無回答

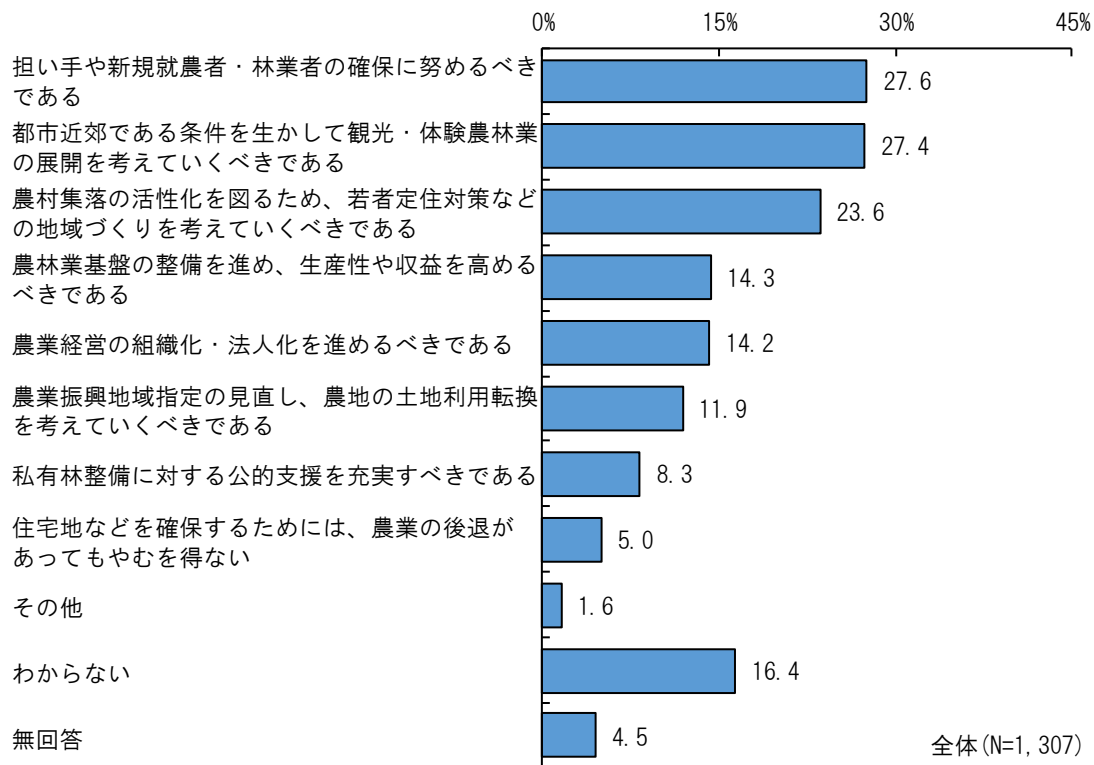


- ◆全体でみると、「駅前周辺の住宅地・商業地の開発を進め、定住者を確保し利便性の高いまちにする」34.2%が最も多く、以下「企業誘致を進め、産業の活性化を図る」20.0%、「宿泊施設やスポーツ・レクリエーション系施設を整備し、観光振興を図る」16.4%、「住宅地を整備し、定住人口を確保する」11.2%、「集落近辺で交流施設や住宅設備を行い農村集落の活力を再生する」6.3%となっています。
- ◆性別でみると、男性は「企業誘致を進め、産業の活性化を図る」24.7%が、女性の15.6%よりもやや多くなっています。女性は「駅前周辺の住宅地・商業地の開発を進め、定住者を確保し利便性の高いまちにする」38.0%が、男性の30.3%よりもやや多くなっています。
- ◆年齢別でみると、60代は「駅前周辺の住宅地・商業地の開発を進め、定住者を確保し利便性の高いまちにする」25.3%が、他の年齢よりもやや少なくなっています。
- ◆居住地区別でみると、岸1・清水地区・三保地区は「駅前周辺の住宅地・商業地の開発を進め、定住者を確保し利便性の高いまちにする」が、他の地区よりもやや少なくなっています。

6 産業について

(19) 今後の農林業についての考え

問10 山北町の将来を考えた場合、農林業についてどのようにお考えですか。(○は主なもの2つまで)



(単位%)

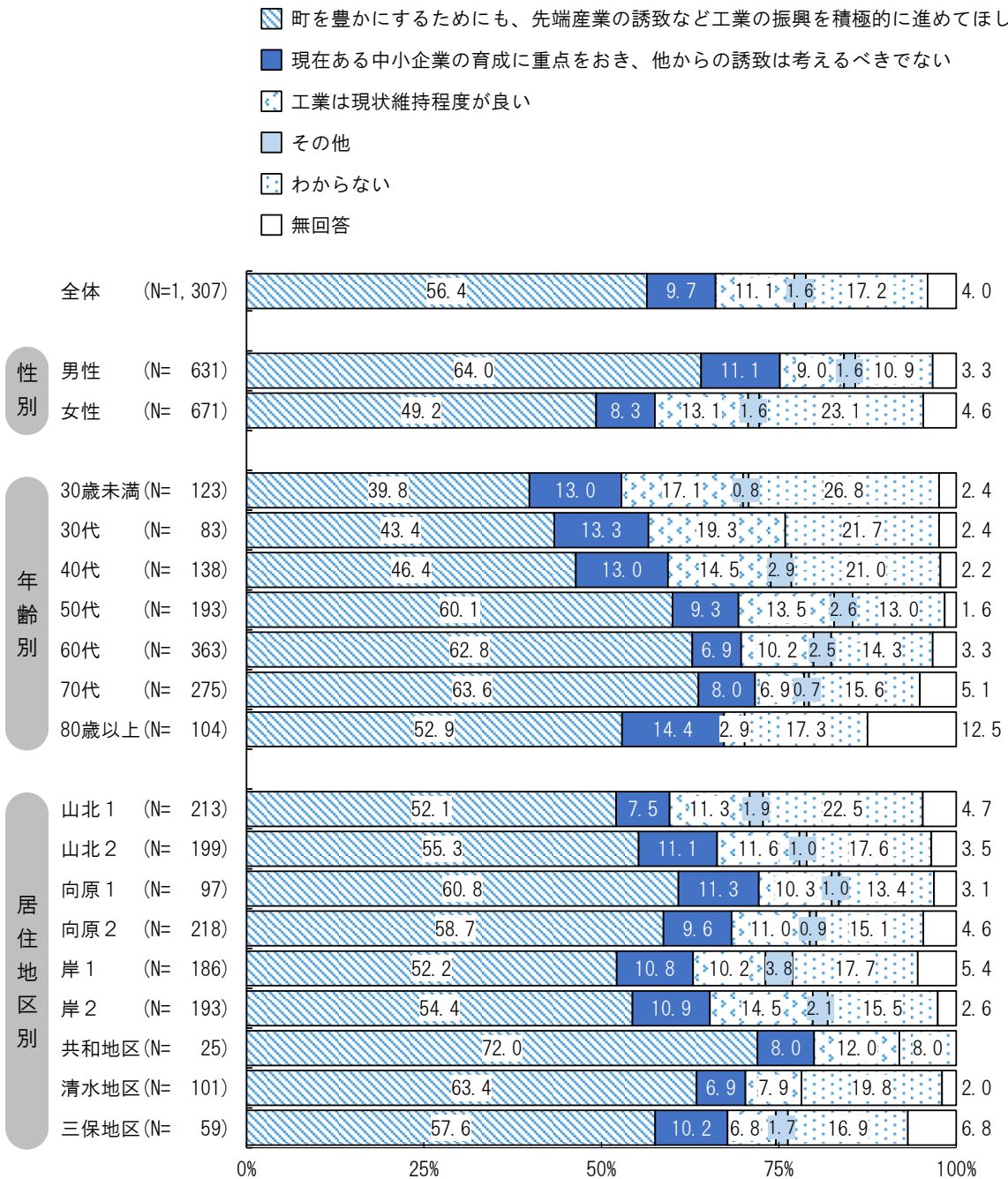
	調査数(人)	担い手や新規就農者・林業者の確保に努めるべきである	都市近郊である条件を生かして観光・体験農林業の展開を考えていくべきである	農村集落の活性化を図るため、若者定住対策などの地域づくり、農業経営の組織化・法人化を進めるべきである	農林業基盤の整備を進め、生産性や収益を高めるべきである	農業経営の組織化・法人化を進めるべきである	農業振興地域指定の見直し、農地の土地利用転換を考えていくべきである	私有林整備に対する公的支援を充実すべきである	住宅地などを確保するためには、農業の後退があってもやむを得ない	その他	わからない	無回答
全体	1,307	27.6	27.4	23.6	14.3	14.2	11.9	8.3	5.0	1.6	16.4	4.5
性別												
男性	631	30.6	26.1	23.0	15.8	18.9	14.9	8.4	7.1	2.1	11.7	3.2
女性	671	25.0	28.6	24.1	12.8	9.7	8.9	8.2	3.1	1.2	20.9	5.8
年齢別												
30歳未満	123	31.7	22.0	22.0	12.2	8.9	3.3	3.3	1.6	1.6	28.5	1.6
30代	83	32.5	30.1	18.1	18.1	13.3	8.4	13.3	4.8	2.4	15.7	1.2
40代	138	32.6	30.4	18.8	15.2	9.4	5.8	8.0	5.1	2.2	18.1	3.6
50代	193	31.1	33.2	24.4	11.4	19.7	11.9	8.8	4.1	2.6	9.8	2.6
60代	363	26.4	30.6	24.2	15.2	19.8	13.8	8.5	6.1	1.7	13.8	3.6
70代	275	22.9	24.4	27.3	13.8	10.9	17.8	9.8	4.7	0.7	16.0	6.5
80歳以上	104	22.1	15.4	25.0	15.4	7.7	9.6	4.8	7.7	1.0	23.1	13.5
居住地別												
山北1	213	31.0	27.2	16.0	12.2	14.1	8.9	12.2	2.8	2.8	18.3	5.6
山北2	199	29.1	23.6	26.1	15.1	13.6	11.1	5.5	3.5	-	17.1	5.5
向原1	97	21.6	25.8	26.8	15.5	14.4	13.4	11.3	4.1	-	17.5	3.1
向原2	218	29.8	31.2	22.5	10.6	15.1	13.3	6.4	6.4	1.8	15.1	5.5
岸1	186	25.8	25.8	27.4	12.9	14.0	14.5	8.1	3.8	3.2	14.5	5.9
岸2	193	26.4	32.6	21.2	17.1	11.9	10.9	5.7	7.3	1.0	19.7	1.6
共和地区	25	28.0	36.0	36.0	32.0	-	16.0	12.0	8.0	4.0	8.0	-
清水地区	101	26.7	26.7	26.7	13.9	23.8	11.9	7.9	5.9	2.0	12.9	1.0
三保地区	59	22.0	20.3	27.1	16.9	6.8	6.8	13.6	8.5	-	18.6	10.2

凡例： 1位 2位 3位

- ◆全体で見ると、「担い手や新規就農者・林業者の確保に努めるべきである」27.6%が最も多く、以下「都市近郊である条件を生かして観光・体験農林業の展開を考えていくべきである」27.4%、「農村集落の活性化を図るため、若者定住対策などの地域づくりを考えていくべきである」23.6%、「農林業基盤の整備を進め、生産性や収益を高めるべきである」14.3%となっています。
- ◆性別で見ると、男性の1位は「担い手や新規就農者・林業者の確保に努めるべきである」30.6%で、女性の1位は「都市近郊である条件を生かして観光・体験農林業の展開を考えていくべきである」28.6%となっています。
- ◆年齢別で見ると、40代以下の1位は「担い手や新規就農者・林業者の確保に努めるべきである」、50代から60代の1位は「都市近郊である条件を生かして観光・体験農林業の展開を考えていくべきである」、70代以上の1位は「農村集落の活性化を図るため、若者定住対策などの地域づくりを考えていくべきである」となっています。
- ◆居住地区別で見ると、山北1と山北2の1位は、「担い手や新規就農者・林業者の確保に努めるべきである」、向原2と岸2の1位は「都市近郊である条件を生かして観光・体験農林業の展開を考えていくべきである」、向原1・岸1・三保地区の1位は「農村集落の活性化を図るため、若者定住対策などの地域づくりを考えていくべきである」となっています。

(20) 今後の工業についての考え

問11 山北町の将来を考えた場合、工業についてどのようにお考えですか。(○は1つだけ)

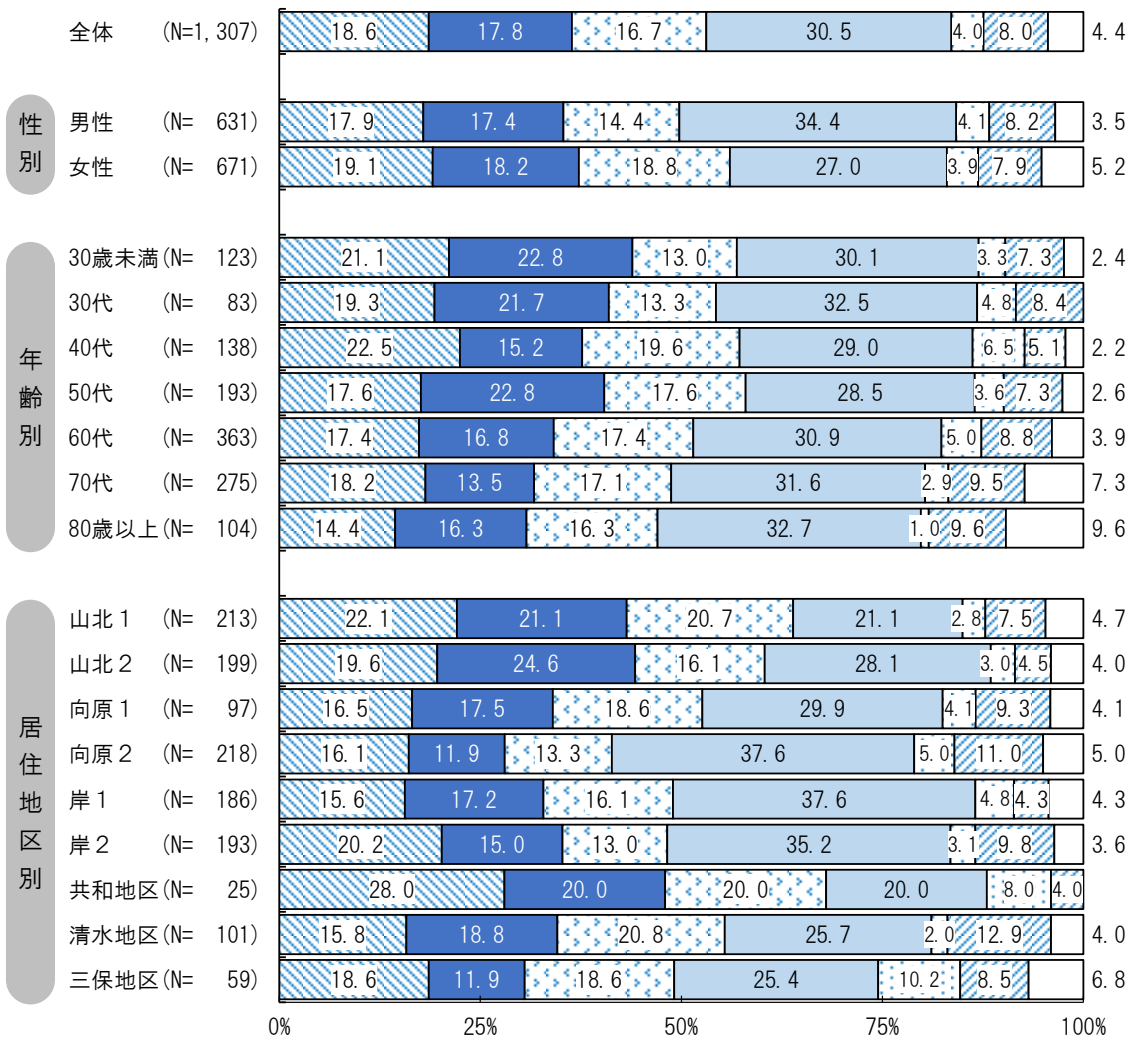


- ◆全体で見ると、「町を豊かにするためにも、先端産業の誘致など工業の振興を積極的に進めてほしい」56.4%が最も多く、以下「工業は現状維持程度が良い」11.1%、「現在ある中小企業の育成に重点をおき、他からの誘致は考えるべきでない」9.7%となっています。
- ◆性別で見ると、男性は「町を豊かにするためにも、先端産業の誘致など工業の振興を積極的に進めてほしい」64.0%が、女性の49.2%よりも多くなっています。
- ◆年齢別で見ると、50代から70代は「町を豊かにするためにも、先端産業の誘致など工業の振興を積極的に進めてほしい」が他の年齢よりも多く、6割を超えています。

(21) 山北町にとって望ましい商店街についての考え

問12 山北町にとって望ましい商店街はどのようなものとお考えですか。(○は1つだけ)

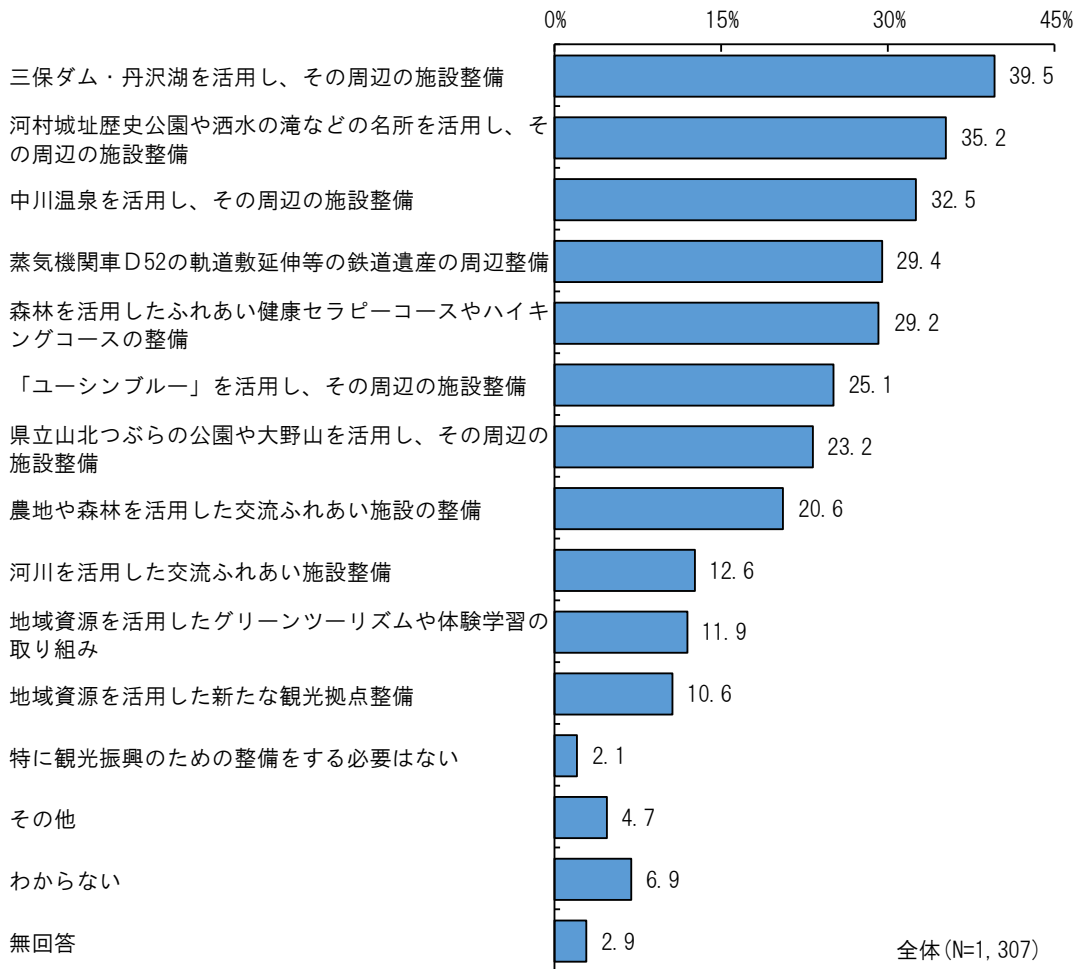
- 駅周辺に商店が集中し、いろいろな買い物や余暇を楽しめる
- 駅周辺に大規模なスーパーがあったほうがよい
- 各地区に、日用品中心の小規模の商店街があったほうがよい
- 規模は小さくても各地区にスーパー等があれば商店街はそれほど必要ない
- その他
- わからない
- 無回答



- ◆全体で見ると、「規模は小さくても各地区にスーパー等があれば商店街はそれほど必要ない」30.5%が最も多く、以下「駅周辺に商店が集中し、いろいろな買い物や余暇を楽しめる」18.6%、「駅周辺に大規模なスーパーがあったほうがよい」17.8%、「各地区に、日用品中心の小規模の商店街があったほうがよい」16.7%となっています。
- ◆年齢別で見ると、すべての年齢で「規模は小さくても各地区にスーパー等があれば商店街はそれほど必要ない」が多く、約3割を占めています。
- ◆居住地区別で見ると、向原2・岸1・岸2は「規模は小さくても各地区にスーパー等があれば商店街はそれほど必要ない」が他の地区よりもやや多く、3割半ばを超えています。

(22) 望ましい観光資源の活用や整備

問13 山北町のどのような観光資源を活用し整備するのが望ましいと思いますか。(〇はいくつでも)



		(単位%)															
		調査数 (人)	三保ダム・丹沢湖を活用し、その周辺の施設整備	河村城址歴史公園や洒水の滝などの名所を活用し、その周辺の施設整備	中川温泉を活用し、その周辺の施設整備	蒸気機関車D52の軌道敷延伸等の鉄道遺産の周辺整備	森林を活用したふれあい健康セラピーコースやハイキングコースの整備	「ユースンブルー」を活用し、その周辺の施設整備	県立山北つぶらの公園や大野山を活用し、その周辺の施設整備	農地や森林を活用した交流ふれあい施設の整備	河川を活用した交流ふれあい施設整備 <th>地域資源を活用したグリーンツーリズムや体験学習の取り組み</th> <th>地域資源を活用した新たな観光拠点整備</th> <th>特に観光振興のための整備をする必要はない</th> <th>その他</th> <th>わからない</th> <th>無回答</th>	地域資源を活用したグリーンツーリズムや体験学習の取り組み	地域資源を活用した新たな観光拠点整備	特に観光振興のための整備をする必要はない	その他	わからない	無回答
全体		1,307	39.5	35.2	32.5	29.4	29.2	25.1	23.2	20.6	12.6	11.9	10.6	2.1	4.7	6.9	2.9
性別	男性	631	45.3	36.3	34.4	32.3	27.3	24.1	23.6	20.0	14.3	9.8	12.7	2.4	5.5	4.6	1.7
	女性	671	33.8	34.1	30.8	26.8	31.1	25.9	22.7	21.0	11.0	13.7	8.8	1.9	4.0	9.1	4.0
年齢別	30歳未満	123	39.0	27.6	30.9	26.8	20.3	30.9	15.4	20.3	8.9	7.3	8.1	0.8	2.4	10.6	2.4
	30代	83	44.6	30.1	38.6	28.9	33.7	30.1	25.3	24.1	19.3	10.8	10.8	1.2	6.0	6.0	1.2
	40代	138	44.9	31.9	47.8	37.0	32.6	30.4	31.9	22.5	15.9	17.4	10.1	2.2	5.1	3.6	1.4
	50代	193	42.5	32.1	35.8	35.8	32.6	24.4	19.7	18.1	10.4	12.4	8.8	4.7	7.3	3.1	-
	60代	363	40.2	37.7	32.0	27.8	36.9	25.3	25.3	21.2	13.2	12.4	11.8	1.7	4.7	6.1	2.2
	70代	275	38.2	38.2	25.8	24.7	22.2	21.8	22.9	22.2	13.1	12.0	14.2	2.2	5.1	6.2	5.5
80歳以上	104	24.0	42.3	24.0	27.9	21.2	15.4	19.2	13.5	7.7	6.7	3.8	1.9	1.0	17.3	7.7	
居住地区別	山北1	213	34.3	45.1	27.2	38.5	28.6	25.8	21.1	17.4	13.1	12.7	13.1	3.3	6.6	7.5	3.3
	山北2	199	30.7	41.2	29.1	32.2	31.7	23.1	19.1	21.1	9.5	10.6	6.0	2.5	2.0	7.0	4.0
	向原1	97	36.1	33.0	32.0	25.8	24.7	20.6	30.9	24.7	14.4	4.1	12.4	1.0	7.2	8.2	1.0
	向原2	218	39.0	29.8	37.2	26.1	30.7	26.6	23.9	19.7	16.1	12.4	10.1	1.4	5.5	8.3	3.7
	岸1	186	43.5	42.5	26.3	35.5	28.0	21.0	17.7	22.6	10.8	12.4	7.0	1.1	4.8	7.5	2.7
	岸2	193	44.0	33.2	32.6	28.0	29.5	25.9	18.7	19.2	14.0	13.0	10.9	1.6	4.7	6.7	1.6
	共和地区	25	20.0	24.0	32.0	28.0	24.0	24.0	76.0	40.0	4.0	12.0	8.0	-	-	4.0	-
清水地区	101	44.6	19.8	36.6	17.8	27.7	28.7	37.6	19.8	13.9	12.9	15.8	4.0	4.0	4.0	2.0	
三保地区	59	67.8	16.9	59.3	13.6	35.6	28.8	13.6	18.6	8.5	15.3	18.6	5.1	5.1	3.4	5.1	

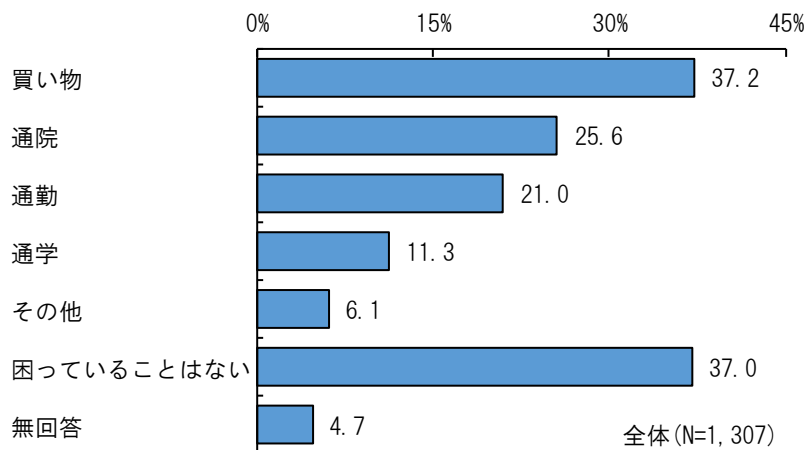
凡例: 1位 2位 3位

- ◆全体でみると、「三保ダム・丹沢湖を活用し、その周辺の施設整備」39.5%が最も多く、以下「河村城址歴史公園や洒水の滝などの名所を活用し、その周辺の施設整備」35.2%、「中川温泉を活用し、その周辺の施設整備」32.5%、「蒸気機関車D52の軌道敷延伸等の鉄道遺産の周辺整備」29.4%、「森林を活用したふれあい健康セラピーコースやハイキングコースの整備」29.2%となっています。
- ◆性別でみると、男性の1位は「三保ダム・丹沢湖を活用し、その周辺の施設整備」45.3%で、女性の1位は「河村城址歴史公園や洒水の滝などの名所を活用し、その周辺の施設整備」34.1%となっています。
- ◆年齢別でみると、40代の1位は「中川温泉を活用し、その周辺の施設整備」47.8%で、他の年齢よりもやや多くなっています。
年齢が上がるほど「河村城址歴史公園や洒水の滝などの名所を活用し、その周辺の施設整備」が多く、「「ユースンブルー」を活用し、その周辺の施設整備」は少ない傾向がみられます。
- ◆居住地区別でみると、山北1と山北2の1位は「河村城址歴史公園や洒水の滝などの名所を活用し、その周辺の施設整備」で、2位は「蒸気機関車D52の軌道敷延伸等の鉄道遺産の周辺整備」となっています。清水地区の1位は「三保ダム・丹沢湖を活用し、その周辺の施設整備」で、2位は「県立山北つぶらの公園や大野山を活用し、その周辺の施設整備」となっています。

7 生活交通について

(23) 日常生活において交通手段に困っていること

問14 日常生活において交通手段に困っていることはありますか。(〇はいくつでも)



(単位%)

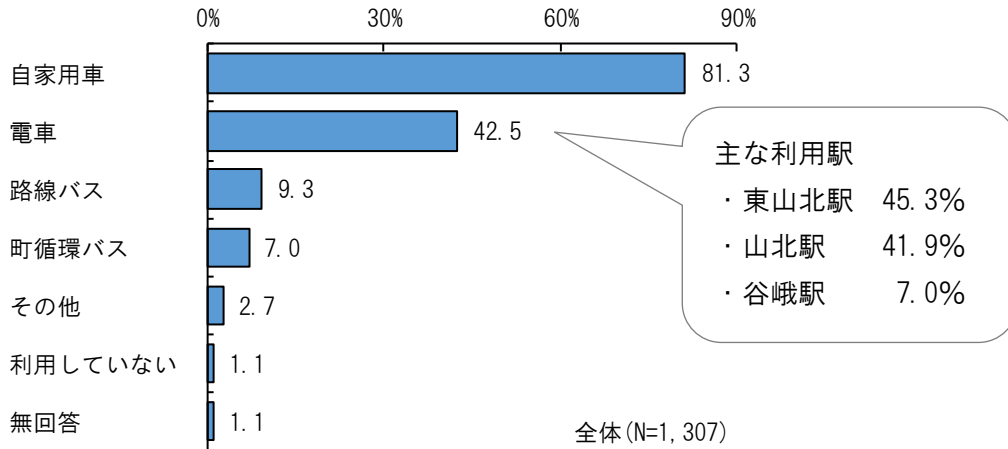
	調査数 (人)	買い物	通院	通勤	通学	その他	困っていることはない	無回答	
全体	1,307	37.2	25.6	21.0	11.3	6.1	37.0	4.7	
性別	男性	631	36.0	24.9	24.6	12.8	4.8	37.9	3.6
	女性	671	38.2	26.2	17.9	9.8	7.5	36.1	5.8
年齢別	30歳未満	123	51.2	15.4	39.0	36.6	0.8	23.6	1.6
	30代	83	34.9	21.7	39.8	19.3	7.2	26.5	-
	40代	138	33.3	21.7	33.3	21.7	5.8	34.8	2.9
	50代	193	31.6	18.7	30.1	9.3	5.7	45.1	1.6
	60代	363	32.5	24.0	15.2	5.5	7.4	44.6	5.5
	70代	275	39.6	34.2	6.2	3.6	8.7	34.9	8.4
居住地区別	80歳以上	104	48.1	42.3	9.6	4.8	1.9	28.8	8.7
	山北1	213	42.7	27.2	24.9	11.3	7.0	35.7	4.2
	山北2	199	48.7	26.1	24.6	12.1	4.0	29.1	2.5
	向原1	97	44.3	27.8	30.9	15.5	3.1	35.1	3.1
	向原2	218	21.6	19.7	19.7	11.5	7.3	42.7	6.4
	岸1	186	39.2	28.0	17.2	7.5	8.1	31.7	5.9
	岸2	193	21.2	21.8	17.6	11.9	6.7	45.6	5.2
	共和地区	25	44.0	32.0	20.0	8.0	8.0	40.0	4.0
清水地区	101	47.5	25.7	16.8	12.9	4.0	37.6	4.0	
三保地区	59	47.5	42.4	18.6	10.2	6.8	32.2	6.8	

凡例: 1位 2位 3位

- ◆全体で見ると、「買い物」37.2%が最も多く、以下「通院」25.6%、「通勤」21.0%、「通学」11.3%となっています。また、「困っていることはない」は37.0%となっています。
- ◆年齢別で見ると、30代を除いたすべての年齢で1位は「買い物」となっており、30歳未満の51.2%や、80歳以上の48.1%が他の年齢よりもやや多くなっています。
「通勤」や「通学」は年齢が下がるほど多く、「通院」は70代以上に多い傾向がみられます。
- ◆居住地区別で見ると、岸2を除いたすべての地区ので「買い物」が1位となっています。
岸2の1位は「通院」21.8%で、2位は「買い物」21.2%、3位は「通勤」17.6%となっています。

(24) 主に利用している交通手段・主な利用駅

問15 あなたが普段、利用している交通手段を教えてください。(○はいくつでも)



(単位%)

		調査数 (人)	自家用車	電車	路線バス	町循環バス	その他	利用していない	無回答
全体		1,307	81.3	42.5	9.3	7.0	2.7	1.1	1.1
性別	男性	631	83.0	44.1	7.6	4.9	1.4	1.3	1.0
	女性	671	79.7	41.0	10.9	8.9	3.7	1.0	1.2
年齢別	30歳未満	123	60.2	66.7	5.7	5.7	2.4	-	1.6
	30代	83	81.9	41.0	7.2	1.2	3.6	-	-
	40代	138	87.7	34.1	4.3	1.4	-	1.4	1.4
	50代	193	89.1	34.7	6.2	2.6	2.1	0.5	0.5
	60代	363	87.9	40.5	9.4	5.5	0.8	0.3	0.8
	70代	275	84.0	44.0	12.7	11.3	5.5	0.7	1.8
	80歳以上	104	53.8	44.2	20.2	24.0	5.8	7.7	1.0
居住地区別	山北1	213	80.8	42.7	10.3	7.0	1.9	0.9	2.3
	山北2	199	70.9	51.3	9.0	3.0	3.5	1.5	1.5
	向原1	97	85.6	25.8	17.5	6.2	3.1	1.0	-
	向原2	218	79.4	57.8	8.7	9.2	1.4	0.9	0.5
	岸1	186	82.8	31.7	4.8	15.6	4.8	2.2	0.5
	岸2	193	82.4	47.7	11.9	7.3	1.0	1.0	1.0
	共和地区	25	80.0	44.0	-	-	24.0	-	-
	清水地区	101	91.1	34.7	8.9	-	-	-	1.0
	三保地区	59	94.9	15.3	6.8	-	-	-	1.7

凡例： 1位 2位 3位

◆全体で見ると、「自家用車」81.3%が最も多く、以下「電車」42.5%、「路線バス」9.3%、「町循環バス」7.0%となっています。

電車と回答した人の中では、「東山北駅」45.3%が最も多く、以下「山北駅」41.9%、「谷峨駅」7.0%となっています。

◆年齢別で見ると、30歳未満の1位は「電車」66.7%となっています。

30代以上の1位は「自家用車」で、30代から70代までは8割を超えています。

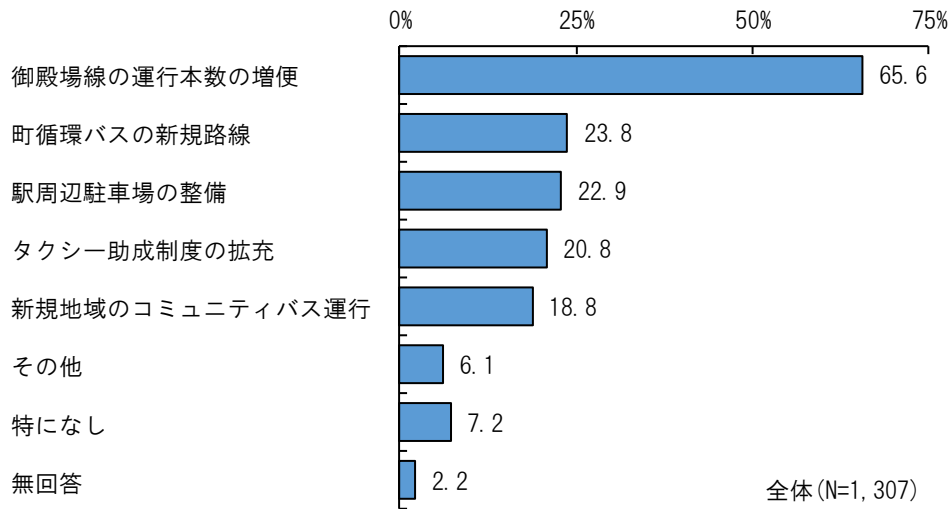
80歳以上は「町循環バス」24.0%や「路線バス」20.2%が、他の年齢よりも多くなっています。

◆居住地区別で見ると、山北2と向原2は「電車」が、他の地区よりも多くなっています。

岸1は「町循環バス」15.6%が、他の地区よりもやや多くなっています。

(25) 新たに整備・拡充を望む交通手段

問16 今後、新たな整備・拡充を望む交通手段（交通施策）は何ですか。（○はいくつでも）



(単位%)

	調査数 (人)	御殿場線の運行本数の増便	町循環バスの新規路線	駅周辺駐車場の整備	タクシー助成制度の拡充	新規地域のコミュニティバス	その他	特になし	無回答	
全体	1,307	65.6	23.8	22.9	20.8	18.8	6.1	7.2	2.2	
性別	男性	631	65.3	23.9	23.5	19.7	19.0	6.5	7.1	1.3
	女性	671	65.9	23.5	22.4	22.1	18.6	5.8	7.2	3.1
年齢別	30歳未満	123	90.2	14.6	21.1	12.2	2.4	2.4	1.6	
	30代	83	80.7	13.3	22.9	19.3	12.0	8.4	4.8	-
	40代	138	79.7	17.4	25.4	11.6	15.2	10.1	7.2	1.4
	50代	193	68.9	19.7	18.7	17.6	17.1	7.8	8.3	1.0
	60代	363	57.6	28.4	25.3	23.4	26.2	7.2	6.3	1.7
	70代	275	56.7	30.2	24.7	28.7	19.3	5.5	6.9	2.5
	80歳以上	104	48.1	26.0	18.3	23.1	15.4	-	16.3	7.7
居住地区別	山北1	213	70.0	21.6	27.7	18.3	20.7	8.9	4.2	1.9
	山北2	199	72.9	18.1	14.1	18.1	15.1	4.5	7.0	3.0
	向原1	97	60.8	21.6	26.8	29.9	19.6	7.2	9.3	1.0
	向原2	218	73.4	16.1	17.9	16.5	11.9	5.0	9.2	3.7
	岸1	186	61.8	35.5	26.3	23.1	22.6	10.2	4.3	1.1
	岸2	193	67.9	20.2	23.8	18.1	11.9	5.7	9.8	1.0
	共和地区	25	68.0	12.0	52.0	36.0	12.0	-	8.0	-
	清水地区	101	55.4	32.7	24.8	27.7	33.7	2.0	6.9	1.0
	三保地区	59	25.4	47.5	18.6	25.4	40.7	3.4	8.5	6.8

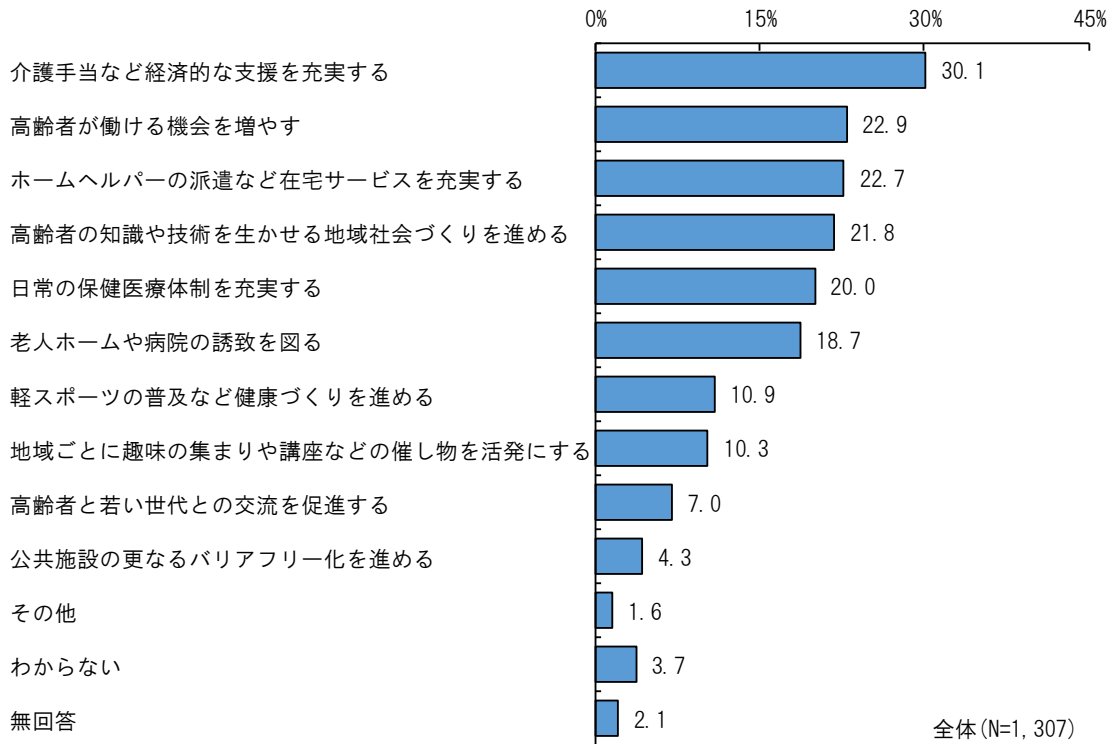
凡例： 1位 2位 3位

- ◆全体で見ると、「御殿場線の運行本数の増便」65.6%が最も多く、以下「町循環バスの新規路線」23.8%、「駅周辺駐車場の整備」22.9%、「タクシー助成制度の拡充」20.8%、「新規地域のコミュニティバス運行」18.8%となっています。
- ◆年齢別で見ると、いずれの年齢も1位は「御殿場線の運行本数の増便」となっており、40代が79.7%、30代が80.7%、30歳未満が90.2%と、年齢が下がるほど多い傾向がみられます。40代以下の2位は「駅周辺駐車場の整備」で、50代以上の2位は「町循環バスの新規路線」となっています。60代は「新規地域のコミュニティバス運行」26.2%が、他の年齢よりもやや多く、70代は「タクシー助成制度の拡充」28.7%が、他の年齢よりもやや多くなっています。
- ◆居住地区別で見ると、三保地区を除いたすべての地区で1位は「御殿場線の運行本数」となっています。三保地区の1位は「町循環バスの新規路線」47.5%となっています。清水地区と三保地区は「新規地域のコミュニティバス運行」が、他の地区よりも多くなっています。

8 高齢化について

(26) 町が力を入れた方が良い高齢化対策

問17 山北町では、高齢者人口が年々増加しており、高齢化が急速に進行しています。
町では今後どのような対策に力を入れるのがよいとお考えですか。(○は主なもの2つまで)



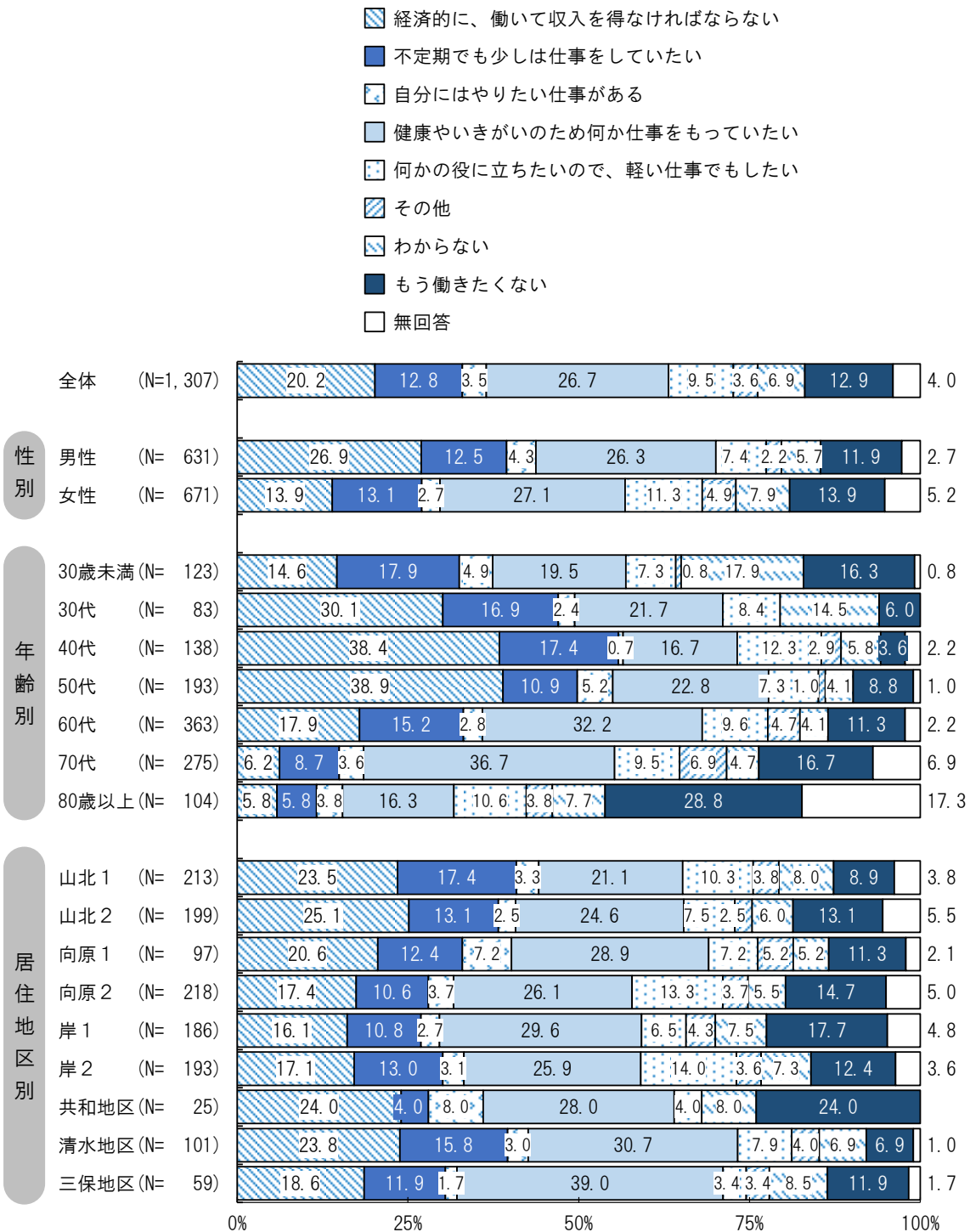
調査項目	調査数 (人)	(単位%)													
		介護手当など経済的な支援を充実する	高齢者が働ける機会を増やす	ホームヘルパーを派遣する	高齢者の知識や技術を生かせる地域社会づくりを進める	日常の保健医療体制を充実する	老人ホームや病院の誘致を図る	軽スポーツの普及など健康づくりを進める	講座などの催し物を活発にする	地域ごとに趣味の集まりや交流を促進する	高齢者と若い世代との交流を促進する	公共施設の更なるバリアフリー化を進める	その他	わからない	無回答
全体	1,307	30.1	22.9	22.7	21.8	20.0	18.7	10.9	10.3	7.0	4.3	1.6	3.7	2.1	
性別															
男性	631	30.6	26.1	22.3	23.1	22.0	18.2	9.8	7.8	7.0	4.9	1.9	3.0	1.1	
女性	671	30.0	19.7	23.1	20.6	18.0	19.2	11.9	12.5	7.0	3.7	1.3	4.5	3.0	
年齢別															
30歳未満	123	24.4	15.4	17.1	16.3	12.2	8.1	14.6	15.4	7.3	14.6	0.8	9.8	0.8	
30代	83	38.6	25.3	13.3	16.9	15.7	24.1	6.0	10.8	13.3	7.2	2.4	4.8	-	
40代	138	34.8	23.9	26.8	18.1	16.7	22.5	8.0	5.8	7.2	2.2	3.6	4.3	-	
50代	193	29.0	32.1	24.4	25.4	19.7	22.8	9.8	5.2	6.2	3.1	2.6	2.1	1.0	
60代	363	33.9	26.4	25.6	24.0	20.9	19.6	11.3	9.1	4.4	3.3	1.1	1.7	1.4	
70代	275	26.9	17.1	20.7	23.3	25.5	15.3	13.8	14.9	8.0	1.8	1.5	4.0	4.0	
80歳以上	104	22.1	12.5	21.2	19.2	20.2	21.2	9.6	9.6	9.6	4.8	-	4.8	7.7	
居住地区別															
山北1	213	33.8	21.1	23.5	18.3	23.0	22.5	8.9	8.5	8.9	4.2	1.4	1.9	1.4	
山北2	199	29.1	23.6	21.1	16.6	20.6	21.6	15.1	9.5	4.0	5.0	0.5	5.5	2.5	
向原1	97	28.9	21.6	25.8	26.8	18.6	11.3	10.3	9.3	8.2	3.1	-	8.2	-	
向原2	218	31.2	21.6	23.4	24.3	15.6	16.1	11.0	8.3	9.6	4.6	2.3	3.7	3.2	
岸1	186	29.6	21.5	21.5	18.3	19.4	19.9	13.4	12.4	3.8	3.8	3.2	4.3	3.2	
岸2	193	31.6	21.2	26.4	28.5	19.2	18.1	4.7	10.4	7.8	5.2	1.0	2.6	1.6	
共和地区	25	20.0	28.0	16.0	32.0	16.0	20.0	16.0	8.0	20.0	-	-	-	4.0	
清水地区	101	23.8	32.7	16.8	21.8	25.7	20.8	11.9	11.9	5.0	5.0	1.0	3.0	-	
三保地区	59	35.6	25.4	20.3	16.9	25.4	13.6	10.2	15.3	1.7	3.4	5.1	3.4	3.4	

凡例： 1位 2位 3位

- ◆全体で見ると、「介護手当など経済的な支援を充実する」30.1%が最も多く、以下「高齢者が働ける機会を増やす」22.9%、「ホームヘルパーの派遣など在宅サービスを充実する」22.7%、「高齢者の知識や技術を生かせる地域社会づくりを進める」21.8%、「日常の保健医療体制を充実する」20.0%となっています。
- ◆性別で見ると、男性の2位は「高齢者が働ける機会を増やす」26.1%、女性の2位は「ホームヘルパーの派遣など在宅サービスを充実する」23.1%となっています。
- ◆年齢別で見ると、50代を除いたすべての年齢で1位は「介護手当など経済的な支援を充実する」となっています。50代の1位は「高齢者が働ける機会を増やす」32.1%となっています。
- ◆居住地区別で見ると、共和地区と清水地区を除いたすべての地区で1位は「介護手当など経済的な支援を充実する」となっています。共和地区の1位は「高齢者の知識や技術を生かせる地域社会づくりを進める」32.0%、清水地区の1位は「高齢者が働ける機会を増やす」32.7%となっています。

(27) 60歳を過ぎても働きたいか

問18 あなたは60歳を過ぎても働きたいと思いますか。(○は1つだけ)

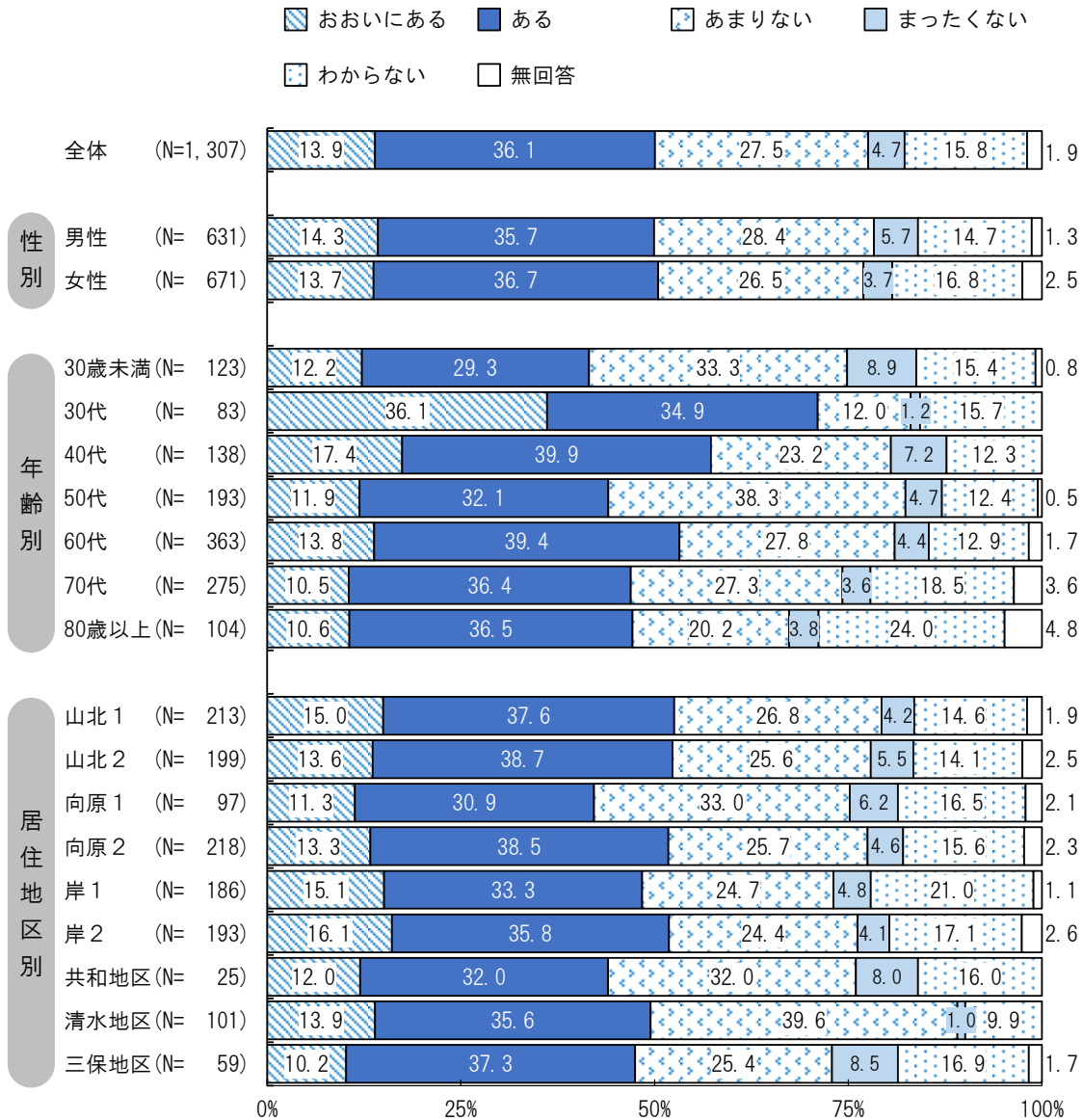


- ◆全体で見ると、「健康やいきがいのため何か仕事をもっていたい」26.7%が最も多く、以下「経済的に、働いて収入を得なければならない」20.2%、「もう働きたくない」12.9%、「不定期でも少しは仕事をしていたい」12.8%、「何かの役に立ちたいので、軽い仕事でもしたい」9.5%となっています。
- ◆性別で見ると、男性は「経済的に、働いて収入を得なければならない」26.9%が、女性の13.9%よりも多くなっています。
- ◆年齢別で見ると、30代から50代は「経済的に、働いて収入を得なければならない」が最も多く、3割を超えています。60代から70代は「健康やいきがいのため何か仕事をもっていたい」が最も多く、3割を超えています。80歳以上は「もう働きたくない」が最も多く、約3割となっています。
- ◆居住地区別で見ると、三保地区は「健康やいきがいのため何か仕事をもっていたい」39.0%が、他の地区よりもやや多くなっています。

9 教育について

(28) 町の教育に関心があるか

問19 町の教育に関心がありますか。(○は1つだけ)



◆全体で見ると、「ある」36.1%が最も多く、以下「あまりない」27.5%、「おおいにある」13.9%、「まったくない」4.7%となっています。

「おおいにある」と「ある」を合わせた『ある』は50.0%、「あまりない」と「まったくない」を合わせた『ない』32.2%となっています。

◆年齢別で見ると、30代は「おおいにある」36.1%が、他の年齢よりも多くなっています。50代は「あまりない」38.3%が、他の年齢よりもやや多くなっています。

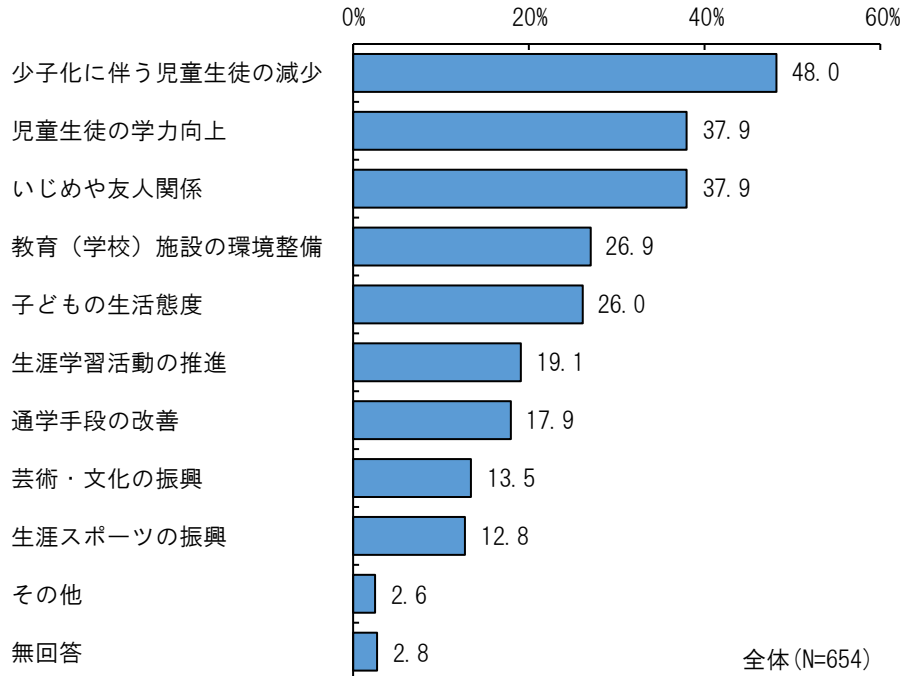
『ある』は、30代が71.0%と最も多く、以下40代が57.3%、60代が53.2%となっています。

◆居住地区別で見ると、向原1と共和地区は『ある』が他の地区よりもやや少なくなっています。

(29) 関心がある課題

問19-1 関心がある課題は何ですか。(〇は主なもの3つまで)

※問19で、「おいにある」又は「ある」と答えた方のみ。



(単位%)

	調査数 (人)	少子化に伴う児童生徒の減少	児童生徒の学力向上	いじめや友人関係	教育（学校）施設的环境整備	子どもの生活態度	生涯学習活動の推進	通学手段の改善	芸術・文化の振興	生涯スポーツの振興	その他	無回答
全体	654	48.0	37.9	37.9	26.9	26.0	19.1	17.9	13.5	12.8	2.6	2.8
性別												
男性	315	50.2	38.7	36.8	28.6	24.1	16.5	17.1	12.4	13.7	2.5	2.5
女性	338	46.2	37.0	39.1	25.4	27.8	21.3	18.6	14.5	11.8	2.7	3.0
年齢別												
30歳未満	51	52.9	27.5	35.3	41.2	27.5	-	23.5	13.7	19.6	5.9	-
30代	59	40.7	54.2	44.1	37.3	28.8	6.8	27.1	10.2	8.5	3.4	1.7
40代	79	49.4	57.0	35.4	25.3	25.3	12.7	25.3	13.9	11.4	3.8	-
50代	85	47.1	32.9	40.0	23.5	25.9	22.4	18.8	16.5	9.4	1.2	2.4
60代	193	53.4	32.6	35.8	31.1	24.4	23.8	17.6	13.0	13.5	1.6	3.1
70代	129	45.0	33.3	39.5	18.6	24.8	24.8	10.9	14.0	14.0	3.1	4.7
80歳以上	49	36.7	38.8	36.7	16.3	32.7	24.5	6.1	10.2	12.2	2.0	6.1
居住地区別												
山北1	112	50.0	35.7	42.0	20.5	30.4	20.5	14.3	14.3	17.0	5.4	0.9
山北2	104	42.3	40.4	35.6	25.0	25.0	19.2	15.4	12.5	14.4	1.0	5.8
向原1	41	48.8	43.9	46.3	34.1	24.4	17.1	22.0	12.2	-	-	4.9
向原2	113	44.2	40.7	35.4	24.8	28.3	15.0	15.9	15.0	12.4	4.4	1.8
岸1	90	46.7	37.8	37.8	36.7	27.8	20.0	15.6	10.0	14.4	2.2	3.3
岸2	100	36.0	40.0	44.0	32.0	29.0	25.0	16.0	12.0	12.0	2.0	1.0
共和地区	11	54.5	18.2	36.4	9.1	36.4	27.3	27.3	36.4	18.2	-	-
清水地区	50	66.0	30.0	30.0	28.0	14.0	16.0	26.0	8.0	10.0	-	4.0
三保地区	28	85.7	25.0	28.6	17.9	7.1	10.7	42.9	25.0	7.1	3.6	3.6

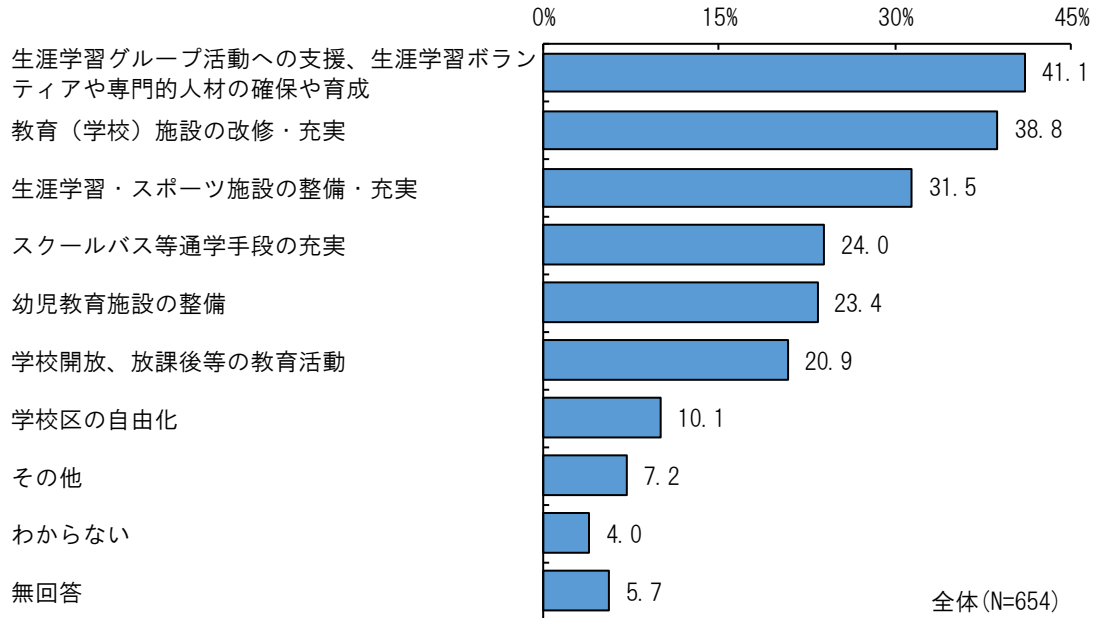
凡例： 1位 2位 3位

- ◆全体で見ると、「少子化に伴う児童生徒の減少」48.0%が最も多く、以下「児童生徒の学力向上」と「いじめや友人関係」が37.9%、「教育（学校）施設の環境整備」26.9%、「子どもの生活態度」26.0%となっています。
- ◆性別みると、男性の2位は「児童生徒の学力向上」38.7%、女性の2位は「いじめや友人関係」39.1%となっています。
- ◆年齢別で見ると、30歳未満と50代から70代の1位は「少子化に伴う児童生徒の減少」となっています。30代・40代・80歳以上の1位は「児童生徒の学力向上」となっています。
「通学手段の改善」は40代以下が多く、「生涯学習活動の推進」は50代以上が多くなっています。
- ◆居住地区別で見ると、岸2を除いたすべての地区で1位は「少子化に伴う児童生徒の減少」となっています。岸2の1位は「いじめや友人関係」44.0%となっています。
向原1・岸1・岸2は「教育（学校）施設の環境整備」が、他の地区よりもやや多くなっています。

(30) 課題を解決するために必要な対策

問19-2 問19-1 で回答いただいた課題を解決するためには必要な対策は何ですか。

(○は主なもの3つまで)



(単位%)

	調査数(人)	生涯学習グループ活動への支援、生涯学習ボランティアや専門的人材の確保や育成	教育(学校)施設の改修・充実	生涯学習・スポーツ施設の整備・充実	スクールバス等通学手段の充実	幼児教育施設の整備	学校開放、放課後等の教育活動	学校区の自由化	その他	わからない	無回答
全体	654	41.1	38.8	31.5	24.0	23.4	20.9	10.1	7.2	4.0	5.7
性別											
男性	315	35.9	43.5	36.2	24.4	24.8	20.6	10.5	8.6	4.8	4.4
女性	338	45.9	34.3	26.9	23.7	22.2	21.3	9.8	5.9	3.3	6.8
年齢別											
30歳未満	51	25.5	54.9	37.3	17.6	23.5	29.4	9.8	3.9	3.9	2.0
30代	59	30.5	52.5	23.7	30.5	33.9	23.7	22.0	11.9	3.4	1.7
40代	79	38.0	45.6	27.8	29.1	22.8	20.3	7.6	13.9	3.8	1.3
50代	85	48.2	35.3	30.6	25.9	12.9	15.3	8.2	4.7	5.9	2.4
60代	193	44.0	38.9	31.1	23.3	28.0	22.3	13.0	7.8	3.6	4.7
70代	129	45.7	31.0	34.9	17.1	20.9	23.3	4.7	5.4	3.1	11.6
80歳以上	49	42.9	24.5	34.7	30.6	18.4	12.2	8.2	2.0	6.1	12.2
居住地別											
山北1	112	38.4	38.4	35.7	25.0	24.1	22.3	3.6	7.1	5.4	6.3
山北2	104	42.3	38.5	26.9	17.3	21.2	15.4	7.7	8.7	3.8	8.7
向原1	41	34.1	58.5	34.1	22.0	24.4	31.7	4.9	2.4	-	7.3
向原2	113	46.0	31.9	37.2	17.7	28.3	15.0	8.8	7.1	4.4	6.2
岸1	90	33.3	46.7	28.9	26.7	30.0	24.4	8.9	8.9	5.6	3.3
岸2	100	52.0	38.0	32.0	22.0	19.0	24.0	12.0	8.0	3.0	2.0
共和地区	11	45.5	9.1	45.5	27.3	9.1	18.2	18.2	-	9.1	-
清水地区	50	36.0	48.0	26.0	32.0	18.0	20.0	16.0	2.0	4.0	6.0
三保地区	28	28.6	17.9	14.3	60.7	17.9	25.0	42.9	10.7	-	7.1

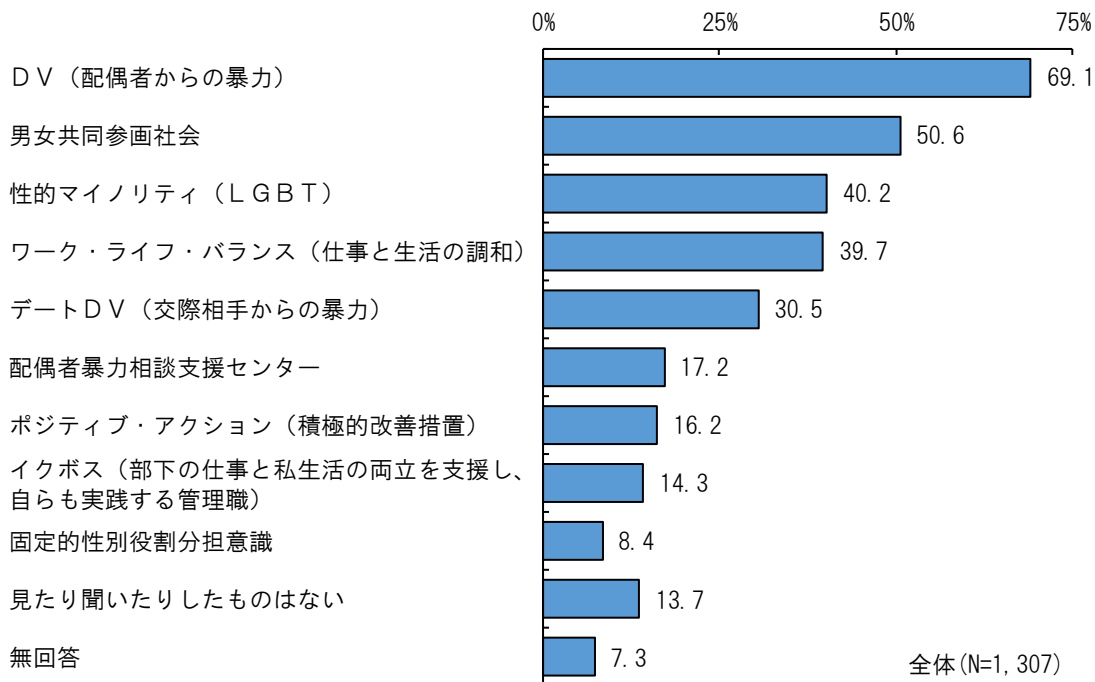
凡例: 1位 2位 3位

- ◆全体でみると、「生涯学習グループ活動への支援、生涯学習ボランティアや専門的人材の確保や育成」41.1%が最も多く、以下「教育（学校）施設の改修・充実」38.8%、「生涯学習・スポーツ施設の整備・充実」31.5%、「スクールバス等通学手段の充実」24.0%、「幼児教育施設の整備」23.4%となっています。
- ◆性別でみると、男性の1位は「教育（学校）施設の改修・充実」43.5%で、2位は「生涯学習・スポーツ施設の整備・充実」36.2%、3位は「生涯学習グループ活動への支援、生涯学習ボランティアや専門的人材の確保や育成」35.9%となっています。女性の1位は「生涯学習グループ活動への支援、生涯学習ボランティアや専門的人材の確保や育成」45.9%、2位は「教育（学校）施設の改修・充実」34.3%、3位は「生涯学習・スポーツ施設の整備・充実」26.9%となっています。
- ◆年齢別でみると、40代以下の1位は「教育（学校）施設の改修・充実」で、40代が45.6%、30代が52.5%、30歳未満が54.9%と、年齢が下がるほど多い傾向がみられます。50代以上の1位は「生涯学習グループ活動への支援、生涯学習ボランティアや専門的人材の確保や育成」となっています。
30代は「幼児教育施設の整備」33.9%や「学校区の自由化」22.0%が、他の年齢よりもやや多くなっています。
- ◆居住地区別でみると、向原2と岸1は「幼児教育施設の整備」が、他の地区よりも多くなっています。岸2は「生涯学習グループ活動への支援、生涯学習ボランティアや専門的人材の確保や育成」52.0%が、他の地区よりも多くなっています。

10 男女共同参画について

(31) 見たり聞いたりしたことがある言葉

問20 次の言葉のうち、今回のアンケート以前にあなたが見たり聞いたりしたことがあるものは何ですか。(〇はいくつでも)



(単位%)

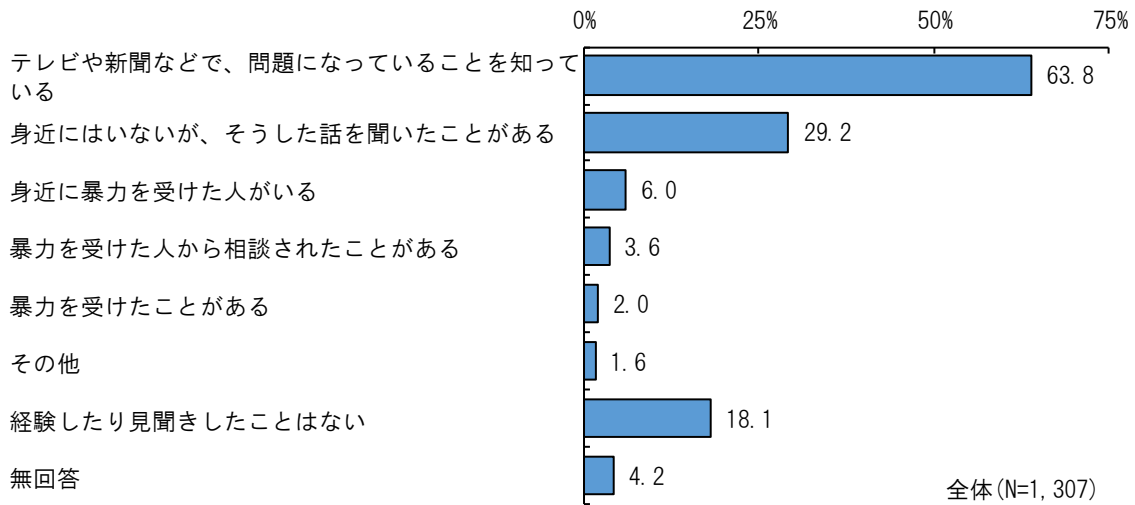
	調査数 (人)	DV (配偶者からの暴力)	男女共同参画社会	性的マイノリティ (LGBT)	ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	デートDV (交際相手からの暴力)	配偶者暴力相談支援センター	ポジティブ・アクション (積極的改善措置)	イクボス (部下の仕事と私生活の両立を支援し、自らも実践する管理職)	固定的性別役割分担意識	見たり聞いたりしたものはなし	無回答
全体	1,307	69.1	50.6	40.2	39.7	30.5	17.2	16.2	14.3	8.4	13.7	7.3
性別												
男性	631	69.1	54.8	41.0	43.6	27.9	13.2	17.4	14.7	8.4	13.6	5.9
女性	671	69.0	46.5	39.3	36.2	32.6	21.2	15.1	13.9	8.3	13.7	8.6
年齢別												
30歳未満	123	77.2	53.7	45.5	45.5	52.0	10.6	13.8	8.9	12.2	15.4	2.4
30代	83	73.5	42.2	51.8	48.2	37.3	16.9	12.0	15.7	6.0	12.0	-
40代	138	76.8	40.6	53.6	44.2	41.3	20.3	14.5	10.9	8.7	13.0	2.2
50代	193	81.9	59.1	50.3	46.6	35.8	21.8	19.2	20.2	6.2	8.3	2.1
60代	363	76.6	56.2	44.1	42.7	28.7	19.6	21.8	16.0	10.5	10.2	4.4
70代	275	58.2	50.5	29.1	34.5	19.3	16.7	14.2	14.2	6.2	17.5	13.5
80歳以上	104	28.8	35.6	7.7	15.4	12.5	8.7	7.7	10.6	7.7	25.0	25.0
居住地区別												
山北1	213	69.5	51.2	43.2	41.8	30.5	15.0	17.8	14.1	9.4	15.0	6.1
山北2	199	65.3	48.2	37.7	40.7	28.1	20.1	15.6	12.1	7.0	16.1	7.5
向原1	97	71.1	44.3	38.1	40.2	27.8	14.4	15.5	14.4	10.3	13.4	7.2
向原2	218	71.1	53.2	43.1	39.0	35.3	17.4	14.7	15.6	8.7	11.5	6.4
岸1	186	63.4	48.4	34.4	35.5	28.5	16.7	15.1	15.6	5.4	16.7	8.6
岸2	193	71.0	47.2	41.5	37.3	29.5	17.6	15.5	15.5	9.3	13.0	7.3
共和地区	25	80.0	72.0	56.0	48.0	36.0	36.0	32.0	16.0	12.0	-	16.0
清水地区	101	80.2	62.4	44.6	45.5	32.7	16.8	18.8	14.9	7.9	6.9	4.0
三保地区	59	59.3	47.5	32.2	39.0	23.7	16.9	13.6	10.2	8.5	20.3	6.8

凡例: 1位 2位 3位

- ◆全体で見ると、「DV（配偶者からの暴力）」69.1%が最も多く、以下「男女共同参画社会」50.6%、「性的マイノリティ（LGBT）」40.2%、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」39.7%、「デートDV（交際相手からの暴力）」30.5%となっています。
- ◆性別で見ると、男性の3位は「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」43.6%で、女性の3位は「性的マイノリティ（LGBT）」39.3%となっています。
男性は「男女共同参画社会」54.8%や「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」43.6%が、女性よりもやや多く、女性は「配偶者暴力相談支援センター」21.2%が、男性よりもやや多くなっています。
- ◆年齢別で見ると、80歳以上を除いたすべての年齢で1位は「DV（配偶者からの暴力）」となっており、50代は8割を超えています。80歳以上の1位は「男女共同参画社会」35.6%ですが、他の年齢に比べて少なくなっています。
30歳未満は「デートDV（交際相手からの暴力）」52.0%が、他の年齢よりも多くなっています。

(32) 親しい間柄にあたる男女間の暴力について、経験したり見聞きしたことがあるか

問21 これまでに、夫や妻・恋人など親しい間柄にあたる男女間の暴力（ドメスティック・バイオレンス（DV））について、経験したり見聞きしたことがありますか。（〇はいくつでも）



(単位%)

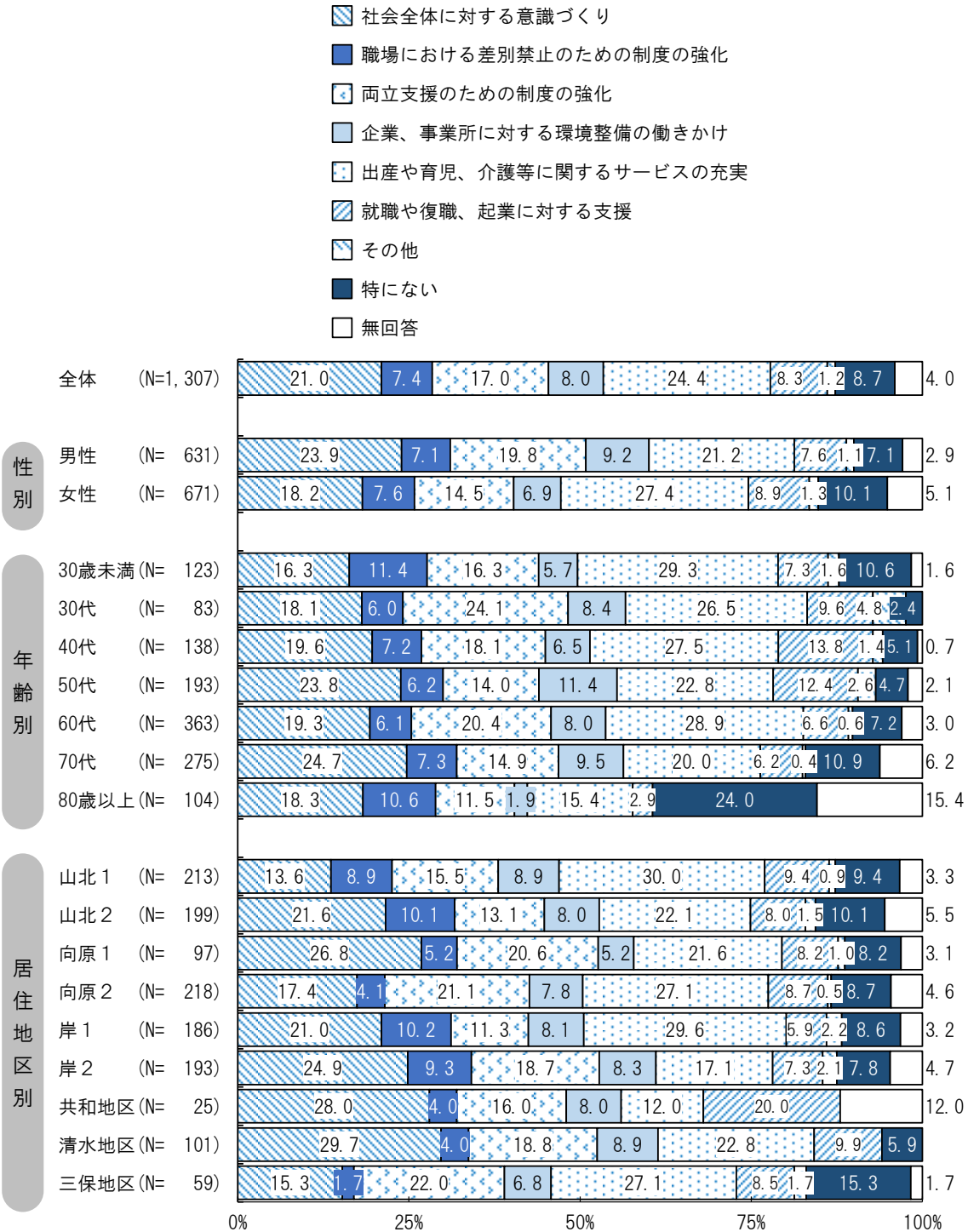
	調査数 (人)	テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている	身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある	身近に暴力を受けた人がある	暴力を受けた人から相談されたことがある	暴力を受けたことがある	その他	経験したり見聞きしたことはない	無回答
全体	1,307	63.8	29.2	6.0	3.6	2.0	1.6	18.1	4.2
性別									
男性	631	63.2	27.4	4.6	3.2	0.6	1.4	20.4	4.3
女性	671	64.2	30.7	7.3	4.0	3.3	1.8	15.9	4.2
年齢別									
30歳未満	123	56.9	17.9	6.5	6.5	0.8	2.4	27.6	2.4
30代	83	57.8	22.9	10.8	7.2	6.0	1.2	16.9	-
40代	138	52.2	27.5	7.2	5.1	5.1	2.2	21.7	0.7
50代	193	65.3	32.1	8.3	3.6	1.6	-	17.1	1.0
60代	363	72.5	34.4	5.8	2.8	0.8	2.2	14.3	3.3
70代	275	69.1	30.9	3.6	2.2	2.2	0.7	16.4	5.5
80歳以上	104	49.0	22.1	1.9	2.9	1.0	1.9	22.1	18.3
居住地区別									
山北1	213	66.7	23.5	6.6	4.2	1.9	2.8	18.3	3.8
山北2	199	60.3	28.1	6.5	4.5	2.5	1.0	19.1	6.0
向原1	97	63.9	28.9	5.2	6.2	2.1	3.1	19.6	2.1
向原2	218	61.5	36.7	6.4	2.8	0.9	0.9	13.3	6.0
岸1	186	65.6	26.3	5.9	3.8	2.2	1.6	17.7	3.8
岸2	193	64.2	28.5	8.3	2.6	4.1	1.0	19.7	3.6
共和地区	25	68.0	28.0	4.0	4.0	-	-	20.0	8.0
清水地区	101	67.3	29.7	1.0	3.0	1.0	1.0	20.8	2.0
三保地区	59	61.0	33.9	3.4	1.7	-	1.7	20.3	1.7

凡例： 1位 2位 3位

- ◆全体で見ると、経験したり見聞きしたことがあるかでは、「テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている」63.8%が最も多く、以下「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」29.2%、「経験したり見聞きしたことはない」18.1%、「身近に暴力を受けた人がある」6.0%、「暴力を受けた人から相談されたことがある」3.6%となっています。
- ◆年齢別で見ると、50代から70代は「テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている」が6割を超えており、他の年齢よりもやや多くなっています。

(33) 男女ともに仕事と生活を両立できるために最も重要だと思う公的な取り組み

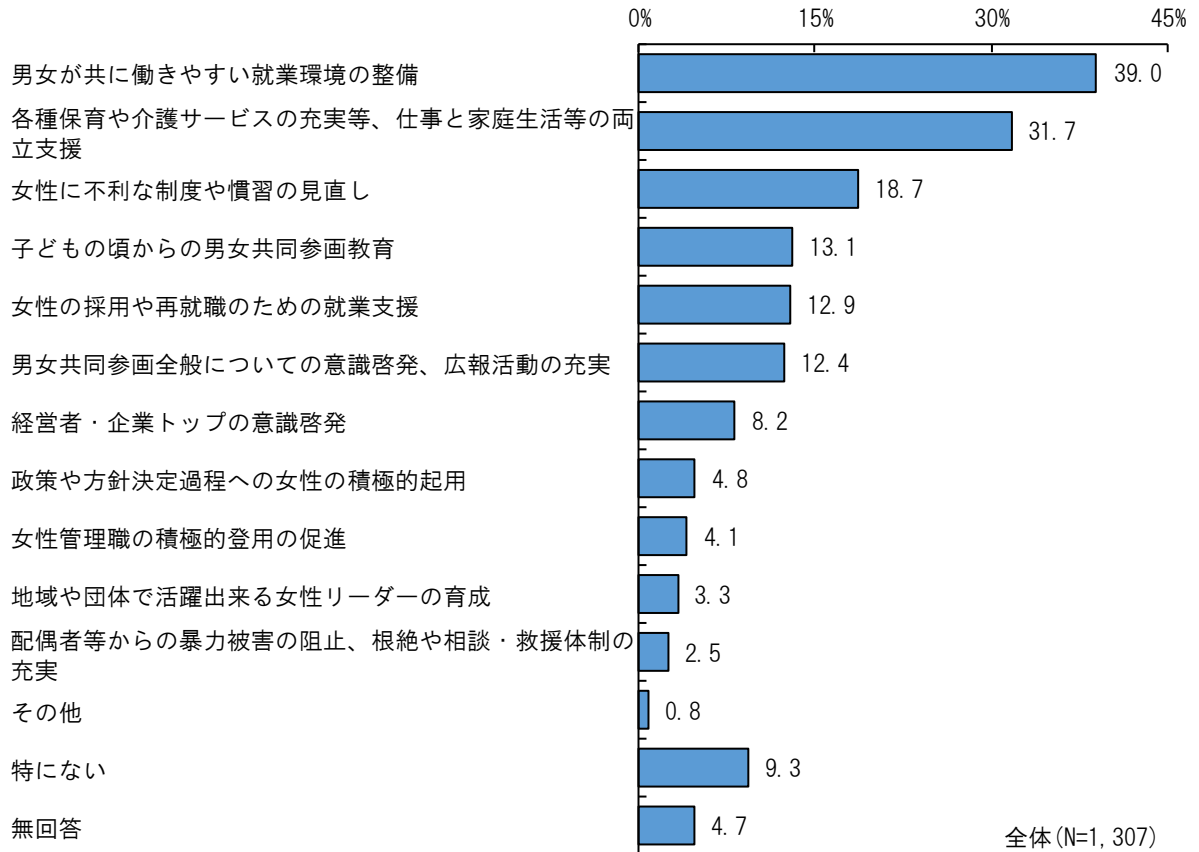
問22 男女ともに仕事と生活を両立できるようにする公的な取り組みとして、あなたが最も重要だと思うものは何ですか。(〇は1つだけ)



- ◆全体で見ると、「出産や育児、介護等に関するサービスの充実」24.4%が最も多く、以下「社会全体に対する意識づくり」21.0%、「両立支援のための制度の強化」17.0%、「就職や復職、起業に対する支援」8.3%となっています。
- ◆性別で見ると、女性は「出産や育児、介護等に関するサービスの充実」27.4%が、男性21.2%よりもやや多くなっています。
- ◆年齢別で見ると、40代以下や60代は「出産や育児、介護等に関するサービスの充実」が最も多く、50代や70代は「社会全体に対する意識づくり」が最も多くなっています。
30代は「両立支援のための制度の強化」24.1%が、他の年齢よりもやや多くなっています。
- ◆居住地区別で見ると、山北1・山北2、向原2、岸1、三保地区は「出産や育児、介護等に関するサービスの充実」が最も多く、向原1、岸2、共和地区、清水地区は「社会全体に対する意識づくり」が最も多くなっています。

(34) 男女共同参画社会を実現するために町が力を入れていくべきこと

問23 男女共同参画社会を実現するために、町は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は主なもの2つまで)



		調査数 (人)	男女が共に働きやすい就業環境の整備	各種保育や介護サービスの充実等、仕事と家庭生活等の両立支援	女性に不利な制度や慣習の見直し	子どもの頃からの男女共同参画教育	女性の採用や再就職のための就業支援	男女共同参画全般についての意識啓発、広報活動の充実	経営者・企業トップの意識啓発	政策や方針決定過程への女性の積極的起用	女性管理職の積極的登用の促進	地域や団体に活躍出来る女性リーダーの育成	配偶者等からの暴力被害の阻止、根絶や相談・救援体制の充実	その他	特にない	無回答
全体		1,307	39.0	31.7	18.7	13.1	12.9	12.4	8.2	4.8	4.1	3.3	2.5	0.8	9.3	4.7
性別	男性	631	38.4	27.6	19.0	14.4	10.6	15.5	9.2	6.0	4.3	3.8	2.7	1.0	8.9	4.0
	女性	671	39.8	35.5	18.5	11.8	15.1	9.4	7.3	3.7	3.9	2.7	2.2	0.7	9.8	5.4
年齢別	30歳未満	123	59.3	20.3	13.0	13.0	15.4	3.3	7.3	2.4	3.3	0.8	4.1	-	8.9	1.6
	30代	83	42.2	39.8	25.3	19.3	16.9	4.8	4.8	1.2	6.0	1.2	6.0	1.2	4.8	-
	40代	138	34.8	36.2	18.8	13.0	26.1	7.2	8.7	2.2	2.2	1.4	2.2	2.9	9.4	0.7
	50代	193	44.6	31.6	18.1	15.0	11.4	15.0	7.8	5.2	3.1	3.6	2.1	1.0	6.2	3.6
	60代	363	36.1	38.0	20.7	14.0	11.8	14.9	9.4	5.8	4.4	3.9	1.4	0.6	8.3	2.8
	70代	275	34.5	29.5	19.3	10.5	9.1	16.7	9.5	8.4	4.0	4.7	1.8	0.4	10.5	7.3
	80歳以上	104	30.8	19.2	14.4	8.7	6.7	11.5	4.8	1.0	5.8	2.9	3.8	1.0	19.2	17.3
	合計	213	39.0	34.7	23.9	9.4	12.2	12.2	6.6	4.7	3.8	2.3	3.8	0.5	8.5	3.8
居住地区別	山北1	199	37.2	23.1	15.6	18.1	16.6	10.1	7.0	4.5	1.5	4.5	2.0	0.5	10.6	6.5
	山北2	97	38.1	29.9	15.5	16.5	12.4	12.4	7.2	3.1	6.2	4.1	3.1	-	12.4	4.1
	向原1	218	39.4	33.0	23.9	9.2	13.8	10.1	10.1	4.1	5.0	3.2	3.2	1.4	7.8	5.5
	向原2	186	35.5	41.9	10.8	15.1	12.9	15.6	9.1	4.3	2.2	2.7	2.7	2.2	9.1	3.2
	岸1	193	36.3	29.0	20.7	14.5	13.5	10.9	8.3	7.8	4.7	2.6	2.1	1.0	10.4	4.7
	岸2	25	48.0	28.0	16.0	8.0	12.0	12.0	8.0	16.0	8.0	8.0	-	-	-	8.0
	共和地区	101	48.5	24.8	23.8	14.9	5.9	19.8	6.9	4.0	7.9	4.0	1.0	-	7.9	4.0
	清水地区	59	47.5	39.0	10.2	8.5	11.9	11.9	8.5	1.7	1.7	1.7	-	-	15.3	-

凡例： 1位 2位 3位

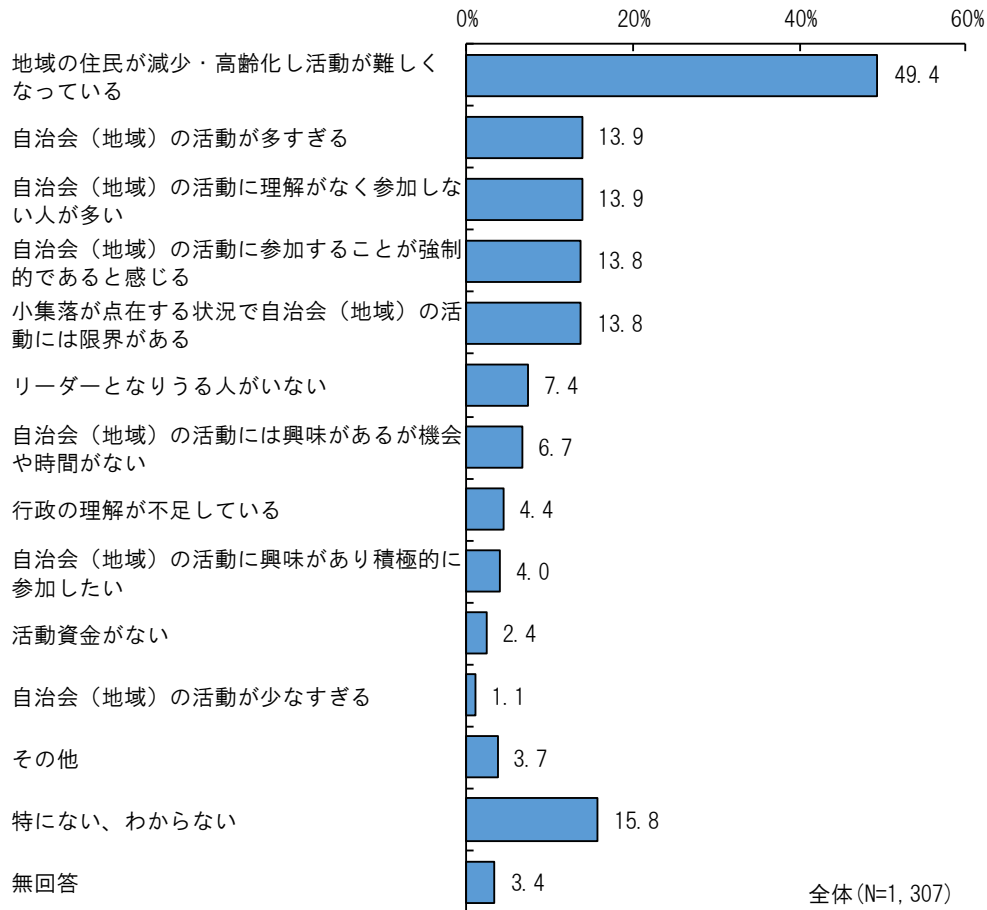
- ◆全体で見ると、「男女が共に働きやすい就業環境の整備」39.0%が最も多く、以下「各種保育や介護サービスの充実等、仕事と家庭生活等の両立支援」31.7%、「女性に不利な制度や慣習の見直し」18.7%、「子どもの頃からの男女共同参画教育」13.1%、「女性の採用や再就職のための就業支援」12.9%となっています。
- ◆性別で見ると、男女ともに2位の「各種保育や介護サービスの充実等、仕事と家庭生活等の両立支援」は、女性が35.5%、男性が27.6%と、女性がやや多くなっています。
- ◆年齢別で見ると、40代と60代を除いたすべての年齢で1位は「男女が共に働きやすい就業環境の整備」となっています。40代と60代の1位は「各種保育や介護サービスの充実等、仕事と家庭生活等の両立支援」となっています。
40代は「女性の採用や再就職のための就業支援」26.1%が、他の年齢よりもやや多くなっています。
- ◆居住地区別で見ると、岸1を除いたすべての地区で1位は「男女が共に働きやすい就業環境の整備」となっており、共和地区・清水地区・三保地区は約5割を占めています。岸1の1位は「各種保育や介護サービスの充実等、仕事と家庭生活等の両立支援」41.9%となっています。

11 地域コミュニティ活動について

(35) 自治会・地域コミュニティ活動で感じていること、気になること

問24 自治会・地域コミュニティ活動で感じていること、気になることは何ですか。

(○は主なものの2つまで)



		調査数(人)	地域の住民が減少・高齢化	自治会(地域)の活動が多すぎる	自治会(地域)の活動に理解がなく参加しない人が多い	自治会(地域)の活動に参加することが強制的であると感じる	小集落が点在する状況で自治会(地域)の活動には限界がある	リーダーとなりうる人がいない	自治会(地域)の活動に興味があるが機会や時間がない	行政の理解が不足している	自治会(地域)の活動に興味があり積極的に参加したい	活動資金がない	自治会(地域)の活動が少なすぎる	その他	特にない、わからない	無回答
全体		1,307	49.4	13.9	13.9	13.8	13.8	7.4	6.7	4.4	4.0	2.4	1.1	3.7	15.8	3.4
性別	男性	631	49.1	18.1	15.2	13.5	13.6	8.4	7.6	5.1	4.1	3.3	1.1	4.1	13.2	2.5
	女性	671	49.9	10.0	12.7	14.2	13.9	6.6	5.8	3.7	3.9	1.6	1.2	3.4	18.2	4.2
年齢別	30歳未満	123	30.1	8.1	9.8	12.2	12.2	4.1	6.5	4.9	-	2.4	3.3	3.3	34.1	1.6
	30代	83	28.9	13.3	8.4	21.7	12.0	6.0	14.5	3.6	1.2	2.4	3.6	4.8	28.9	1.2
	40代	138	41.3	15.9	8.0	25.4	15.2	7.2	10.9	2.2	1.4	-	-	4.3	21.7	1.4
	50代	193	53.4	17.6	11.4	21.8	22.3	7.8	5.7	5.2	1.6	2.6	0.5	4.1	10.4	1.0
	60代	363	56.5	17.4	16.5	11.3	13.5	8.0	5.2	5.2	6.9	3.3	0.3	4.4	8.8	2.8
	70代	275	58.2	11.6	18.9	8.0	12.7	6.9	6.2	5.1	6.5	2.5	0.7	2.9	10.2	5.5
	80歳以上	104	45.2	7.7	13.5	5.8	3.8	11.5	3.8	1.9	1.9	2.9	3.8	2.9	22.1	11.5
居住地区別	山北1	213	50.2	13.6	10.3	14.1	12.2	7.5	7.0	4.2	4.2	1.9	1.4	3.3	19.7	1.4
	山北2	199	53.8	9.5	17.6	11.6	9.5	10.1	6.0	5.0	3.0	2.0	1.5	4.5	13.6	5.0
	向原1	97	54.6	12.4	14.4	16.5	16.5	9.3	6.2	6.2	4.1	2.1	1.0	4.1	13.4	1.0
	向原2	218	45.9	11.9	15.6	12.8	8.3	9.2	7.3	6.4	4.6	1.4	1.4	5.0	17.0	6.4
	岸1	186	47.3	13.4	16.1	14.5	8.6	4.3	8.1	2.2	4.8	2.2	1.6	4.8	18.3	2.7
	岸2	193	37.8	16.6	18.7	16.1	7.8	6.2	7.8	3.6	3.6	3.6	1.0	2.6	18.7	3.1
	共和地区	25	64.0	32.0	8.0	12.0	32.0	4.0	4.0	12.0	4.0	-	-	4.0	4.0	-
	清水地区	101	61.4	24.8	3.0	13.9	36.6	5.9	5.0	2.0	4.0	6.9	-	-	5.0	2.0
三保地区	59	55.9	6.8	8.5	8.5	40.7	6.8	3.4	1.7	3.4	1.7	-	5.1	15.3	3.4	

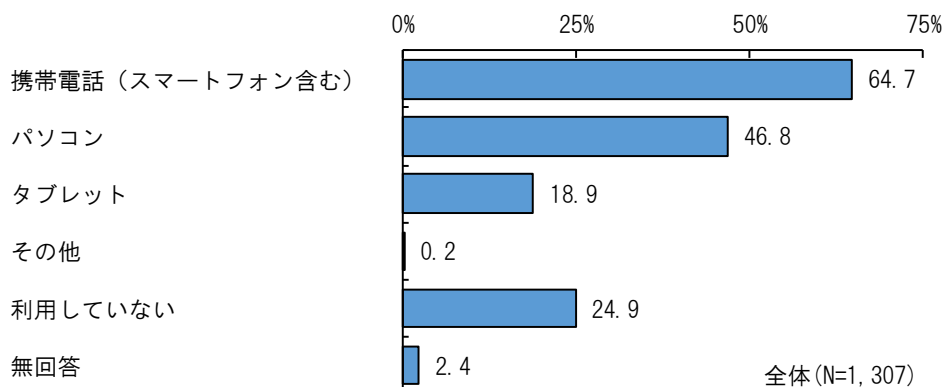
凡例: 1位 2位 3位

- ◆全体で見ると、「地域の住民が減少・高齢化し活動が難しくなっている」49.4%が最も多く、以下「自治会（地域）の活動が多すぎる」と「自治会（地域）の活動に理解がなく参加しない人が多い」が13.9%、「自治会（地域）の活動に参加することが強制的であると感じる」と「小集落が点在する状況で自治会（地域）の活動には限界がある」が13.8%となっています。また、「特にない、わからない」は15.8%となっています。
- ◆性別で見ると、男性の2位は「自治会（地域）の活動が多すぎる」18.1%で、女性の10.0%よりもやや多くなっています。女性の2位は「自治会（地域）の活動に参加することが強制的であると感じる」14.2%となっています。
- ◆年齢別で見ると、すべての年齢で1位は「地域の住民が減少・高齢化し活動が難しくなっている」となっており、50代から70代は5割を超えています。30代から50代は「自治会（地域）の活動に参加することが強制的であると感じる」が他の年齢よりも多く、2割を超えています。また50代は「小集落が点在する状況で自治会（地域）の活動には限界がある」22.3%が、他の年齢よりも多くなっています。
- ◆居住地区別で見ると、共和地区・清水地区・三保地区の2位は「小集落が点在する状況で自治会（地域）の活動には限界がある」で、3割を超えています。

12 情報通信について

(36) インターネット利用に使う機器

問25 インターネットを利用していますか。利用に使われている機器は何ですか。(〇はいくつでも)



(単位%)

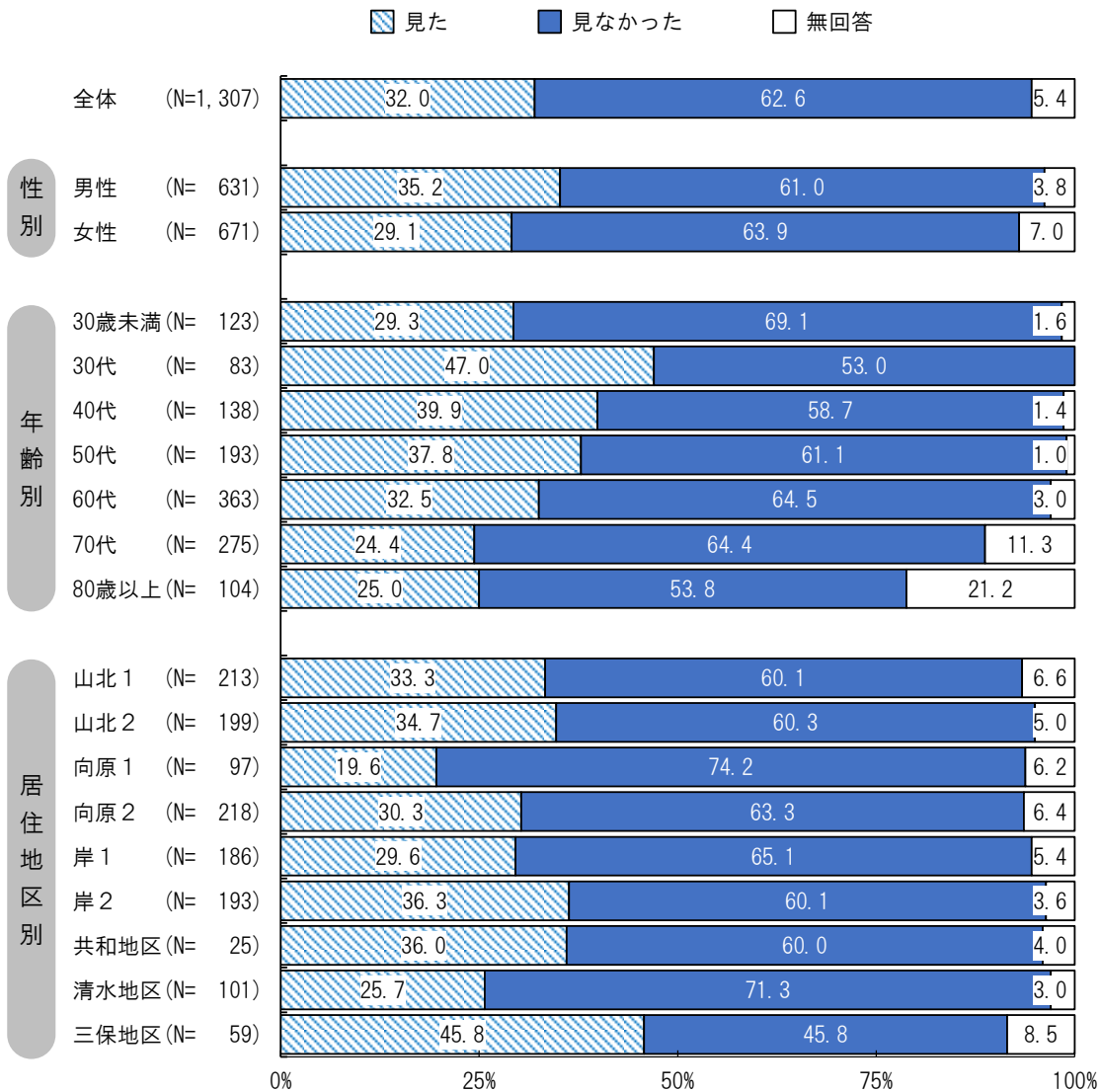
	調査数 (人)	携帯電話 (スマートフォン含む)	パソコン	タブレット	その他	利用していない	無回答
全体	1,307	64.7	46.8	18.9	0.2	24.9	2.4
性別							
男性	631	64.7	58.0	20.8	0.2	21.2	2.5
女性	671	64.7	36.4	17.3	0.3	28.5	2.2
年齢別							
30歳未満	123	96.7	66.7	20.3	-	-	1.6
30代	83	92.8	69.9	33.7	1.2	1.2	-
40代	138	93.5	64.5	37.7	-	2.2	0.7
50代	193	83.9	66.3	30.1	-	7.3	1.0
60代	363	59.8	48.5	14.9	0.6	25.6	0.8
70代	275	34.9	21.8	8.7	-	52.0	4.4
80歳以上	104	26.9	4.8	1.9	-	61.5	10.6
居住地区別							
山北1	213	66.7	51.2	24.4	-	21.6	2.3
山北2	199	66.3	53.8	16.6	-	22.1	2.5
向原1	97	58.8	41.2	23.7	1.0	32.0	-
向原2	218	64.2	44.5	15.6	-	25.2	3.2
岸1	186	63.4	39.8	18.8	-	25.8	3.8
岸2	193	65.8	43.0	18.7	-	24.9	2.1
共和地区	25	52.0	52.0	-	-	40.0	4.0
清水地区	101	69.3	54.5	21.8	1.0	21.8	-
三保地区	59	61.0	49.2	16.9	1.7	30.5	3.4

凡例： 1位 2位 3位

- ◆全体で見ると、「携帯電話 (スマートフォン含む)」64.7%が最も多く、以下「パソコン」46.8%、「タブレット」18.9%となっています。また、「利用していない」は24.9%となっています。
- ◆性別で見ると、男女ともに2位の「パソコン」は、男性が58.0%、女性が36.4%と、男性が多くなっています。
- ◆年齢別で見ると、すべての年齢で1位は「携帯電話 (スマートフォン含む)」で、40代以下は9割を超えています。
70代以上は「利用していない」が5割を超えています。
- ◆居住地区別で見ると、向原1・共和地区・三保地区は「利用していない」が、他の地区よりもやや多くなっています。

(37) 今年になってから山北町のホームページ見たか

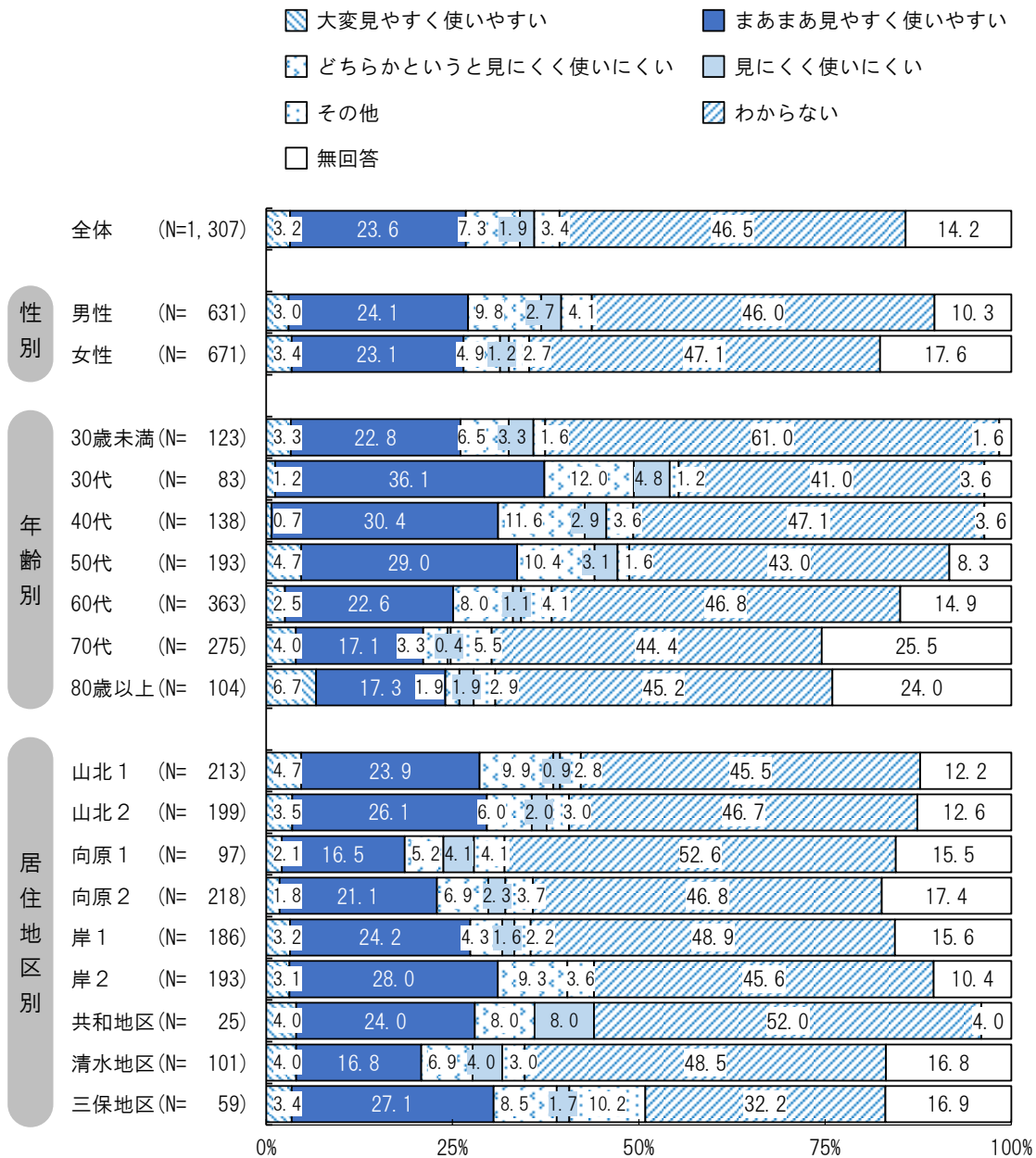
問26 今年になってから山北町のホームページをご覧になりましたか。(〇は1つだけ)



- ◆全体でみると、「見なかった」が62.6%、「見た」が32.0%となっています。
- ◆性別でみると、男性は「見た」35.2%が、女性の29.1%よりもやや多くなっています。
- ◆年齢別でみると、「見た」は30代が47.0%と最も多く、以下40代が39.9%、50代が37.8%となっています。
- ◆居住地区別でみると、向原1と清水地区は「見た」が、他の地区よりもやや少なくなっています。

(38) 山北町のホームページは見やすいか

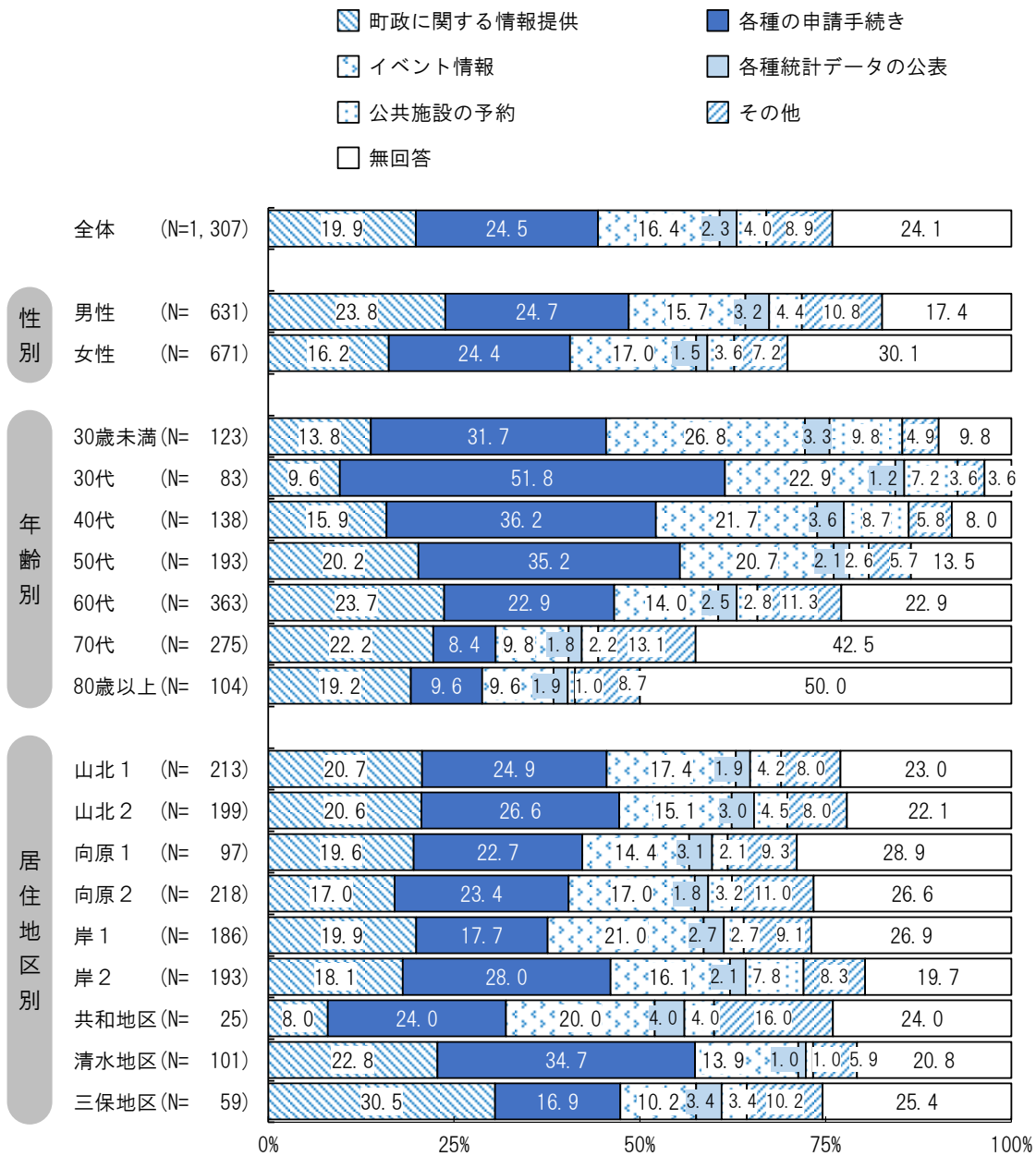
問27 山北町のホームページは見やすいですか。(○は1つだけ)



- ◆全体で見ると、「大変見やすい」3.2%と「まあまあ見やすく使いやすい」23.6%を合わせた『見やすい』は26.8%、「どちらかというに見にくく使いにくい」7.3%と「見にくく使いにくい」1.9%を合わせた『見にくく使いにくい』は9.2%となっています。
- ◆年齢別で見ると、30代は「まあまあ見やすく使いやすい」36.1%が、他の年齢よりもやや多くなっています。
- ◆居住地区別で見ると、向原1と清水地区は「まあまあ見やすく使いやすい」が、他の地区よりもやや少なくなっています。

(39) 山北町のホームページで充実してほしい情報

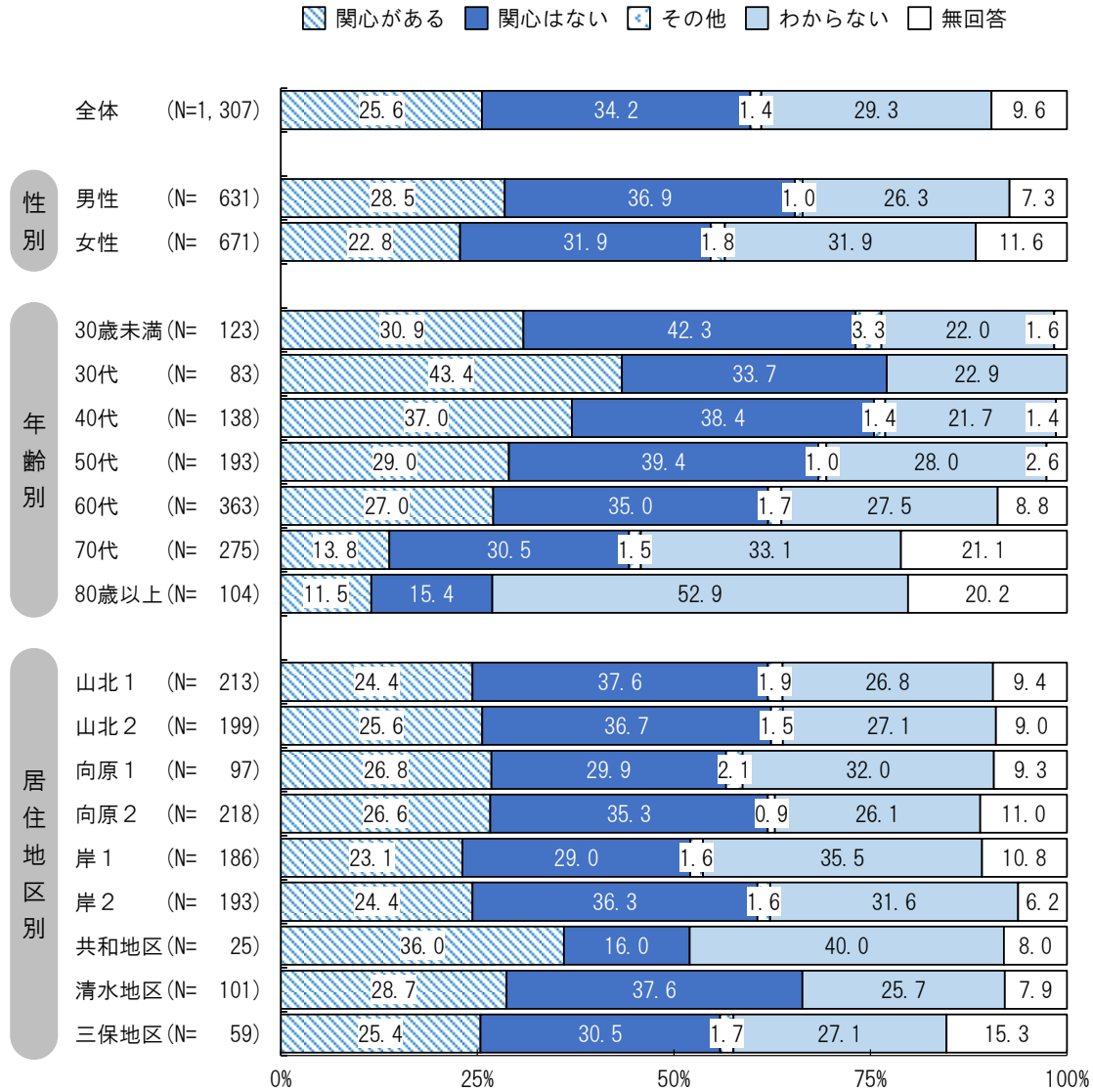
問28 山北町のホームページで充実してほしい情報は何か。(○は1つだけ)



- ◆全体で見ると、「各種の申請手続き」24.5%が最も多く、以下「町政に関する情報提供」19.9%、「イベント情報」16.4%となっています。
- ◆性別で見ると、男性は「町政に関する情報提供」23.8%が、女性の16.2%よりもやや多くなっています。
- ◆年齢別で見ると、「各種の申請手続き」は30代が51.8%と最も多く、以下40代が36.2%、50代が35.2%、30歳未満が31.7%となっています。
- ◆居住地区別で見ると、岸1と三保地区を除いたすべての地区で「各種の申請手続き」が最も多くなっています。岸1は「イベント情報」21.0%が最も多く、三保地区は「町政に関する情報提供」30.5%が最も多くなっています。

(40) SNSを活用した町からの情報提供や収集に関心はあるか

問29 あなたはSNSを活用した町からの情報提供や収集に関心はありますか。(○は1つだけ)

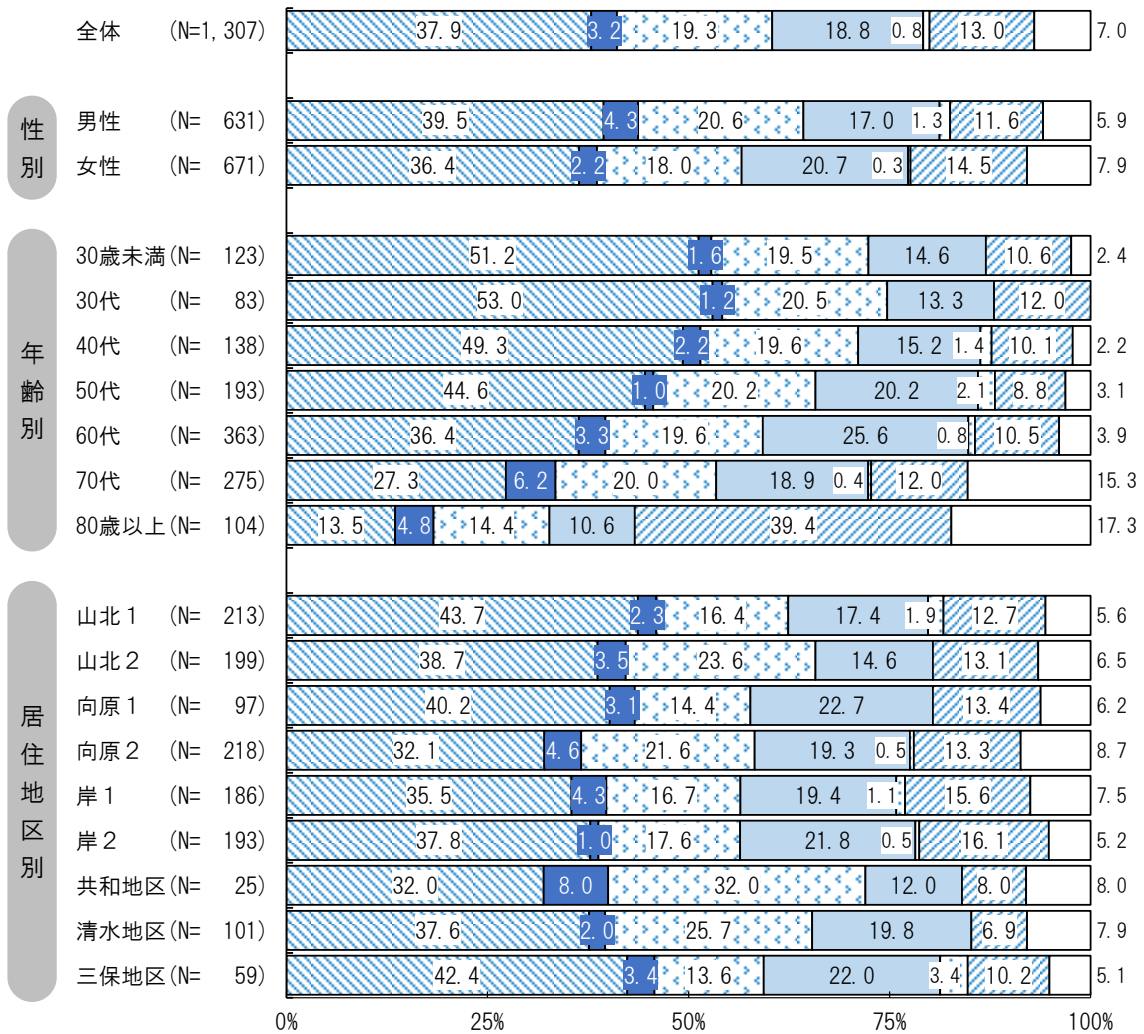


- ◆全体で見ると、「関心はない」が34.2%、「関心がある」が25.6%、「わからない」が29.3%となっています。
- ◆性別で見ると、男性は「関心はない」36.9%が最も多くなっています。女性は「関心はない」と「わからない」31.9%が多くなっています。
- ◆年齢別で見ると、「関心がある」は30代が43.4%と最も多く、以下40代が37.0%、30歳未満が30.9%となっています。
- ◆居住地区別で見ると、向原1・岸1・共和地区を除いたすべての地区で「関心はない」が最も多くなっています。向原1・岸1・共和地区は「わからない」が最も多くなっています。

(41) 情報化が進む際、行政に対して考慮してほしいと思うこと

問30 情報化が進む際、行政に対して考慮してほしいと思うことは何ですか。(○は1つだけ)

- 個人に関わる情報については、プライバシーが守られるよう、厳重に注意してほしい
- 機器の使い方についての講習会等が受けられる場所を確保してほしい
- 適切で信頼性の高い情報提供を行ってほしい
- 情報化だけでなく、紙媒体や防災無線などアナログな情報提供も充実してほしい
- その他
- 特にない、わからない
- 無回答



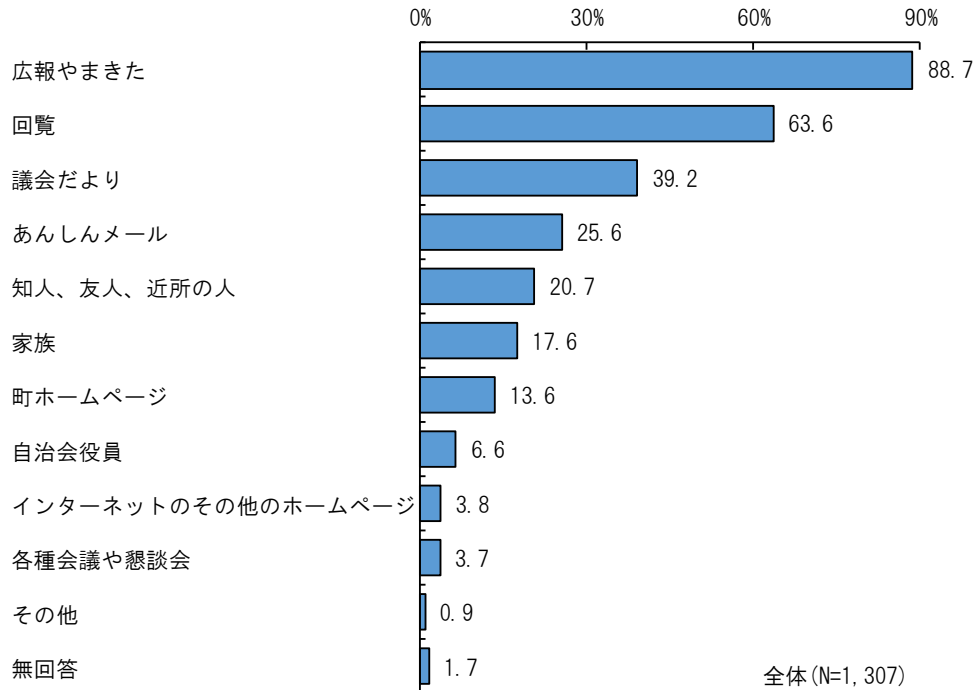
◆全体で見ると、「個人に関わる情報については、プライバシーが守られるよう、厳重に注意してほしい」37.9%が最も多く、以下「適切で信頼性の高い情報提供を行ってほしい」19.3%、「情報化だけでなく、紙媒体や防災無線などアナログな情報提供も充実してほしい」18.8%となっています。

◆年齢別で見ると、「個人に関わる情報については、プライバシーが守られるよう、厳重に注意してほしい」は、50代が44.6%、40代が49.3%、30代が53.0%と、年齢が下がるほど多い傾向がみられます。

13 町からの情報について

(42) 町に関する情報の主な入手手段

問31 町に関する情報を主にどのようにして得ていますか。(〇はいくつでも)



(単位%)

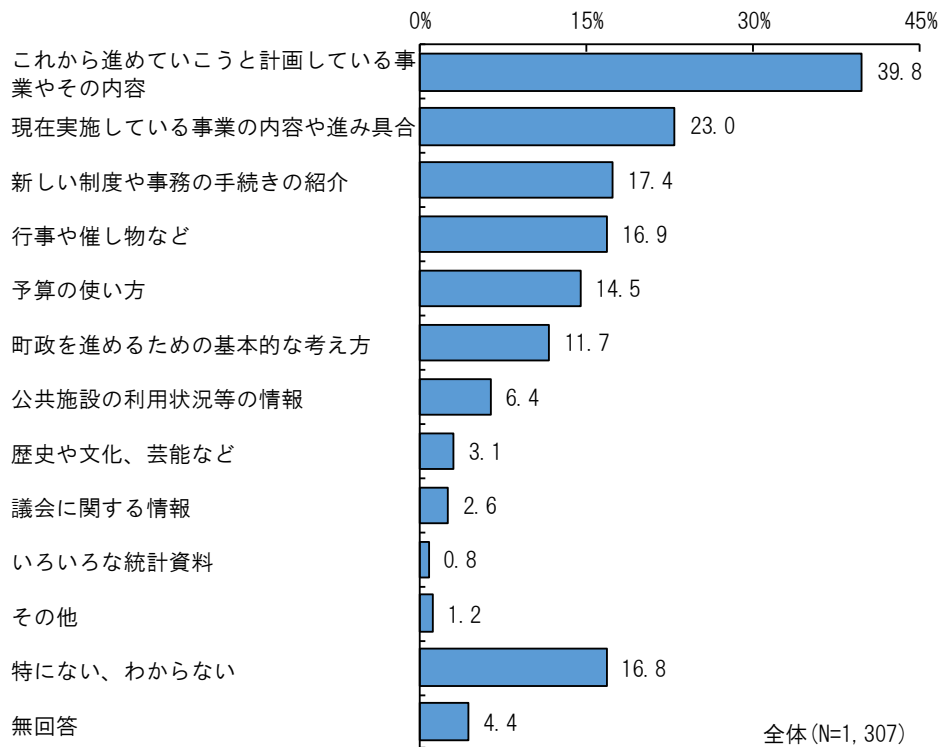
	調査数 (人)	広報やまきた	回覧	議会だより	あんしんメール	知人、友人、近所の人	家族	町ホームページ	自治会役員	インターネットのその他のホームページ	各種会議や懇談会	その他	無回答	
全体	1,307	88.7	63.6	39.2	25.6	20.7	17.6	13.6	6.6	3.8	3.7	0.9	1.7	
性別	男性	631	85.1	59.1	40.4	21.7	16.6	16.2	8.1	5.1	5.5	1.1	2.1	
	女性	671	92.3	68.1	38.0	29.5	24.6	17.7	5.2	2.7	1.9	0.7	1.2	
年齢別	30歳未満	123	60.2	28.5	1.6	17.9	14.6	49.6	12.2	0.8	6.5	-	2.4	1.6
	30代	83	86.7	43.4	18.1	21.7	24.1	32.5	20.5	2.4	4.8	-	2.4	-
	40代	138	85.5	52.2	23.2	33.3	19.6	23.2	14.5	1.4	2.9	1.4	2.2	0.7
	50代	193	90.2	66.8	33.7	36.3	14.5	13.5	17.1	4.7	5.7	3.1	0.5	1.6
	60代	363	95.3	71.9	50.1	30.3	19.6	11.6	16.8	12.7	3.3	6.6	0.8	0.8
	70代	275	96.0	77.1	58.2	22.2	28.0	9.5	9.1	8.0	3.6	5.5	-	1.8
	80歳以上	104	86.5	69.2	43.3	6.7	25.0	10.6	3.8	3.8	1.0	1.0	-	5.8
居住地区別	山北1	213	88.7	62.0	36.2	25.8	19.7	16.9	19.2	4.7	3.3	2.8	3.3	1.4
	山北2	199	88.4	65.8	38.7	25.6	23.1	22.6	10.6	4.0	3.5	3.5	1.0	2.5
	向原1	97	86.6	53.6	33.0	19.6	16.5	17.5	10.3	6.2	4.1	3.1	2.1	-
	向原2	218	89.9	65.6	40.4	21.6	23.9	16.1	11.9	8.3	4.1	3.2	0.5	2.3
	岸1	186	87.6	68.3	39.2	28.0	20.4	18.8	12.9	4.8	4.3	4.3	-	1.1
	岸2	193	90.2	65.8	42.5	25.4	19.7	19.7	11.4	3.1	3.1	2.6	-	1.0
	共和地区	25	96.0	72.0	52.0	32.0	32.0	12.0	16.0	20.0	4.0	20.0	-	-
	清水地区	101	94.1	62.4	44.6	35.6	18.8	11.9	15.8	18.8	2.0	5.0	-	1.0
	三保地区	59	81.4	54.2	35.6	28.8	16.9	10.2	22.0	8.5	6.8	3.4	-	3.4

凡例： 1位 2位 3位

- ◆全体で見ると、「広報やまきた」88.7%が最も多く、以下「回覧」63.6%、「議会だより」39.2%、「あんしんメール」25.6%、「知人、友人、近所の人」20.7%となっています。
- ◆性別で見ると、女性は「広報やまきた」92.3%、「回覧」68.1%、「あんしんメール」29.5%、「知人、友人、近所の人」24.6%が、男性よりもやや多くなっています。
- ◆年齢別で見ると、すべての年齢で1位は「広報やまきた」となっており、50代から70代は9割を超えています。30歳未満は60.2%と、他の年齢よりも少なくなっています。
30代未満の2位は「家族」49.6%で、年齢が下がるほど多い傾向がみられます。
- ◆居住地区別で見ると、共和地区や清水地区は「自治会役員」が約2割と、他の地区よりもやや多くなっています。

(43) 町政について日ごろから知りたいと思っていること

問32 町政について日ごろから知りたいと思っているのは何ですか。(○は主なもの2つまで)



(単位%)

調査数 (人)	これから進めていこうと計画している事業やその内容	現在実施している事業の内容や進み具合	新しい制度や事務の手続きの紹介	行事や催し物など	予算の使い方	町政を進めるための基本的な考え方	公共施設の利用状況等の情報	歴史や文化、芸能など	議会に関する情報	いろいろな統計資料	その他	特にない、わからない	無回答	
全体	1,307	39.8	23.0	17.4	16.9	14.5	11.7	6.4	3.1	2.6	0.8	1.2	16.8	4.4
性別														
男性	631	43.7	28.1	13.8	13.9	17.0	14.6	5.2	3.6	3.2	1.1	1.7	13.9	3.8
女性	671	35.9	18.3	20.7	19.8	12.4	8.9	7.5	2.5	2.1	0.4	0.7	19.7	4.9
年齢別														
30歳未満	123	29.3	16.3	10.6	22.0	17.9	4.1	7.3	4.9	-	0.8	1.6	26.0	1.6
30代	83	53.0	19.3	15.7	30.1	21.7	12.0	7.2	1.2	-	-	1.2	7.2	-
40代	138	39.1	16.7	23.9	21.7	15.9	7.2	10.1	2.2	-	0.7	2.2	20.3	0.7
50代	193	39.4	23.3	21.2	16.1	19.2	10.4	7.3	2.6	-	1.0	1.0	17.1	3.6
60代	363	41.3	29.8	21.2	15.4	11.3	14.0	5.8	3.3	1.9	1.4	1.4	14.0	3.9
70代	275	43.6	23.3	13.1	14.9	11.3	16.0	4.4	3.6	6.5	-	0.7	14.5	5.1
80歳以上	104	26.0	14.4	10.6	7.7	13.5	10.6	5.8	2.9	6.7	1.0	1.0	26.0	17.3
居住地区別														
山北1	213	40.4	21.6	18.3	19.2	16.4	11.3	2.8	2.8	2.8	0.5	2.8	16.0	4.2
山北2	199	35.2	22.1	18.1	18.1	16.6	13.1	3.5	5.0	2.0	-	0.5	19.1	3.5
向原1	97	43.3	16.5	17.5	14.4	12.4	17.5	8.2	1.0	3.1	-	2.1	20.6	2.1
向原2	218	44.0	22.5	17.9	18.8	13.8	11.9	5.0	4.1	1.8	0.9	1.4	13.8	5.5
岸1	186	32.8	24.2	16.7	16.7	11.8	8.1	8.6	3.2	3.2	-	1.6	19.4	5.9
岸2	193	42.5	23.3	11.4	15.5	14.0	11.4	11.4	1.6	3.1	2.1	0.5	16.6	3.6
共和地区	25	32.0	36.0	16.0	20.0	8.0	16.0	12.0	-	4.0	-	-	12.0	8.0
清水地区	101	43.6	29.7	21.8	18.8	18.8	12.9	5.0	4.0	2.0	-	-	8.9	4.0
三保地区	59	42.4	22.0	23.7	6.8	11.9	6.8	6.8	1.7	1.7	5.1	-	27.1	3.4

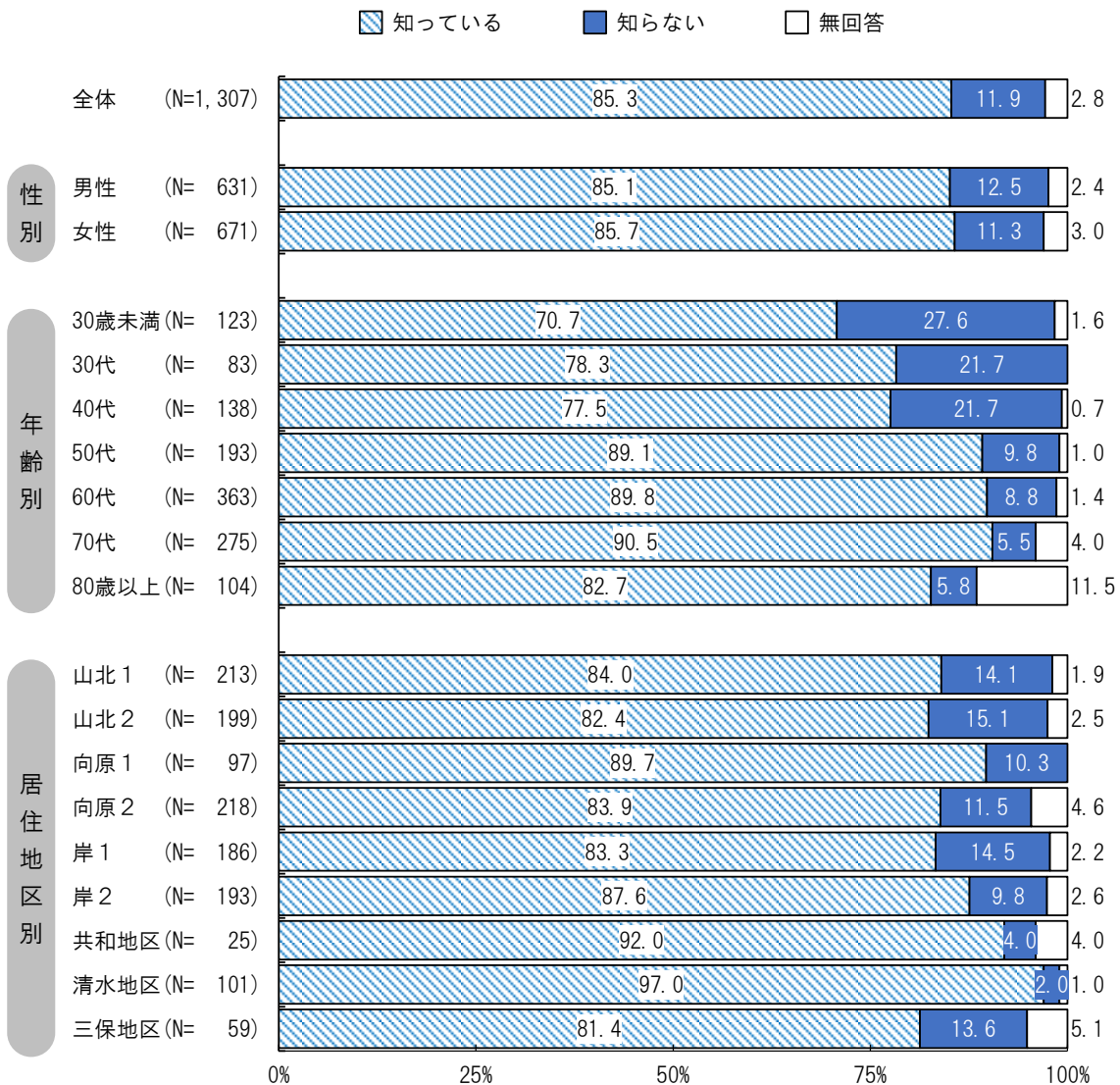
凡例： 1位 2位 3位

- ◆全体で見ると、「これから進めていこうと計画している事業やその内容」39.8%が最も多く、以下「現在実施している事業の内容や進み具合」23.0%、「新しい制度や事務の手続きの紹介」17.4%、「行事や催し物など」16.9%となっています。
- ◆性別で見ると、男性の2位は「現在実施している事業の内容や進み具合」28.1%で、女性の2位は「新しい制度や事務の手続きの紹介」20.7%となっています。
男性は「これから進めていこうと計画している事業やその内容」43.7%、「現在実施している事業の内容や進み具合」28.1%、「町政を進めるための基本的な考え方」14.6%が、女性よりもやや多くなっています。
女性は「新しい制度や事務の手続きの紹介」20.7%、「行事や催し物など」19.8%が、男性よりもやや多くなっています。
- ◆年齢別で見ると、いずれの年齢も1位は「これから進めていこうと計画している事業やその内容」で、30代は53.0%と他の年齢よりもやや多くなっています。
30代以下の2位は「行事や催し物など」、40代の2位は「新しい制度や事務の手続きの紹介」、50代以上の2位は「現在実施している事業の内容や進み具合」となっています。
- ◆居住地区別で見ると、共和地区を除いたすべての地区で1位は「これから進めていこうと計画している事業やその内容」となっています。
向原1は「新しい制度や事務の手続きの紹介」と「町政を進めるための基本的な考え方」が同率2位となっています。

14 防災について

(44) 自治会で定めている一時避難場所を知っているか

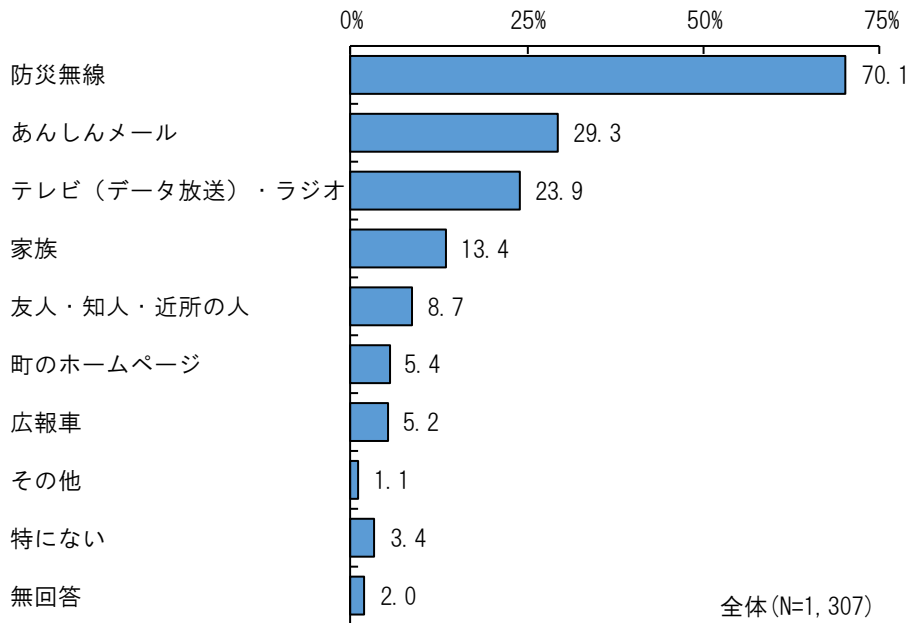
問33 あなたは、自治会（自主防災組織）で定めている一時避難場所をご存知ですか。（○は1つだけ）



- ◆全体で見ると、「知っている」が85.3%、「知らない」が11.9%となっています。
- ◆年齢別で見ると、「知らない」は40代と30代が21.7%、30歳未満が27.6%と、年齢が下がるほど多い傾向がみられます。
- ◆居住地区別で見ると、清水地区は「知っている」97.0%が、他の地区よりもやや多くなっています。

(45) 防災に関する情報をどこから得ているか

問34 あなたは、避難情報などの防災に関する情報をどこから得ていますか。(○は主なもの2つまで)



(単位%)

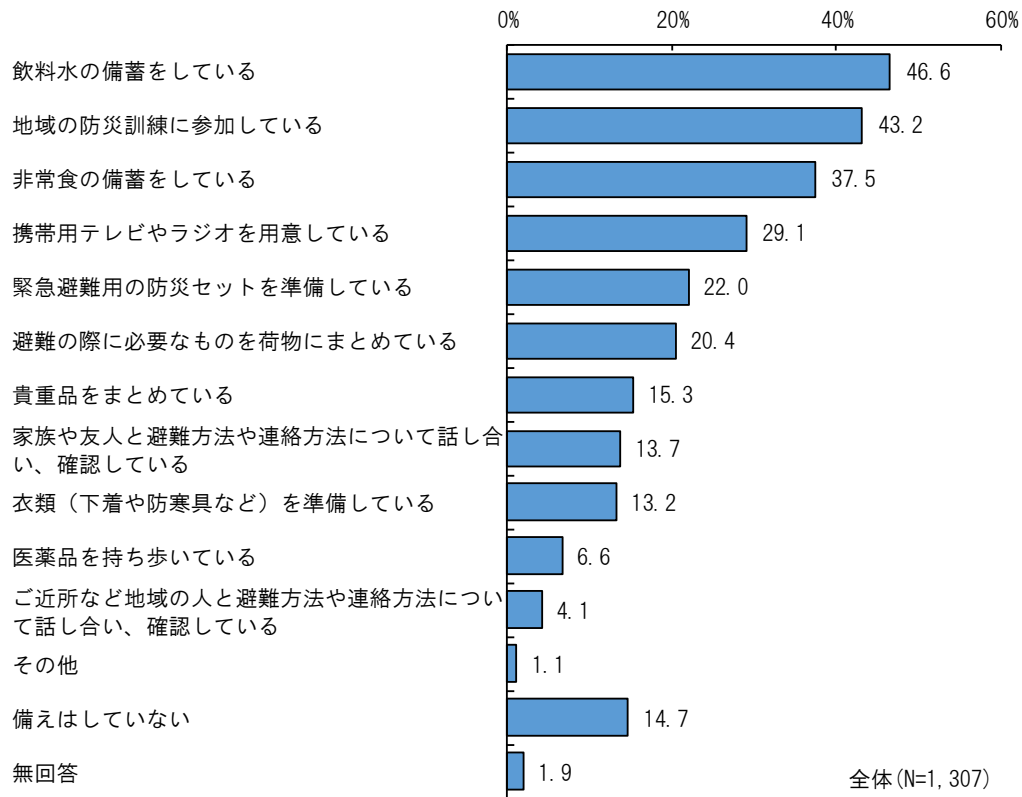
	調査数(人)	防災無線	あんしんメール	テレビ(データ放送)・ラジオ	家族	友人・知人・近所の人	町のホームページ	広報車	その他	特にない	無回答
全体	1,307	70.1	29.3	23.9	13.4	8.7	5.4	5.2	1.1	3.4	2.0
性別											
男性	631	69.3	27.4	24.4	11.9	7.0	6.2	5.7	1.7	4.4	2.1
女性	671	71.2	31.1	23.2	14.8	10.3	4.8	4.8	0.4	2.5	1.8
年齢別											
30歳未満	123	47.2	19.5	22.8	33.3	13.0	3.3	0.8	2.4	7.3	1.6
30代	83	59.0	25.3	28.9	26.5	10.8	8.4	2.4	3.6	2.4	-
40代	138	58.7	39.1	20.3	16.7	7.2	3.6	1.4	1.4	5.1	0.7
50代	193	74.1	40.4	20.7	8.8	3.1	4.7	4.7	0.5	4.1	2.1
60代	363	78.2	35.5	24.5	7.4	7.4	3.9	5.2	1.4	3.0	1.4
70代	275	78.2	25.1	25.8	7.3	8.7	8.0	8.7	-	2.2	2.9
80歳以上	104	65.4	5.8	24.0	18.3	20.2	8.7	8.7	-	1.9	3.8
居住地区別											
山北1	213	74.6	28.2	24.9	14.1	7.0	4.2	4.2	1.4	1.4	1.4
山北2	199	66.8	27.6	22.6	17.1	8.5	6.0	4.0	1.0	6.0	1.5
向原1	97	71.1	25.8	21.6	15.5	7.2	8.2	8.2	-	4.1	-
向原2	218	72.9	23.4	23.4	11.9	9.2	6.4	7.8	0.9	2.8	3.7
岸1	186	60.8	25.3	28.0	14.5	12.4	8.1	5.4	0.5	3.8	2.7
岸2	193	69.9	31.6	23.3	13.0	9.3	2.1	5.2	1.6	3.6	1.6
共和地区	25	80.0	40.0	16.0	12.0	8.0	12.0	8.0	-	-	-
清水地区	101	81.2	46.5	25.7	5.0	5.9	3.0	2.0	1.0	2.0	-
三保地区	59	67.8	40.7	18.6	10.2	6.8	1.7	3.4	1.7	6.8	3.4

凡例： 1位 2位 3位

- ◆全体で見ると、「防災無線」70.1%が最も多く、以下「あんしんメール」29.3%、「テレビ（データ放送）・ラジオ」23.9%、「家族」13.4%、「友人・知人・近所の人」8.7%となっています。
- ◆年齢別で見ると、すべての年齢で1位は「防災無線」となっており、30代と40代が約6割、30歳未満が約5割と、年齢が下がると少ない傾向がみられます。
30歳未満の2位は「家族」、30代と70代以上の2位は「テレビ（データ放送）・ラジオ」、40代から60代の2位は「あんしんメール」となっています。
- ◆居住地区別で見ると、すべての地区で1位は「防災無線」となっており、岸1は60.8%と他の地区よりもやや少なくなっています。

(46) 日ごろから災害に対し行っている備え

問35 あなたは日ごろから災害に対するどのような備えをしていますか。(○はいくつでも)



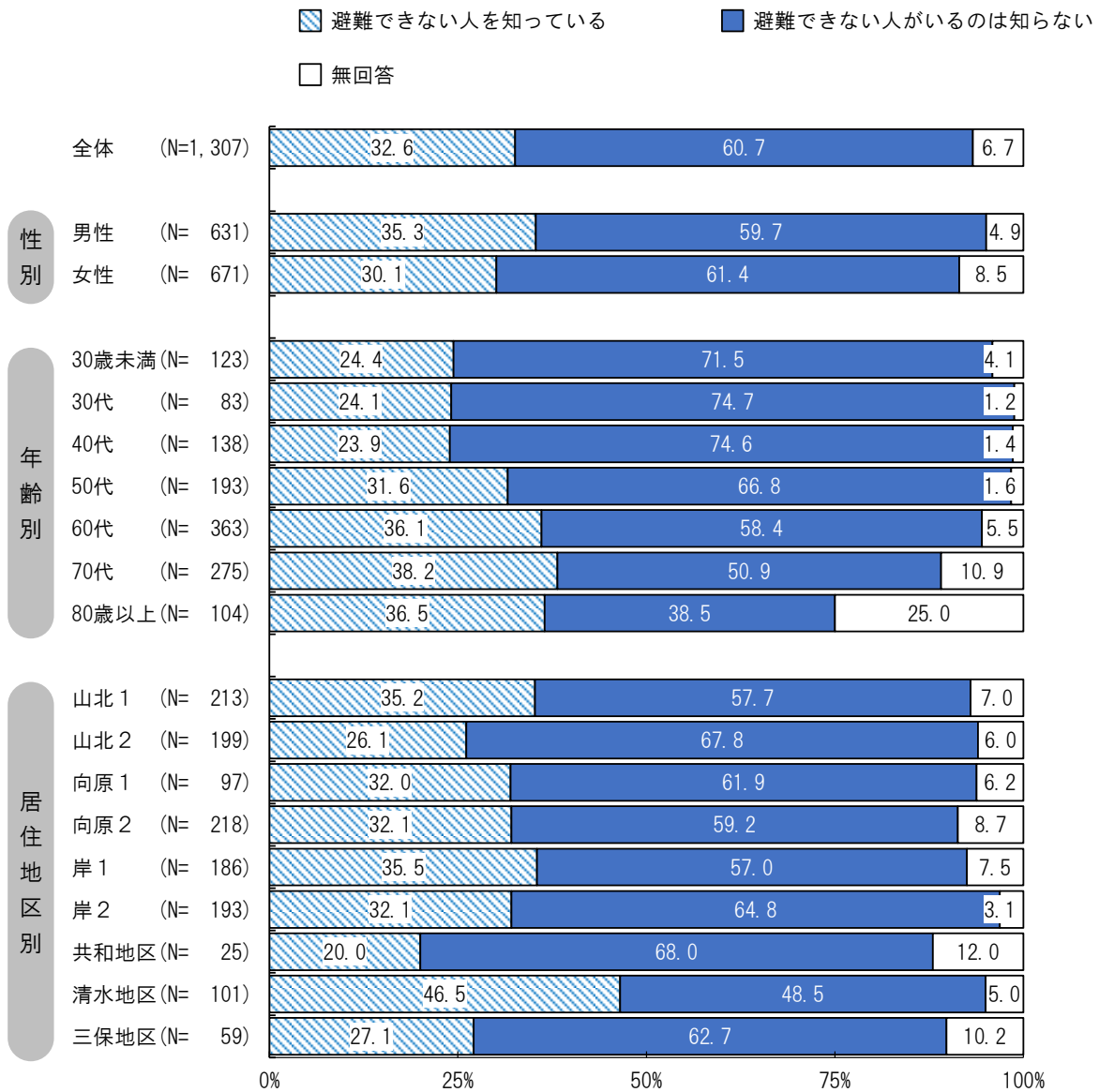
		調査数(人)	飲料水の備蓄をしている	地域の防災訓練に参加している	非常食の備蓄をしている	携帯用テレビやラジオを用意している	緊急避難用の防災セットを準備している	避難の際に必要なものを荷物にまとめている	貴重品をまとめている	家族や友人と避難方法や連絡方法について話し合い、確認している	衣類(下着や防寒具など)を準備している	医薬品を持ち歩いている	ご近所など地域の人と避難方法や連絡方法について話し合い、確認している	その他	備えはしていない	無回答
全体		1,307	46.6	43.2	37.5	29.1	22.0	20.4	15.3	13.7	13.2	6.6	4.1	1.1	14.7	1.9
性別	男性	631	44.2	43.6	35.5	30.6	20.9	15.7	11.9	11.9	9.0	4.4	3.3	0.8	15.7	2.4
	女性	671	49.0	42.9	39.6	27.6	23.1	25.0	18.5	15.5	17.3	8.6	4.8	1.3	13.7	1.3
年齢別	30歳未満	123	30.1	13.0	25.2	9.8	13.8	8.1	13.0	18.7	8.9	3.3	0.8	-	37.4	2.4
	30代	83	44.6	20.5	32.5	16.9	25.3	22.9	13.3	20.5	13.3	9.6	3.6	2.4	20.5	-
	40代	138	42.8	30.4	36.2	22.5	26.1	19.6	5.8	15.2	11.6	6.5	2.9	2.2	23.2	0.7
	50代	193	51.8	45.1	42.5	29.0	23.8	23.3	11.9	15.0	9.3	8.3	3.1	1.0	12.4	1.0
	60代	363	48.8	56.7	39.4	36.9	22.9	21.8	14.3	11.6	14.3	5.0	5.0	1.1	10.7	0.6
	70代	275	47.6	55.6	40.7	33.5	22.2	22.9	19.6	10.2	14.2	6.2	3.6	0.4	7.3	3.6
居住地区別	80歳以上	104	52.9	30.8	33.7	32.7	16.3	19.2	32.7	13.5	23.1	11.5	9.6	1.9	9.6	4.8
	山北1	213	47.9	40.8	38.0	30.5	21.6	18.8	15.5	14.1	12.2	6.6	1.9	1.4	13.1	2.3
	山北2	199	37.7	34.7	32.2	23.1	19.1	24.1	13.1	16.1	16.1	5.0	3.0	1.5	18.6	2.0
	向原1	97	49.5	32.0	38.1	20.6	23.7	25.8	12.4	16.5	13.4	12.4	8.2	2.1	16.5	1.0
	向原2	218	45.9	43.1	35.8	28.4	21.6	22.5	14.2	10.6	14.2	5.0	4.1	0.5	16.1	2.8
	岸1	186	50.5	43.0	34.4	29.6	17.7	14.5	16.1	11.8	14.0	6.5	4.8	1.6	15.1	1.1
	岸2	193	53.4	48.2	44.6	38.3	24.9	22.3	17.6	16.1	13.0	7.8	2.6	-	11.4	1.0
	共和地区	25	52.0	60.0	68.0	36.0	32.0	20.0	12.0	20.0	8.0	8.0	4.0	-	4.0	-
	清水地区	101	49.5	67.3	40.6	31.7	31.7	17.8	14.9	8.9	9.9	4.0	4.0	-	8.9	-
	三保地区	59	25.4	40.7	28.8	18.6	13.6	13.6	18.6	13.6	10.2	6.8	8.5	3.4	22.0	5.1

凡例： 1位 2位 3位

- ◆全体で見ると、「飲料水の備蓄をしている」46.6%が最も多く、以下「地域の防災訓練に参加している」43.2%、「非常食の備蓄をしている」37.5%、「携帯用テレビやラジオを用意している」29.1%、「緊急避難用の防災セットを準備している」22.0%となっています。
- ◆性別で見ると、女性は「避難の際に必要なものを荷物にまとめている」25.0%、「貴重品をまとめている」18.5%、「衣類（下着や防寒具など）を準備している」17.3%が、男性よりもやや多くなっています。
- ◆年齢別で見ると、60代と70代を除いたすべての年齢で1位は「飲料水の備蓄をしている」となっていますが、30歳未満は30.1%と、他の年齢よりも少なくなっています。
60代と70代の1位は「地域の防災訓練に参加している」となっています。
40代以下は「備えはしていない」が他の年齢よりも多く、30歳未満は37.4%となっています。
- ◆居住地区別で見ると、共和地区・清水地区・三保地区を除いたすべての地区で1位は「飲料水の備蓄をしている」となっています。共和地区の1位は「非常食の備蓄をしている」で、清水地区と三保地区の1位は「地域の防災訓練に参加している」となっています。

(47) 自力で避難できない人はいるか

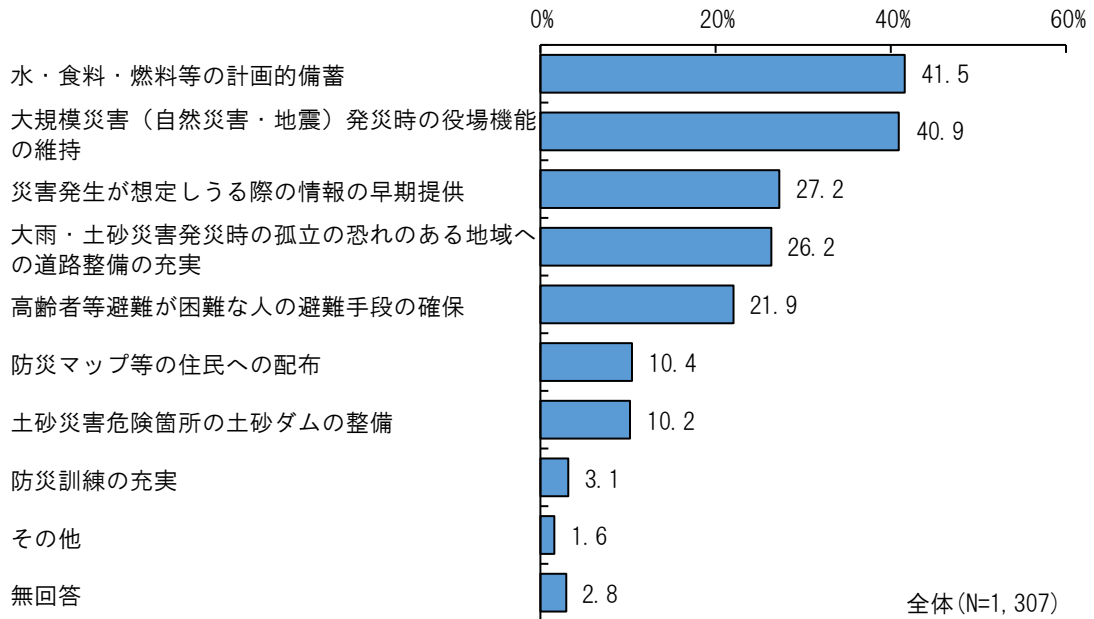
問36 あなたの近所に自力で避難できない人はいますか。(○は1つだけ)



- ◆全体で見ると、「避難できない人があるの知らない」が60.7%、「避難できない人を知っている」が32.6%となっています。
- ◆年齢別で見ると、すべての年齢で「避難できない人があるの知らない」が多く、40代以下は7割を超えています。
- ◆居住地区別で見ると、清水地区は「避難できない人を知っている」46.5%が、他の地区よりも多くなっています。

(48) 優先順位の高い今後町がすすめるべき防災対策

問37 今後町がすすめるべき防災対策として優先順位の高いものは何ですか。(〇は主なもの2つまで)



(単位%)

	調査数 (人)	水・食料・燃料等の計画的備蓄	大規模災害（自然災害・地震）発災時の役場機能の維持	災害発生が想定しうる際の情報の早期提供	大雨・土砂災害発災時の孤立の恐れのある地域への道路整備の充実	高齢者等避難が困難な人の避難手段の確保	防災マップ等の住民への配布	土砂災害危険箇所の土砂ダムの整備	防災訓練の充実	その他	無回答	
全体	1,307	41.5	40.9	27.2	26.2	21.9	10.4	10.2	3.1	1.6	2.8	
性別	男性	631	42.3	39.1	25.2	27.4	20.1	12.2	9.7	4.0	2.1	2.5
	女性	671	40.7	42.8	29.2	24.9	23.5	8.6	10.6	2.2	1.2	3.0
年齢別	30歳未満	123	43.9	29.3	15.4	29.3	28.5	17.9	10.6	1.6	0.8	2.4
	30代	83	50.6	33.7	19.3	33.7	19.3	14.5	12.0	2.4	3.6	-
	40代	138	45.7	37.7	26.1	30.4	18.8	19.6	6.5	2.2	0.7	0.7
	50代	193	44.6	37.8	30.1	29.5	18.1	7.3	11.4	3.1	3.1	1.6
	60代	363	35.3	45.7	35.0	26.2	20.7	7.4	14.0	2.8	1.7	1.7
	70代	275	38.9	46.2	25.5	23.6	24.4	8.0	8.0	4.0	1.1	4.7
	80歳以上	104	48.1	41.3	22.1	11.5	27.9	8.7	2.9	3.8	-	8.7
居住地区別	山北1	213	45.5	40.8	24.4	23.0	24.9	10.3	10.3	1.4	2.8	2.3
	山北2	199	44.2	46.2	22.6	18.6	25.1	11.6	6.5	3.0	0.5	4.0
	向原1	97	36.1	47.4	24.7	28.9	16.5	11.3	11.3	5.2	-	3.1
	向原2	218	42.7	42.7	30.3	17.4	24.3	10.1	9.2	3.2	1.8	4.1
	岸1	186	44.1	39.2	30.1	22.0	23.1	11.8	5.9	2.7	2.7	2.7
	岸2	193	44.0	39.9	31.6	21.8	21.8	10.4	10.4	5.2	-	2.1
	共和地区	25	32.0	32.0	28.0	56.0	8.0	4.0	20.0	-	4.0	-
	清水地区	101	26.7	38.6	30.7	51.5	12.9	6.9	19.8	3.0	1.0	1.0
	三保地区	59	35.6	27.1	13.6	61.0	18.6	6.8	16.9	1.7	5.1	1.7

凡例： 1位 2位 3位

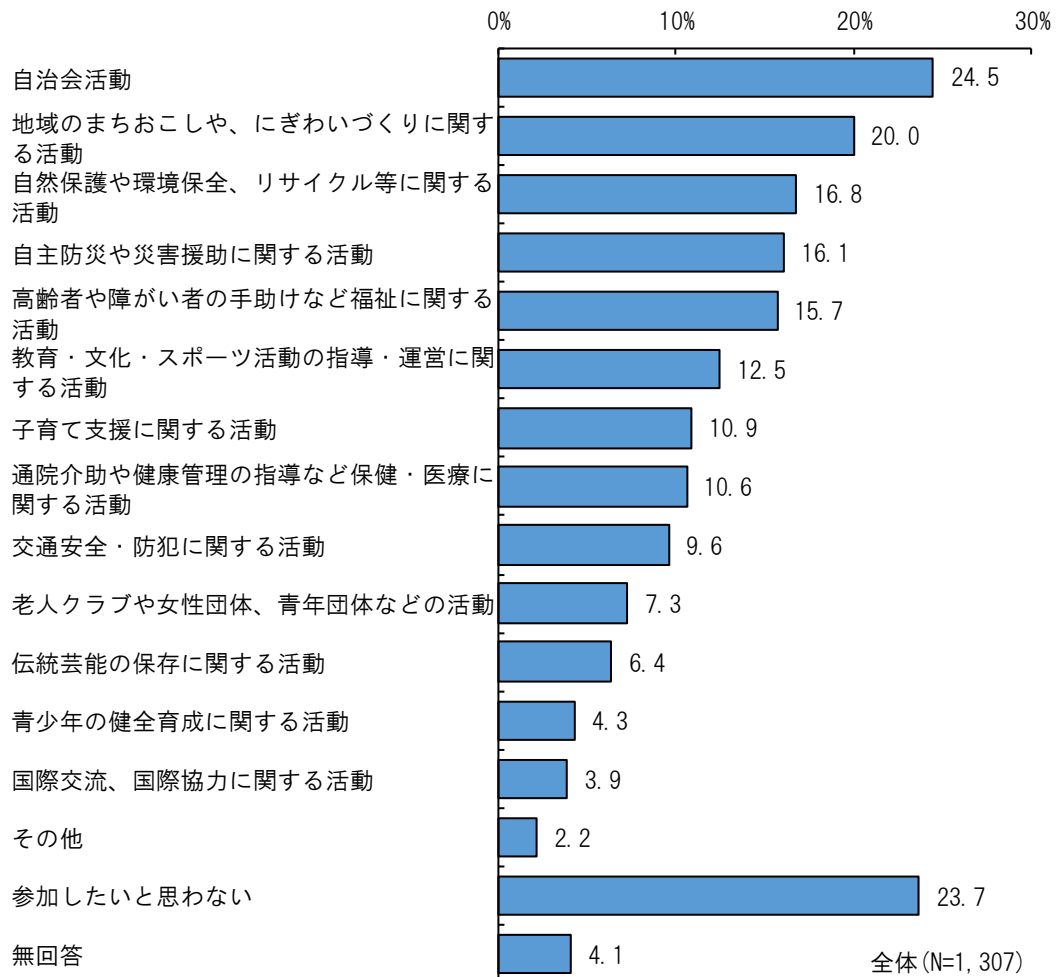
- ◆全体でみると、「水・食料・燃料等の計画的備蓄」41.5%が最も多く、以下「大規模災害（自然災害・地震）発災時の役場機能の維持」40.9%、「災害発生が想定しうる際の情報の早期提供」27.2%、「大雨・土砂災害発災時の孤立の恐れのある地域への道路整備の充実」26.2%、「高齢者等避難が困難な人の避難手段の確保」21.9%となっています。
- ◆年齢別でみると、60代と70代を除いたすべての年齢で1位は「水・食料・燃料等の計画的備蓄」となっています。60代と70代の1位は「大規模災害（自然災害・地震）発災時の役場機能の維持」となっています。
 - 「災害発生が想定しうる際の情報の早期提供」は50代と60代が3割となっています。
 - 「大雨・土砂災害発災時の孤立の恐れのある地域への道路整備の充実」は50代以下で約3割となっています。
 - 「防災マップ等の住民への配布」は40代以下が、他の年齢よりもやや多くなっています。
- ◆居住地区別でみると、山北1・岸1・岸2の1位は「水・食料・燃料等の計画的備蓄」となっています。山北2と向原1の1位は「大規模災害（自然災害・地震）発災時の役場機能の維持」となっています。向原2は「水・食料・燃料等の計画的備蓄」と「大規模災害（自然災害・地震）発災時の役場機能の維持」が同率で1位となっています。共和地区・清水地区・三保地区の1位は「大雨・土砂災害発災時の孤立の恐れのある地域への道路整備の充実」となっています。

15 まちづくり活動について

(49) 積極的に参加したいと考えるまちづくり活動

問38 あなたが積極的に参加したいと考えるまちづくり活動はどのようなものですか。

(○はいくつでも)



(単位%)

	調査数(人)	自治会活動	地域のまちおこしや、にぎわいづくりに関する活動	自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動	自主防災や災害援助に関する活動	高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動	の教育・文化・スポーツ活動	子育て支援に関する活動	通院介助や健康管理の指導など保健・医療に関する活動	交通安全・防犯に関する活動	老人クラブや女性団体、青年団体などの活動
全体	1,307	24.5	20.0	16.8	16.1	15.7	12.5	10.9	10.6	9.6	7.3
性別											
男性	631	28.1	22.3	17.7	19.7	13.2	15.7	7.0	7.6	11.3	6.0
女性	671	21.3	17.7	15.9	13.0	18.0	9.5	14.6	13.6	8.0	8.6
年齢別											
30歳未満	123	6.5	26.8	11.4	7.3	6.5	17.1	15.4	4.9	7.3	0.8
30代	83	15.7	28.9	10.8	7.2	7.2	21.7	39.8	3.6	6.0	4.8
40代	138	10.1	18.1	18.8	12.3	16.7	16.7	13.8	7.2	10.9	2.2
50代	193	24.4	20.2	15.0	17.1	16.6	14.0	10.9	13.5	8.3	3.6
60代	363	30.6	20.7	21.5	19.6	16.8	11.6	9.1	10.5	11.3	8.8
70代	275	34.9	19.6	17.8	21.1	18.9	9.5	5.1	13.5	10.2	11.3
80歳以上	104	25.0	8.7	10.6	11.5	20.2	3.8	1.0	15.4	8.7	15.4
居住地区別											
山北1	213	27.2	18.3	16.4	12.2	16.9	14.1	14.6	8.5	9.4	7.0
山北2	199	15.1	17.1	16.1	14.1	13.6	12.6	10.1	10.6	5.5	4.0
向原1	97	25.8	19.6	13.4	19.6	16.5	12.4	12.4	11.3	13.4	4.1
向原2	218	25.2	15.1	18.3	16.1	20.2	14.2	11.9	14.7	11.9	7.8
岸1	186	19.4	19.4	17.7	14.5	14.0	10.2	7.5	10.8	6.5	7.5
岸2	193	26.9	23.8	18.7	16.1	12.4	14.0	11.4	8.3	15.5	5.2
共和地区	25	36.0	36.0	32.0	24.0	12.0	4.0	4.0	8.0	4.0	12.0
清水地区	101	38.6	22.8	18.8	25.7	11.9	8.9	8.9	11.9	8.9	16.8
三保地区	59	25.4	27.1	5.1	18.6	27.1	10.2	10.2	11.9	3.4	10.2

(単位%)

	調査数(人)	伝統芸能の保存に関する活動	青少年の健全育成に関する活動	国際交流、国際協力に関する活動	その他	参加したいと思わない	無回答
全体	1,307	6.4	4.3	3.9	2.2	23.7	4.1
性別							
男性	631	7.9	5.7	2.5	1.1	24.2	3.6
女性	671	5.1	3.0	5.2	3.3	23.2	4.5
年齢別							
30歳未満	123	8.1	4.9	5.7	3.3	35.8	0.8
30代	83	9.6	9.6	16.9	-	24.1	-
40代	138	3.6	2.2	2.9	0.7	31.9	1.4
50代	193	7.3	3.1	3.1	2.6	27.5	1.0
60代	363	7.2	4.1	4.1	2.8	20.1	2.2
70代	275	5.8	5.5	1.5	2.2	16.7	8.4
80歳以上	104	4.8	2.9	-	2.9	18.3	16.3
居住地区別							
山北1	213	7.5	4.7	4.7	1.9	24.4	7.0
山北2	199	5.0	3.5	4.5	2.5	28.1	4.0
向原1	97	2.1	3.1	1.0	2.1	21.6	3.1
向原2	218	6.9	6.0	3.7	3.7	22.0	4.1
岸1	186	6.5	3.8	4.8	3.8	25.3	3.8
岸2	193	6.7	5.7	4.1	1.0	22.3	2.1
共和地区	25	32.0	-	12.0	-	4.0	8.0
清水地区	101	6.9	3.0	1.0	1.0	22.8	3.0
三保地区	59	1.7	3.4	1.7	-	25.4	3.4

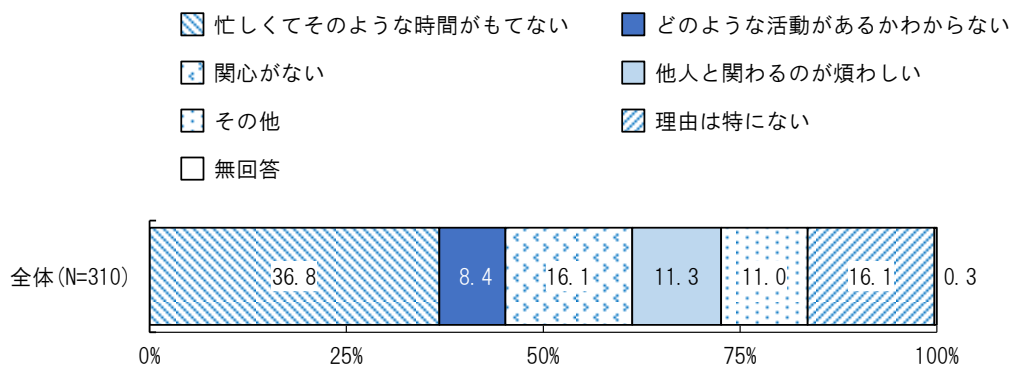
凡例： 1位 2位 3位

- ◆全体で見ると、「自治会活動」24.5%が最も多く、以下「地域のまちおこしや、にぎわいづくりに関する活動」20.0%、「自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動」16.8%、「自主防災や災害援助に関する活動」16.1%となっています。また、「参加したいと思わない」は23.7%となっています。
- ◆性別で見ると、男性は「自治会活動」28.1%、「自主防災や災害援助に関する活動」19.7%、「教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動」15.7%が、女性よりもやや多くなっています。女性は「子育て支援に関する活動」14.6%、「通院介助や健康管理の指導など保健・医療に関する活動」13.6%が、男性よりもやや多くなっています。
- ◆年齢別で見ると、30歳未満の1位は「地域のまちおこしや、にぎわいづくりに関する活動」、30代の1位は「子育て支援に関する活動」、40代の1位は「自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動」、50代以上の1位は「自治会活動」となっています。
30代は「子育て支援に関する活動」39.8%や「国際交流、国際協力に関する活動」16.9%が、他の年齢よりも多くなっています。
「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」や「老人クラブや女性団体、青年団体などの活動」は、年齢が上がるほど多い傾向がみられます。
- ◆居住地区別で見ると、山北2の1位は「地域のまちおこしや、にぎわいづくりに関する活動」、三保地区は「地域のまちおこしや、にぎわいづくりに関する活動」と「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」が同率1位となっています。

(50) 参加したいと思わない理由

問38-1 参加したいと思わない理由を教えてください。(○は1つだけ)

※問38で、「参加したいと思わない」と答えた方のみ。



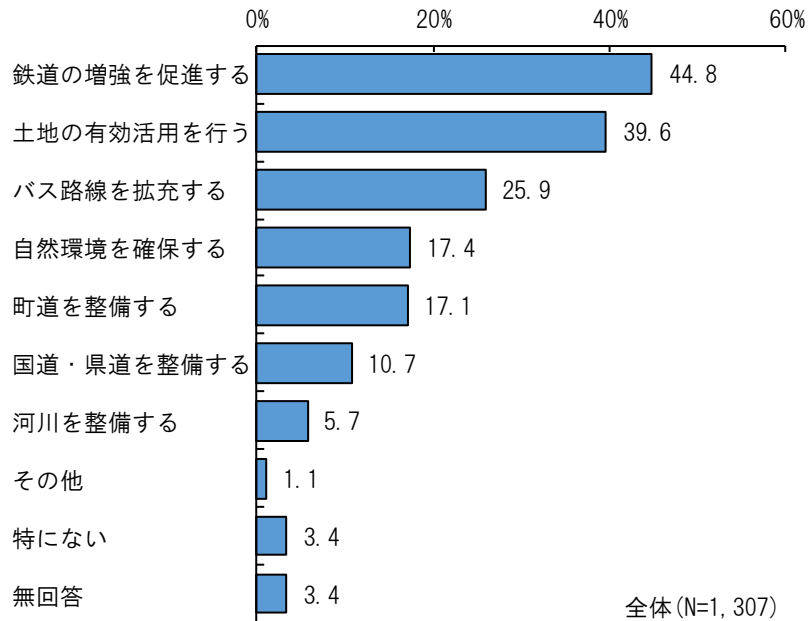
- ◆全体で見ると、「忙しくてそのような時間がもてない」36.8%が最も多く、以下「関心がない」と「理由は特にない」が16.1%、「他人と関わるのが煩わしい」11.3%となっています。

16 今後のまちづくりについて

(51) まちづくりを進めていく中で、特に力を入れてほしいと思うこと

問39 あなたは、今後まちづくりを進めていく中で、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。
(○は各分野主なものを2つまで)

①都市基盤



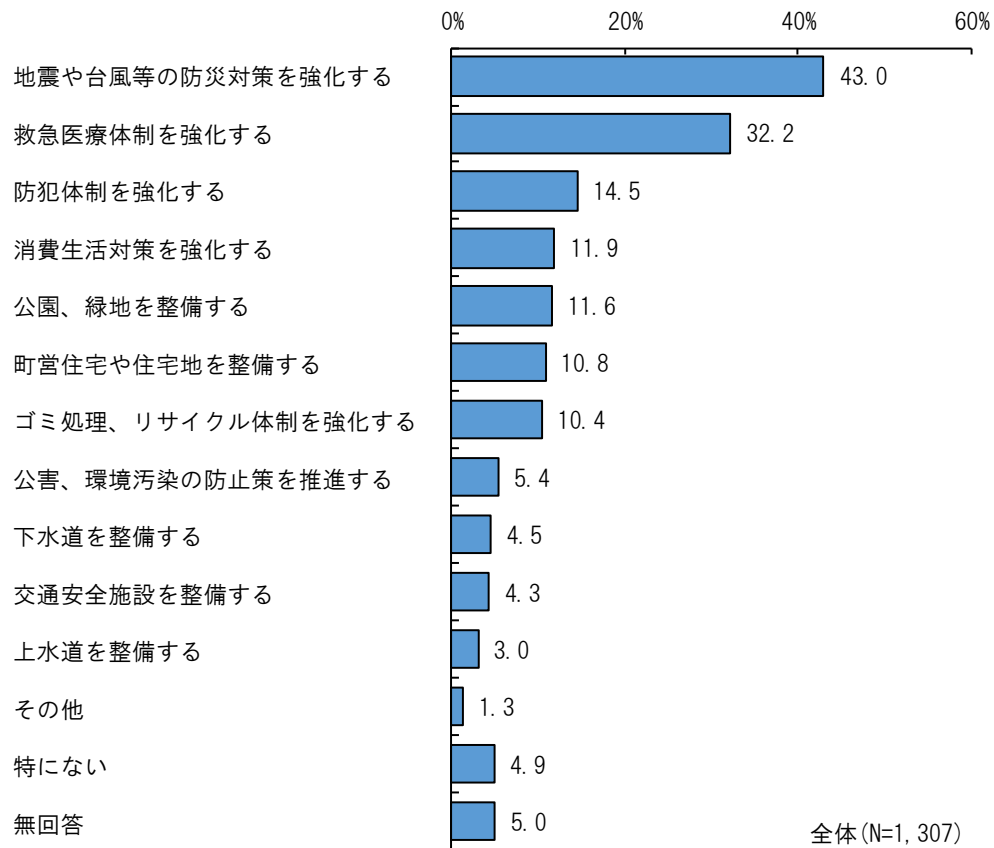
(単位%)

	調査数 (人)	鉄道の増強を促進する	土地の有効活用を行う	バス路線を拡充する	自然環境を確保する	町道を整備する	国道・県道を整備する	河川を整備する	その他	特にない	無回答	
全体	1,307	44.8	39.6	25.9	17.4	17.1	10.7	5.7	1.1	3.4	3.4	
性別	男性	631	45.5	40.3	21.9	17.4	20.9	13.9	5.7	2.1	2.4	2.7
	女性	671	44.6	38.9	29.7	17.4	13.4	7.6	5.5	0.3	4.3	4.2
年齢別	30歳未満	123	67.5	30.1	19.5	16.3	10.6	9.8	4.1	1.6	5.7	0.8
	30代	83	57.8	49.4	25.3	21.7	9.6	10.8	2.4	-	1.2	1.2
	40代	138	57.2	43.5	23.2	16.7	9.4	10.1	2.9	2.2	2.9	1.4
	50代	193	49.2	46.1	18.1	21.2	16.6	10.4	7.3	1.0	2.1	1.0
	60代	363	38.0	38.6	26.2	15.7	23.1	12.9	6.9	1.9	3.6	3.0
	70代	275	38.2	39.3	30.9	19.3	19.6	10.2	7.3	0.4	1.5	5.5
	80歳以上	104	22.1	29.8	39.4	12.5	13.5	5.8	2.9	-	8.7	12.5
居住地区別	山北1	213	51.2	33.8	29.6	17.4	9.9	6.6	8.0	0.5	5.2	4.7
	山北2	199	52.8	40.7	19.6	21.6	11.6	7.5	4.5	2.0	4.5	4.5
	向原1	97	40.2	41.2	28.9	17.5	27.8	6.2	6.2	1.0	2.1	1.0
	向原2	218	51.4	42.7	17.9	19.3	16.5	9.6	5.5	0.9	3.2	3.7
	岸1	186	43.0	33.3	42.5	12.4	17.2	8.6	3.8	0.5	3.8	3.2
	岸2	193	44.0	45.1	20.7	16.6	17.1	10.4	4.1	1.6	3.6	3.1
	共和地区	25	36.0	36.0	12.0	32.0	44.0	8.0	4.0	4.0	-	-
	清水地区	101	29.7	42.6	13.9	12.9	24.8	33.7	9.9	1.0	1.0	3.0
	三保地区	59	16.9	40.7	47.5	16.9	22.0	18.6	5.1	1.7	-	3.4

凡例： 1位 2位 3位

- ◆全体で見ると、「鉄道の増強を促進する」44.8%が最も多く、以下「土地の有効活用を行う」39.6%、「バス路線を拡充する」25.9%、「自然環境を確保する」17.4%、「町道を整備する」17.1%となっています。
- ◆性別で見ると、男性は「町道を整備する」20.9%、「国道・県道を整備する」13.9%が、女性よりもやや多くなっています。女性は「バス路線を拡充する」29.7%が、男性よりもやや多くなっています。
- ◆年齢別で見ると、50代以下の1位は「鉄道の増強を促進する」となっており、40代は57.2%、30代は57.8%、30歳未満は67.5%と、年齢が下がるほど多い傾向がみられます。60代と70代の1位は「土地の有効活用を行う」、80歳以上の1位は「バス路線を拡充する」となっています。
- ◆居住地区別で見ると、山北1・山北2・向原2・岸1の1位は「鉄道の増強を促進する」、向原1・岸2・清水地区の1位は「土地の有効活用を行う」、共和地区の1位は「町道を整備する」、三保地区の1位は「バス路線を拡充する」となっています。

②生活基盤

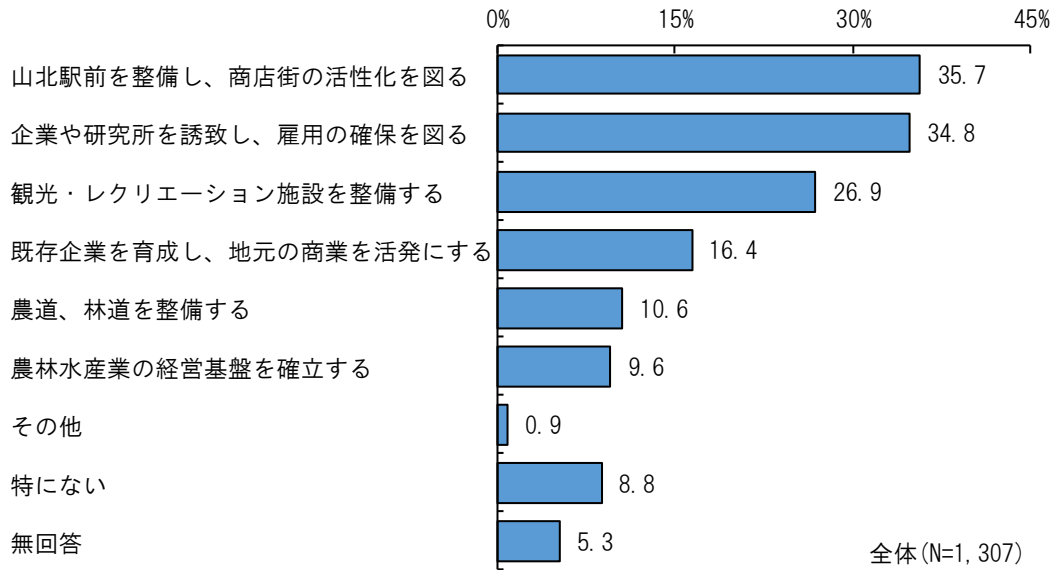


		調査数 (人)	地震や台風等の防災対策を強化する	救急医療体制を強化する	防犯体制を強化する	消費生活対策を強化する	公園、緑地を整備する	町営住宅や住宅地を整備する	ゴミ処理、リサイクル体制を強化する	公害、環境汚染の防止策を推進する	下水道を整備する	交通安全施設を整備する	上水道を整備する	その他	特にない	無回答
全体		1,307	43.0	32.2	14.5	11.9	11.6	10.8	10.4	5.4	4.5	4.3	3.0	1.3	4.9	5.0
性別	男性	631	41.7	32.6	15.1	12.0	12.7	12.0	9.5	5.7	4.6	4.9	3.6	1.7	4.9	3.3
	女性	671	44.4	31.6	14.0	11.8	10.6	9.7	11.0	5.2	4.3	3.7	2.2	0.9	4.9	6.6
年齢別	30歳未満	123	44.7	26.0	12.2	16.3	18.7	12.2	8.1	1.6	2.4	4.1	2.4	1.6	8.9	0.8
	30代	83	38.6	24.1	16.9	9.6	31.3	12.0	6.0	4.8	4.8	9.6	3.6	1.2	4.8	2.4
	40代	138	40.6	40.6	10.9	8.0	21.0	11.6	12.3	4.3	2.2	2.9	0.7	2.2	5.1	0.7
	50代	193	43.0	33.2	13.0	16.6	9.3	8.8	15.5	5.2	5.2	2.6	3.6	1.0	5.7	2.1
	60代	363	47.7	36.6	16.3	14.6	7.7	10.5	10.5	5.5	4.7	4.1	2.5	1.4	3.0	2.8
	70代	275	42.9	31.3	15.3	8.7	8.4	10.5	9.8	7.3	6.9	3.6	3.6	1.1	3.6	8.4
80歳以上	104	36.5	21.2	14.4	4.8	2.9	8.7	6.7	5.8	1.9	7.7	3.8	1.0	8.7	20.2	
居住地区別	山北1	213	46.0	31.9	10.3	14.1	9.9	9.9	9.4	5.6	3.8	2.8	3.3	1.4	4.7	5.2
	山北2	199	38.2	30.2	18.6	15.6	12.6	12.6	9.5	3.0	4.5	3.5	1.0	0.5	5.0	7.5
	向原1	97	40.2	36.1	9.3	14.4	18.6	13.4	8.2	4.1	6.2	2.1	7.2	1.0	5.2	1.0
	向原2	218	38.1	32.1	15.6	12.8	10.6	14.7	11.5	8.7	3.2	3.2	2.3	2.3	6.0	5.0
	岸1	186	39.8	29.0	15.6	11.3	12.9	8.1	13.4	3.8	4.3	4.8	2.7	1.6	7.0	6.5
	岸2	193	43.5	34.7	23.3	6.7	13.0	9.8	9.3	3.1	2.6	9.3	-	-	4.7	3.1
	共和地区	25	52.0	16.0	4.0	4.0	20.0	12.0	8.0	-	8.0	-	8.0	8.0	-	8.0
	清水地区	101	53.5	30.7	9.9	8.9	5.9	5.9	13.9	11.9	10.9	5.0	6.9	-	3.0	2.0
三保地区	59	55.9	45.8	3.4	10.2	6.8	11.9	3.4	6.8	3.4	3.4	5.1	1.7	1.7	6.8	

凡例： 1位 2位 3位

- ◆全体で見ると、「地震や台風等の防災対策を強化する」43.0%が最も多く、以下「救急医療体制を強化する」32.2%、「防犯体制を強化する」14.5%、「消費生活対策を強化する」11.9%、「公園、緑地を整備する」11.6%となっています。
- ◆年齢別で見ると、40代は「地震や台風等の防災対策を強化する」と「救急医療体制を強化する」が同率1位となっています。
30代の2位は「公園、緑地を整備する」31.3%で、他の年齢よりも多くなっています。
- ◆居住地区別で見ると、すべての地区で1位は「地震や台風等の防災対策を強化する」となっており、共和地区・清水地区・三保地区は5割を超えています。

③産業



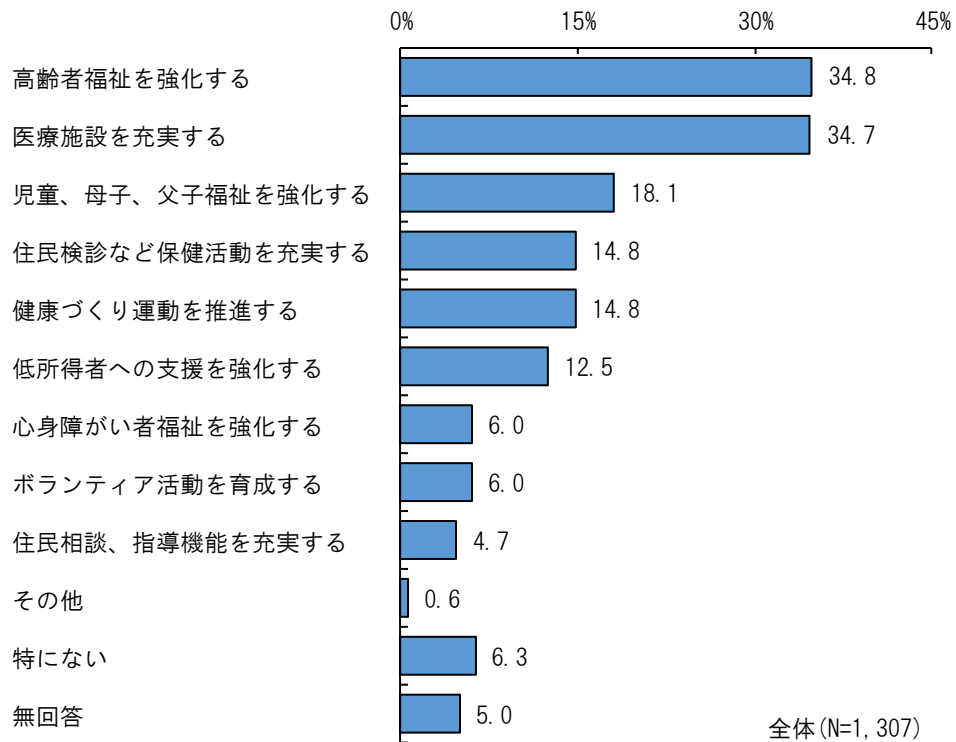
(単位%)

	調査数 (人)	山北駅前を整備し、商店街の活性化を図る	企業や研究所を誘致し、雇用の確保を図る	観光・レクリエーション施設を整備する	既存企業を育成し、地元の商業を活発にする	農道、林道を整備する	農林水産業の経営基盤を確立する	その他	特にない	無回答	
全体	1,307	35.7	34.8	26.9	16.4	10.6	9.6	0.9	8.8	5.3	
性別	男性	631	30.6	41.4	31.7	14.9	13.2	11.3	1.0	7.3	4.1
	女性	671	40.4	28.9	22.7	17.7	7.7	8.0	0.9	10.3	6.4
年齢別	30歳未満	123	43.1	25.2	29.3	11.4	6.5	8.9	1.6	14.6	1.6
	30代	83	33.7	30.1	38.6	21.7	8.4	6.0	-	9.6	3.6
	40代	138	41.3	30.4	33.3	15.2	9.4	7.2	0.7	11.6	2.2
	50代	193	35.8	37.3	33.2	10.4	15.5	13.0	1.0	5.2	3.1
	60代	363	31.1	41.9	25.6	18.7	14.3	11.3	1.1	6.6	3.3
	70代	275	34.5	38.2	23.3	20.7	6.5	8.4	1.1	7.6	8.0
	80歳以上	104	41.3	18.3	12.5	12.5	3.8	6.7	-	14.4	18.3
居住地区別	山北1	213	46.9	25.8	22.1	17.8	5.2	10.3	0.5	10.3	6.1
	山北2	199	50.3	29.6	22.1	14.1	5.0	9.0	1.0	8.0	6.0
	向原1	97	29.9	46.4	32.0	15.5	14.4	4.1	2.1	6.2	2.1
	向原2	218	27.1	39.9	24.3	19.7	13.3	8.7	-	11.5	7.3
	岸1	186	33.9	31.2	30.1	13.4	9.7	10.2	1.1	10.2	5.9
	岸2	193	29.5	34.7	32.1	20.2	7.3	10.4	1.6	7.8	5.7
	共和地区	25	48.0	24.0	24.0	20.0	20.0	20.0	-	4.0	4.0
	清水地区	101	21.8	45.5	28.7	11.9	22.8	10.9	1.0	2.0	2.0
三保地区	59	27.1	45.8	35.6	13.6	18.6	8.5	-	15.3	1.7	

凡例: 1位 2位 3位

- ◆全体で見ると、「山北駅前を整備し、商店街の活性化を図る」35.7%が最も多く、以下「企業や研究所を誘致し、雇用の確保を図る」34.8%、「観光・レクリエーション施設を整備する」26.9%、「既存企業を育成し、地元の商業を活発にする」16.4%、「農道、林道を整備する」10.6%となっています。
- ◆性別で見ると、男性の1位は「企業や研究所を誘致し、雇用の確保を図る」41.4%、2位は「観光・レクリエーション施設を整備する」31.7%、3位は「山北駅前を整備し、商店街の活性化を図る」30.6%となっています。女性の1位は「山北駅前を整備し、商店街の活性化を図る」40.4%、2位は「企業や研究所を誘致し、雇用の確保を図る」28.9%、3位は「観光・レクリエーション施設を整備する」22.7%となっています。
- ◆年齢別で見ると、30代未満・40代・80歳以上の1位は「山北駅前を整備し、商店街の活性化を図る」、30代の1位は「観光・レクリエーション施設を整備する」、50代から70代の1位は「企業や研究所を誘致し、雇用の確保を図る」となっています。
- ◆居住地区別で見ると、山北1・山北2・岸1・共和地区の1位は「山北駅前を整備し、商店街の活性化を図る」で、向原1・向原2・岸2・清水地区・三保地区の1位は「企業や研究所を誘致し、雇用の確保を図る」となっています。

④社会福祉



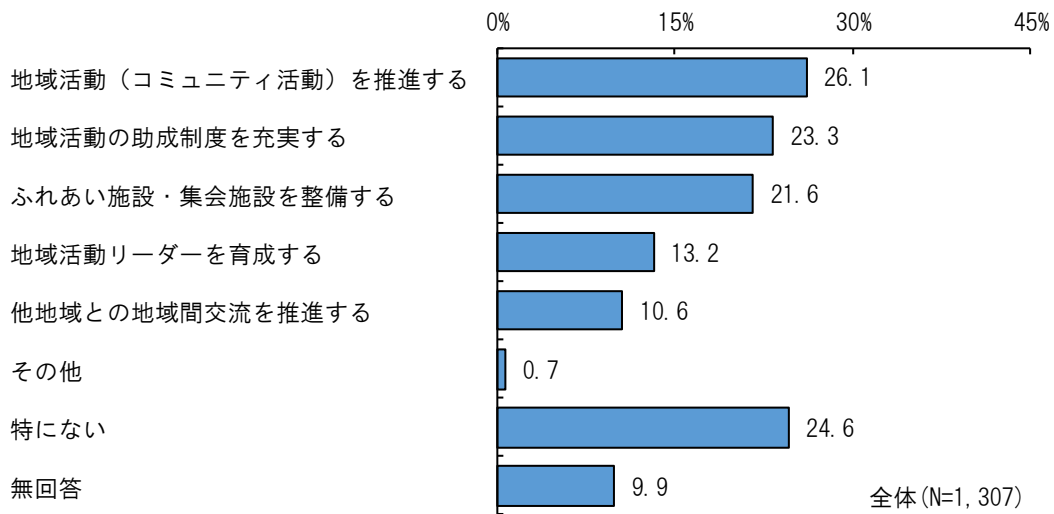
(単位%)

	調査数 (人)	高齢者福祉を強化する	医療施設を充実する	児童、母子、父子福祉を強化する	住民検診など保健活動を充実する	健康づくり運動を推進する	低所得者への支援を強化する	心身障がい者福祉を強化する	ボランティア活動を育成する	住民相談、指導機能を充実する	その他	特にない	無回答
全体	1,307	34.8	34.7	18.1	14.8	14.8	12.5	6.0	6.0	4.7	0.6	6.3	5.0
性別													
男性	631	36.5	34.9	18.2	16.0	13.9	14.9	6.7	5.9	4.1	0.6	5.7	3.8
女性	671	33.4	34.6	18.0	13.4	15.5	10.4	5.4	6.1	5.2	0.6	6.9	6.1
年齢別													
30歳未満	123	24.4	33.3	27.6	6.5	16.3	12.2	3.3	5.7	4.1	-	14.6	0.8
30代	83	19.3	32.5	47.0	19.3	9.6	8.4	2.4	7.2	7.2	1.2	6.0	2.4
40代	138	30.4	39.9	22.5	13.0	11.6	15.2	6.5	5.8	1.4	0.7	6.5	2.2
50代	193	36.3	43.0	16.6	9.8	14.0	8.8	5.7	5.7	6.2	2.1	7.8	2.1
60代	363	36.1	36.6	17.1	17.9	16.3	14.0	6.3	6.1	5.8	0.3	3.0	3.9
70代	275	43.3	29.8	10.2	20.0	17.8	13.5	6.5	6.5	3.6	-	4.4	6.5
80歳以上	104	35.6	20.2	7.7	7.7	10.6	11.5	9.6	5.8	2.9	1.0	10.6	20.2
居住地区別													
山北1	213	35.7	34.3	19.7	12.2	13.1	16.4	7.0	4.7	3.8	1.4	7.0	4.2
山北2	199	34.2	30.2	18.1	13.1	11.6	11.1	6.0	5.0	6.5	0.5	9.0	6.5
向原1	97	29.9	34.0	16.5	21.6	15.5	11.3	5.2	7.2	7.2	-	7.2	1.0
向原2	218	37.6	31.2	17.0	20.2	17.4	11.9	5.0	6.9	4.1	0.5	4.6	6.0
岸1	186	33.9	37.1	17.7	11.8	16.1	11.8	3.8	5.4	1.6	0.5	7.0	7.5
岸2	193	36.3	37.3	20.7	19.2	12.4	9.8	7.8	7.3	5.7	0.5	3.1	3.6
共和地区	25	20.0	36.0	16.0	12.0	16.0	16.0	8.0	4.0	8.0	-	4.0	8.0
清水地区	101	32.7	37.6	21.8	6.9	18.8	15.8	4.0	5.0	5.9	1.0	7.9	2.0
三保地区	59	44.1	44.1	8.5	8.5	8.5	13.6	11.9	8.5	3.4	-	5.1	5.1

凡例： 1位 2位 3位

- ◆全体で見ると、「高齢者福祉を強化する」34.8%が最も多く、以下「医療施設を充実する」34.7%、「児童、母子、父子福祉を強化する」18.1%、「住民検診など保健活動を充実する」14.8%、「健康づくり運動を推進する」14.8%となっています。
- ◆性別で見ると、男性の1位は「高齢者福祉を強化する」36.5%、2位は「医療施設を充実する」34.9%となっています。女性の1位は「医療施設を充実する」34.6%、2位は「高齢者福祉を強化する」33.4%となっています。
- ◆年齢別で見ると、30歳未満と40代から60代の1位は「医療施設を充実する」、30代の1位は「児童、母子、父子福祉を強化する」、70代以上の1位は「高齢者福祉を強化する」となっています。「住民検診など保健活動を充実する」は、30代・60代・70代が他の年齢よりもやや多くなっています。
- ◆居住地区別で見ると、山北1・山北2・向原2の1位は「高齢者福祉を強化する」、向原1・岸1・岸2・共和地区・清水地区の1位は「医療施設を充実する」、三保地区は「高齢者福祉を強化する」と「医療施設を充実する」が同率で1位となっています。

⑤地域活動



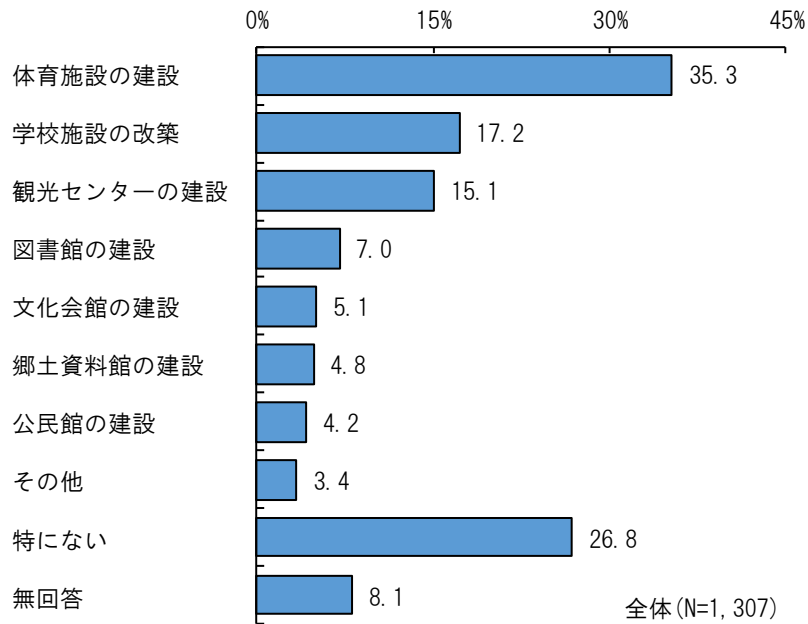
(単位%)

	調査数 (人)	地域活動（コミュニティ活動）を推進する	地域活動の助成制度を充実する	ふれあい施設・集会施設を整備する	地域活動リーダーを育成する	他地域との地域間交流を推進する	その他	特にない	無回答	
全体	1,307	26.1	23.3	21.6	13.2	10.6	0.7	24.6	9.9	
性別	男性	631	28.8	26.8	21.7	14.7	11.6	1.1	21.7	8.9
	女性	671	23.7	19.8	21.5	11.8	9.7	0.3	27.3	10.9
年齢別	30歳未満	123	22.8	16.3	17.1	6.5	10.6	0.8	43.1	1.6
	30代	83	28.9	26.5	20.5	14.5	13.3	-	21.7	7.2
	40代	138	23.9	23.2	21.0	10.1	11.6	0.7	30.4	5.1
	50代	193	25.9	19.7	17.6	18.1	10.9	1.0	30.1	6.2
	60代	363	28.7	27.5	23.4	14.9	10.5	0.6	20.1	8.5
	70代	275	28.7	25.1	27.3	11.6	10.9	1.1	17.5	12.4
	80歳以上	104	19.2	15.4	15.4	13.5	7.7	-	21.2	29.8
居住地区別	山北1	213	27.2	21.6	24.9	8.9	6.1	0.9	27.7	10.8
	山北2	199	25.1	17.6	18.1	14.1	11.6	1.0	25.1	14.1
	向原1	97	24.7	24.7	24.7	20.6	6.2	2.1	21.6	9.3
	向原2	218	25.7	21.6	25.2	13.3	11.5	0.5	23.4	9.6
	岸1	186	29.6	25.8	22.6	8.6	9.7	0.5	23.7	9.7
	岸2	193	25.9	18.1	20.7	15.0	16.6	0.5	25.4	9.3
	共和地区	25	16.0	36.0	12.0	28.0	12.0	-	24.0	8.0
	清水地区	101	27.7	35.6	18.8	12.9	9.9	-	24.8	3.0
	三保地区	59	25.4	33.9	11.9	15.3	11.9	-	22.0	8.5

凡例： 1位 2位 3位

- ◆全体で見ると、「地域活動（コミュニティ活動）を推進する」26.1%が最も多く、以下「地域活動の助成制度を充実する」23.3%、「ふれあい施設・集会施設を整備する」21.6%、「地域活動リーダーを育成する」13.2%となっています。また、「特にない」は24.6%となっています。
- ◆性別で見ると、男性の2位は「地域活動の助成制度を充実する」26.8%、3位は「ふれあい施設・集会施設を整備する」21.7%となっています。女性の2位は「ふれあい施設・集会施設を整備する」21.5%、3位は「地域活動の助成制度を充実する」19.8%となっています。
- ◆年齢別で見ると、30歳未満と70代の2位は「ふれあい施設・集会施設を整備する」、30代から60代の2位は「地域活動の助成制度を充実する」となっています。
- ◆居住地区別で見ると、向原1は「地域活動（コミュニティ活動）を推進する」、「地域活動の助成制度を充実する」、「ふれあい施設・集会施設を整備する」が、同率で1位となっています。共和地区・清水地区・三保地区の1位は「地域活動の助成制度を充実する」となっています。

⑥公共施設



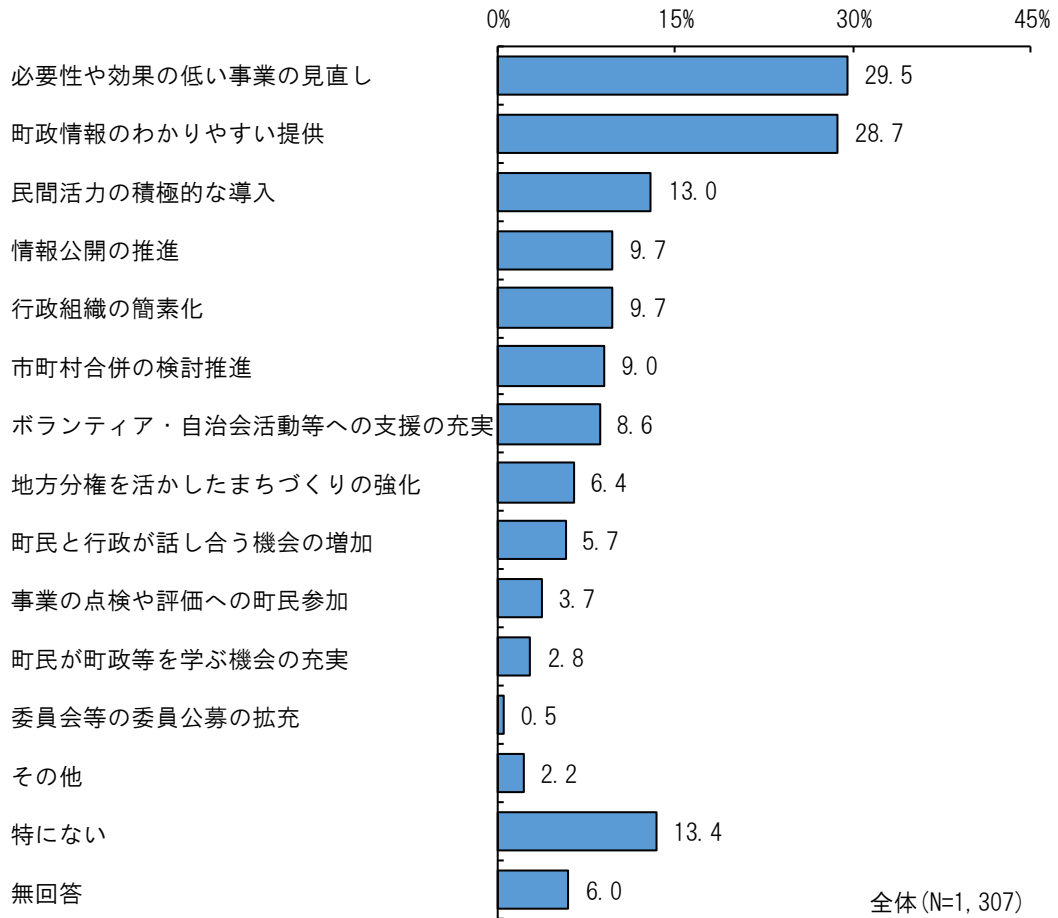
(単位%)

	調査数 (人)	体育施設の建設	学校施設の改築	観光センターの建設	図書館の建設	文化会館の建設	郷土資料館の建設	公民館の建設	その他	特にない	無回答	
全体	1,307	35.3	17.2	15.1	7.0	5.1	4.8	4.2	3.4	26.8	8.1	
性別	男性	631	37.4	15.8	16.8	6.3	5.5	6.0	5.2	3.8	25.4	7.0
	女性	671	33.5	18.6	13.7	7.6	4.8	3.7	3.3	3.1	27.9	9.1
年齢別	30歳未満	123	42.3	27.6	13.8	17.1	3.3	-	3.3	1.6	21.1	2.4
	30代	83	39.8	41.0	19.3	6.0	2.4	2.4	3.6	4.8	18.1	-
	40代	138	37.7	22.5	17.4	8.7	4.3	4.3	4.3	5.8	27.5	2.9
	50代	193	36.8	16.6	19.2	7.8	2.6	3.6	3.6	4.1	25.9	3.6
	60代	363	37.2	16.5	16.0	5.2	6.6	3.6	4.1	3.3	29.5	6.1
	70代	275	35.3	8.7	11.3	5.5	6.2	8.7	4.0	3.6	26.5	13.8
	80歳以上	104	13.5	8.7	12.5	2.9	5.8	8.7	8.7	1.0	28.8	26.9
居住地区別	山北1	213	42.3	13.1	11.7	6.6	6.6	4.2	5.2	5.2	23.5	6.6
	山北2	199	37.7	16.1	11.6	7.0	5.0	4.0	2.5	4.0	29.6	9.5
	向原1	97	35.1	22.7	21.6	8.2	4.1	4.1	7.2	1.0	25.8	6.2
	向原2	218	31.2	17.9	16.1	6.9	6.9	5.5	3.7	3.2	28.0	9.2
	岸1	186	33.9	19.9	17.2	11.8	4.8	5.9	2.7	1.6	23.7	8.6
	岸2	193	37.3	19.2	16.1	4.1	4.7	4.7	4.7	3.6	25.4	7.3
	共和地区	25	20.0	8.0	12.0	-	8.0	12.0	8.0	12.0	28.0	12.0
	清水地区	101	35.6	19.8	13.9	4.0	3.0	4.0	6.9	3.0	29.7	4.0
	三保地区	59	28.8	10.2	20.3	6.8	1.7	3.4	1.7	3.4	32.2	10.2

凡例： 1位 2位 3位

- ◆全体で見ると、「体育施設の建設」35.3%が最も多く、以下「学校施設の改築」17.2%、「観光センターの建設」15.1%、「図書館の建設」7.0%となっています。また「特にない」は26.8%となっています。
- ◆年齢別で見ると、30代を除いたすべての年齢で1位は「体育施設の建設」となっていますが、80歳以上は13.5%と他の年齢よりも少なくなっています。30代の1位は「学校施設の改築」41.0%となっています。
- ◆居住地区別で見ると、すべての地区で1位は「体育施設の建設」となっており、山北1は42.3%と、他の地区よりもやや多くなっています。

⑦町政に望むこと



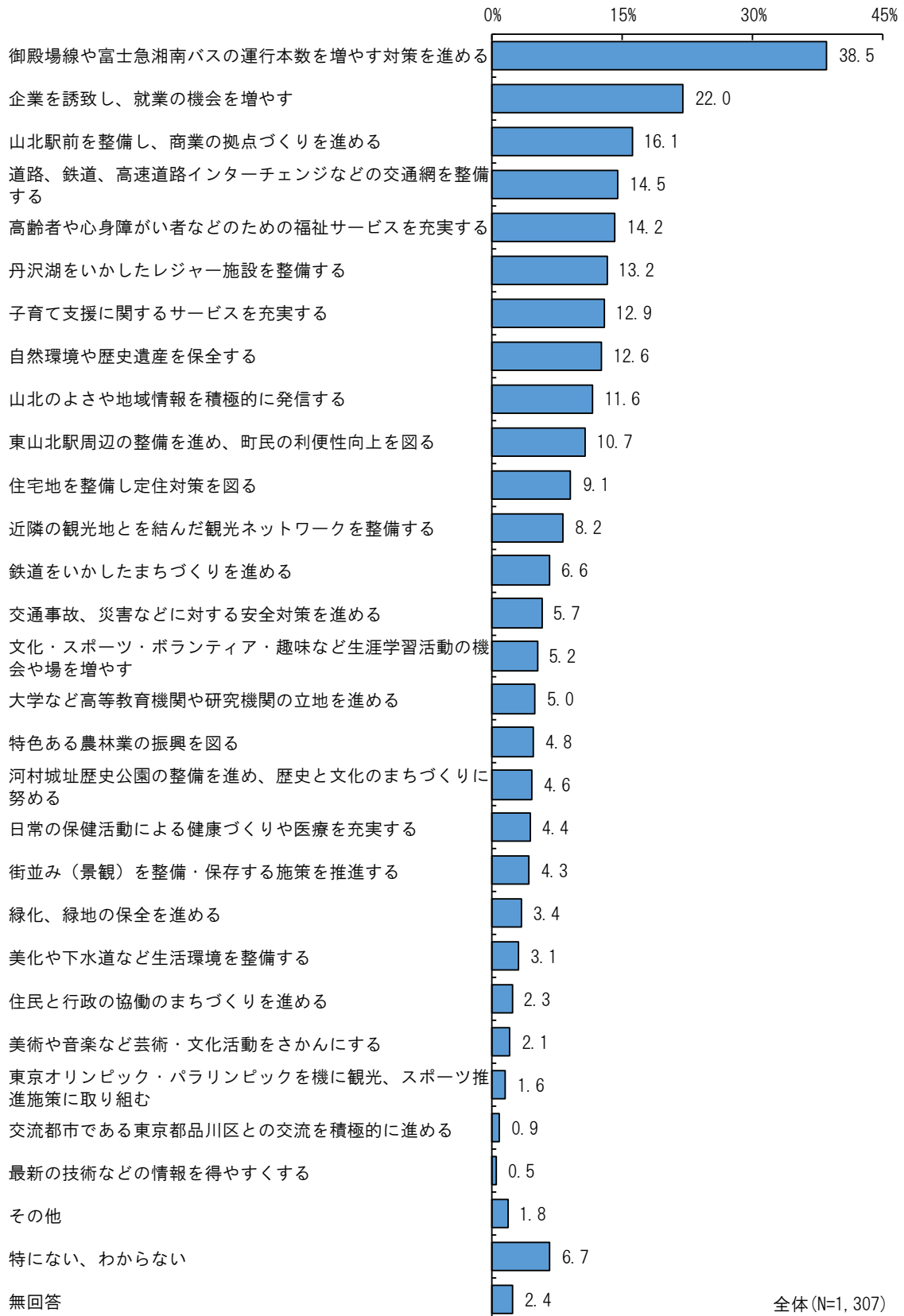
		調査数 (人)	必要性や効果の低い事業の見直し (%)	町政情報のわかりやすい提供 (%)	民間活力の積極的な導入 (%)	情報公開の推進 (%)	行政組織の簡素化 (%)	市町村合併の検討推進 (%)	ボランティア・自治会活動等への支援の充実 (%)	地方分権を活かしたまちづくりの強化 (%)	町民と行政が話し合う機会の増加 (%)	事業の点検や評価への町民参加 (%)	町民が町政等を学ぶ機会の充実 (%)	委員会等の委員公募の拡充 (%)	その他 (%)	特にない (%)	無回答 (%)	
全体		1,307	29.5	28.7	13.0	9.7	9.7	9.0	8.6	6.4	5.7	3.7	2.8	0.5	2.2	13.4	6.0	
性別	男性	631	31.5	27.4	16.0	10.5	11.3	10.6	8.2	6.2	5.5	5.1	2.4	1.0	2.5	11.4	4.9	
	女性	671	27.6	29.8	10.3	9.1	8.0	7.5	8.9	6.7	5.8	2.5	3.0	0.1	1.9	15.4	7.2	
年齢別	30歳未満	123	31.7	20.3	7.3	17.9	3.3	2.4	4.9	6.5	7.3	3.3	2.4	0.8	0.8	26.0	1.6	
	30代	83	49.4	37.3	10.8	9.6	3.6	8.4	4.8	2.4	4.8	6.0	-	2.4	4.8	9.6	1.2	
	40代	138	41.3	29.7	10.9	9.4	6.5	9.4	7.2	8.0	2.9	1.4	1.4	0.7	2.9	13.8	4.3	
	50代	193	34.2	28.0	18.7	9.8	10.4	10.9	7.3	7.8	5.2	3.1	2.6	-	3.6	9.8	2.6	
	60代	363	27.3	31.4	16.5	7.4	13.8	11.8	9.4	6.3	4.4	5.0	2.8	0.6	1.9	11.3	2.5	
	70代	275	22.9	27.3	12.7	9.5	11.6	8.4	11.3	7.6	6.9	4.4	3.6	0.4	1.8	12.4	10.5	
80歳以上	104	15.4	28.8	3.8	6.7	4.8	3.8	12.5	1.9	8.7	1.9	3.8	-	1.0	19.2	23.1		
居住地区別	山北1	213	31.0	30.0	12.7	10.3	6.6	11.3	4.7	5.6	5.6	2.8	2.3	-	4.2	14.1	6.1	
	山北2	199	30.7	31.2	14.1	11.6	11.6	5.0	6.5	4.0	6.0	4.0	2.0	0.5	2.0	13.1	7.0	
	向原1	97	27.8	30.9	12.4	8.2	10.3	7.2	13.4	7.2	6.2	6.2	2.1	1.0	-	15.5	5.2	
	向原2	218	30.7	22.9	13.3	8.7	12.8	8.3	8.7	9.2	4.6	3.2	4.6	-	2.3	13.8	6.9	
	岸1	186	24.7	28.0	11.3	7.5	10.8	10.2	12.4	5.4	7.0	2.7	2.7	0.5	2.7	14.0	5.9	
	岸2	193	33.2	30.6	14.0	12.4	6.7	9.8	7.3	6.2	4.7	6.2	1.0	1.0	1.0	11.4	5.7	
	共和地区	25	8.0	24.0	24.0	12.0	20.0	12.0	16.0	12.0	12.0	-	-	-	-	4.0	12.0	8.0
	清水地区	101	31.7	32.7	11.9	9.9	7.9	9.9	8.9	5.9	4.0	2.0	5.0	2.0	1.0	10.9	3.0	
	三保地区	59	25.4	25.4	13.6	5.1	6.8	8.5	11.9	5.1	8.5	3.4	3.4	-	1.7	18.6	5.1	

凡例： 1位 2位 3位

- ◆全体で見ると、「必要性や効果の低い事業の見直し」29.5%が最も多く、以下「町政情報のわかりやすい提供」28.7%、「民間活力の積極的な導入」13.0%、「情報公開の推進」と「行政組織の簡素化」が9.7%となっています。また、「特になし」は13.4%となっています。
- ◆性別で見ると、男性の1位は「必要性や効果の低い事業の見直し」31.5%、2位は「町政情報のわかりやすい提供」27.4%となっています。女性の1位は「町政情報のわかりやすい提供」29.8%、2位は「必要性や効果の低い事業の見直し」27.6%となっています。
- ◆年齢別で見ると、50代以下の1位は「必要性や効果の低い事業の見直し」で、30代は49.4%と他の年齢よりもやや多くなっています。60代以上の1位は「町政情報のわかりやすい提供」となっています。
- ◆居住地区別で見ると、山北1・向原2・岸2の1位は「必要性や効果の低い事業の見直し」、山北2・向原1・岸1・清水地区の1位は「町政情報のわかりやすい提供」となっています。共和地区は「町政情報のわかりやすい提供」と「民間活力の積極的な導入」が同率1位で、三保地区は「必要性や効果の低い事業の見直し」と「町政情報のわかりやすい提供」が同率1位となっています。

(52) 山北町の魅力と活力を高めるために必要だと思う施策

問40 山北町の魅力と活力を高めるために必要だと思う施策は何ですか。(○は主なもの3つまで)
また下段に、「なぜそう思うか」理由を具体的にご記入ください。



(単位%)

	調査数(人)	運行本数を増やす	御殿場線や富士急湘南バスの増やす	企業を誘致し、就業の機会を増やす	山北駅前を整備し、商業の拠点づくりを進める	道路、鉄道、高速道路インフラ整備	高齢者や心身障がい者などのための福祉サービス充実	丹沢湖をいかしたレジャー施設を整備	子育て支援に関するサービスを充実	自然環境や歴史遺産を保全	山北のよさや地域情報を積極的に発信	東山北駅周辺の整備を進め、町民の利便性向上を図る	住宅地を整備し定住対策を図る	近隣の観光地とを結んだ観光ネットワークを整備	進める	交通安全対策を進める	文化・スポーツ・ボランティア・趣味など生涯学習活動を増やす
全体	1,307	38.5	22.0	16.1	14.5	14.2	13.2	12.9	12.6	11.6	10.7	9.1	8.2	6.6	5.7	5.2	
性別																	
男性	631	37.6	26.6	13.3	18.1	12.7	14.3	12.2	13.0	8.6	12.5	10.1	8.2	6.8	5.9	5.2	
女性	671	39.5	17.9	18.8	11.2	15.6	12.4	13.6	12.1	14.6	9.1	8.0	8.2	6.3	5.5	5.2	
年齢別																	
30歳未満	123	49.6	6.5	17.9	17.1	7.3	13.0	10.6	12.2	8.1	13.0	4.9	4.9	7.3	4.9	3.3	
30代	83	42.2	21.7	12.0	27.7	8.4	10.8	34.9	15.7	9.6	15.7	7.2	2.4	3.6	6.0	8.4	
40代	138	44.2	15.9	13.8	22.5	14.5	18.8	14.5	12.3	10.9	10.9	5.8	4.3	10.9	6.5	2.2	
50代	193	36.3	24.9	15.0	18.1	7.3	14.5	10.9	16.6	13.5	10.4	13.0	9.8	6.2	6.7	7.3	
60代	363	32.8	28.4	12.9	11.8	16.0	11.6	13.8	11.8	14.6	11.0	8.8	10.2	5.2	5.0	5.2	
70代	275	40.0	23.6	19.6	10.5	20.7	13.8	8.0	11.3	9.5	9.1	11.6	9.8	6.5	6.9	6.5	
80歳以上	104	32.7	15.4	25.0	4.8	19.2	10.6	8.7	8.7	10.6	7.7	5.8	5.8	5.8	2.9	2.9	
居住地区別																	
山北1	213	44.1	17.4	29.6	11.7	13.1	11.3	16.9	15.0	14.1	2.3	4.2	5.2	9.9	4.7	5.6	
山北2	199	46.2	20.6	26.1	12.6	13.1	10.1	8.0	15.6	7.5	2.0	9.0	6.5	7.0	2.5	4.0	
向原1	97	37.1	28.9	16.5	12.4	15.5	12.4	14.4	5.2	7.2	14.4	14.4	12.4	7.2	10.3	4.1	
向原2	218	36.7	25.2	9.2	12.4	16.1	11.5	13.8	10.1	15.1	25.7	11.5	10.6	4.1	2.8	6.0	
岸1	186	41.9	21.0	10.2	17.7	14.5	11.8	13.4	15.6	12.4	7.0	9.7	8.1	7.0	3.8	6.5	
岸2	193	39.4	17.6	11.4	14.5	14.5	14.5	12.4	11.4	10.4	23.3	9.3	9.8	7.3	6.7	5.7	
共和地区	25	12.0	16.0	28.0	4.0	16.0	12.0	8.0	20.0	8.0	4.0	8.0	4.0	4.0	20.0	-	
清水地区	101	22.8	32.7	5.0	21.8	6.9	18.8	15.8	12.9	16.8	-	8.9	8.9	4.0	11.9	5.0	
三保地区	59	27.1	23.7	8.5	22.0	23.7	33.9	6.8	6.8	5.1	1.7	8.5	5.1	1.7	10.2	5.1	

(単位%)

	調査数(人)	大学の立地を進める	特色ある農林業の振興を図る	河村城址歴史公園の整備を進める	日常の保健活動による健康づくりや医療を充実	街並み(景観)を整備・保存する施策を推進	緑化、緑地の保全を進める	美化や下水道など生活環境を整備	住民と行政の協働のまちづくりを進める	美術や音楽など芸術・文化活動をさかんにする	東京オリンピック・パラリンピックを機に観光・スポーツ推進施策に取り組み	との交流を積極的に進める	最新の技術などの情報を得やすくする	その他	特になし、わからない	無回答
全体	1,307	5.0	4.8	4.6	4.4	4.3	3.4	3.1	2.3	2.1	1.6	0.9	0.5	1.8	6.7	2.4
性別																
男性	631	5.5	5.1	4.6	4.4	5.4	4.0	2.7	2.1	2.4	1.6	0.8	0.5	2.4	5.5	2.1
女性	671	4.3	4.3	4.5	4.3	3.3	2.8	3.6	2.4	1.8	1.6	1.0	0.6	1.2	7.9	2.8
年齢別																
30歳未満	123	4.1	0.8	2.4	1.6	8.9	7.3	1.6	-	3.3	2.4	0.8	-	0.8	11.4	0.8
30代	83	3.6	2.4	2.4	-	7.2	6.0	4.8	1.2	2.4	4.8	-	-	4.8	2.4	-
40代	138	6.5	2.2	2.9	2.9	2.2	4.3	0.7	0.7	2.2	2.2	1.4	-	3.6	5.8	2.2
50代	193	6.2	6.7	2.1	4.1	2.1	3.6	2.1	3.1	2.1	1.0	0.5	0.5	2.1	7.3	1.6
60代	363	5.0	6.3	3.0	5.2	4.7	1.1	3.9	3.9	2.2	1.7	1.1	1.1	1.1	6.9	1.9
70代	275	4.4	5.5	9.5	5.5	3.6	4.0	3.6	2.2	1.5	0.7	1.1	0.4	1.5	4.0	3.3
80歳以上	104	4.8	3.8	7.7	8.7	3.8	1.0	5.8	1.0	1.9	1.0	-	1.0	1.0	12.5	6.7
居住地区別																
山北1	213	3.3	3.3	5.2	4.7	5.2	3.8	1.9	2.3	1.9	2.3	0.5	0.5	1.9	8.0	0.9
山北2	199	3.5	3.5	7.5	3.5	6.0	3.5	2.0	3.0	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	5.0	4.0
向原1	97	5.2	10.3	3.1	2.1	4.1	1.0	3.1	1.0	1.0	1.0	1.0	-	1.0	5.2	-
向原2	218	6.4	3.2	2.3	4.6	1.8	4.1	2.8	2.3	3.2	0.9	0.5	0.9	2.3	5.0	3.7
岸1	186	5.4	4.8	8.1	4.3	4.3	4.8	4.8	2.2	2.2	0.5	1.1	-	1.1	7.0	3.2
岸2	193	5.2	3.1	3.1	5.2	6.2	1.6	0.5	1.0	1.0	2.1	1.0	0.5	1.6	7.3	1.0
共和地区	25	12.0	16.0	4.0	4.0	-	8.0	8.0	8.0	8.0	4.0	-	-	8.0	8.0	-
清水地区	101	5.9	5.9	3.0	4.0	3.0	3.0	9.9	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	2.0	7.9	2.0
三保地区	59	1.7	6.8	-	6.8	3.4	1.7	3.4	3.4	3.4	1.7	-	-	3.4	11.9	3.4

凡例: 1位 2位 3位

- ◆全体で見ると、「御殿場線や富士急湘南バスの運行本数を増やす対策を進める」38.5%が最も多く、以下「企業を誘致し、就業の機会を増やす」22.0%、「山北駅前を整備し、商業の拠点づくりを進める」16.1%、「道路、鉄道、高速道路インターチェンジなどの交通網を整備する」14.5%、「高齢者や心身障がい者などのための福祉サービスを充実する」14.2%となっています。
- ◆性別で見ると、男性は「企業を誘致し、就業の機会を増やす」26.6%、「道路、鉄道、高速道路インターチェンジなどの交通網を整備する」18.1%が、女性よりもやや多くなっています。女性は「山北駅前を整備し、商業の拠点づくりを進める」18.8%、「山北のよさや地域情報を積極的に発信する」14.6%が、男性よりもやや多くなっています。
- ◆年齢別で見ると、30歳未満と80歳以上の2位は「山北駅前を整備し、商業の拠点づくりを進める」、30代の2位は「子育て支援に関するサービスを充実する」、40代の2位は「道路、鉄道、高速道路インターチェンジなどの交通網を整備する」、50代から70代の2位は「企業を誘致し、就業の機会を増やす」となっています。
- ◆居住地区別で見ると、共和地区・清水地区・三保地区を除いたすべての地区で1位は「御殿場線や富士急湘南バスの運行本数を増やす対策を進める」となっています。共和地区の1位は「山北駅前を整備し、商業の拠点づくりを進める」、清水地区の1位は「企業を誘致し、就業の機会を増やす」、三保地区の1位は「丹沢湖をいかしたレジャー施設を整備する」となっています。向原2と岸2の2位は「東山北駅周辺の整備を進め、町民の利便性向上を図る」で他の地区よりも多く、2割を超えています。